

平成30年度
平塚市市民意識調査結果報告書

平塚市

はじめに

この冊子は、平成30年6月に実施した「平成30年度平塚市市民意識調査」の結果を取りまとめたものです。

市民意識調査は、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料を得ること及び平塚市総合計画の達成状況を測ることを目的とし、平成25年から概ね2年に1回の割合で実施しています。

今回は、平成28年度からスタートした「平塚市総合計画～ひらつかネクスト～」策定後、2回目の調査となり、前回の平成28年度調査と同様、「市民の皆様の居留意向」、「生活への満足感」、「まちづくりに対する重要度や満足度」などを調査しました。

この結果を、これからの行政運営や計画策定の参考として幅広く活用していきたいと考えています。また、市民の皆様を始め、各方面の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力をいただいた市民の皆様に御礼を申し上げます。

平成30年11月

平塚市長 落合 克宏

第1章 調査の概要	1
1 目的	3
2 調査方法	3
3 標本数及び回収結果	3
4 結果利用上の注意	9
5 過去の調査概要	10
第2章 結果の概要	11
【1】あなたの今後における平塚市への居留意向などについて	12
（問1）あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いませんか。	12
（問2）平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。	14
（問3）市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。	17
（問4）あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。	20
【2】生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて	24
（問5）あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。	24
（問6）あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとがありますか。	26
（問7）あなたには、悩みや不安を話せる人はいますか。相手はどのような人ですか。	29
【3】地域のために、地域（あなた）ができることについて	31
（問8）住みよい地域にするためには、市民の皆さんの関わりが必要です。 住みよい地域にするために地域の皆さん（あなた）が力を合わせて取り組むと 良いと思うことは何ですか。	31
（問9）地域のために、あなたが現在行っていることはありますか。	34
（問10）住みよい地域にするために、あなたができること（またはしてみたいこと） はありますか。	38
【4】まちづくりの状況について	42
（問11）平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」について お答えください。	42
〔1〕豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「重要度」	42
〔1〕豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「満足度」	44
〔2〕安心して暮らせる支え合いのまちづくり「重要度」	46
〔2〕安心して暮らせる支え合いのまちづくり「満足度」	48
〔3〕自然と人が共生するまちづくり「重要度」	50
〔3〕自然と人が共生するまちづくり「満足度」	52
〔4〕活力とにぎわいのあるまちづくり「重要度」	54
〔4〕活力とにぎわいのあるまちづくり「満足度」	56
重要度と満足度の相関	58
人口比補正による重要度と満足度の順位の変化	61
重要度と満足度の前回調査との比較	63

【5】今後の平塚市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。・・65

【6】あなたご自身やご家族のことについて・・・・・・・・・・・・・・・・68

第3章 結果の考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71

1 結果の考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72

資料編

調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77

第1章 調査の概要

1. 目的

平塚市民の居留意向、生活の満足感、まちづくりに対する重要度や満足度の意識を調査し、今後、まちづくりを進めていくための基礎資料を得るとともに、平塚市総合計画の達成状況を測る。

2. 調査方法

- (1) 調査区域 平塚市全域
- (2) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- (5) 調査期間 平成30年月6月1日（金）～6月22日（金）
- (6) 調査票 本報告書の巻末を参照

3. 標本数及び回収結果

- (1) 標本数
 - 発送 3,000件
 - 戻り 13件
 - 実質標本数 2,987件
- (2) 有効回収数 1,206件
- (3) 有効回収率 40.4%
- (4) 地区別状況

区分 地区	発送 A	戻り B	実質標本数 C=A-B	有効回収数 D	未回収数 C-D	有効回収率 D/C
計	3,000	13	2,987	1,206	1,781	40.4%
海岸	476	3	473	213	260	45.0%
平塚	469	3	466	205	261	44.0%
大野	672	1	671	252	419	37.6%
豊田	51	0	51	20	31	39.2%
城島	51	0	51	21	30	41.2%
岡崎	110	0	110	47	63	42.7%
金田	120	2	118	43	75	36.4%
神田	295	3	292	110	182	37.7%
金目	202	1	201	76	125	37.8%
土沢	82	0	82	42	40	51.2%
旭	472	0	472	177	295	37.5%

(5) 回答者の属性 (実数)

属性		地区											
		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
回答者数	人	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177
性別	男性	489	79	90	113	12	11	18	15	44	29	16	62
	女性	681	126	111	136	7	9	27	27	63	44	25	106
	無回答	36	8	4	3	1	1	2	1	3	3	1	9
	計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177
年代	10代	49	7	5	17	3	0	1	1	7	2	3	3
	20代	94	15	15	19	3	0	1	4	7	7	2	21
	30代	175	34	29	40	3	2	7	7	10	10	4	29
	40代	162	33	32	37	1	3	6	2	15	8	4	21
	50代	169	31	28	40	3	2	5	6	22	9	6	17
	60代	264	42	53	52	3	5	7	13	21	15	13	40
	70代以上	258	43	39	44	3	8	18	9	25	22	9	38
	無回答	35	8	4	3	1	1	2	1	3	3	1	8
計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177	
職業	高校生	30	4	4	10	1	0	1	1	5	0	2	2
	専門学校・短大・大学生等	31	8	5	7	1	0	0	0	2	3	2	3
	会社員・公務員・団体職員	334	66	58	78	6	4	10	12	24	17	8	51
	自営業	76	11	18	8	3	1	6	2	8	4	3	12
	家事従事者	155	26	30	42	3	1	10	3	10	8	7	15
	パート・アルバイト	212	35	32	44	3	3	3	9	24	17	5	37
	無職	304	50	51	54	2	11	14	14	30	22	12	44
	その他	24	5	2	3	0	0	1	1	4	1	2	5
	無回答	40	8	5	6	1	1	2	1	3	4	1	8
	計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177
世帯構成	ひとり暮らし	115	19	26	17	1	1	5	4	8	7	5	22
	夫婦のみ	291	52	47	59	3	6	10	7	30	21	14	42
	二世帯同居(親と子)	614	111	101	150	10	10	23	23	57	29	17	83
	三世帯同居(祖父母と親と子)	114	19	23	18	5	1	6	6	7	10	4	15
	その他	35	4	4	5	0	2	1	1	5	5	1	7
	無回答	37	8	4	3	1	1	2	2	3	4	1	8
	計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177
子どもの現状 (※複数回答)	小学校入学前	139	25	24	36	1	1	4	4	7	10	2	25
	小学生	114	21	18	28	2	1	6	3	3	3	3	26
	中学生	68	14	14	14	1	0	3	0	6	1	1	14
	高校生	60	13	11	12	0	1	4	1	5	3	0	10
	各種学校・専門学校・短大・大学・大学院生	75	15	12	18	0	3	2	4	6	4	3	8
	既に学校教育を終了している	551	87	92	114	8	12	22	25	58	36	19	78
	子どもはいない	305	59	53	60	8	5	11	10	30	17	13	39
	その他	11	3	1	0	0	0	1	1	1	0	1	3
	無回答	48	9	7	5	1	1	2	1	4	6	1	11
計	1,371	246	232	287	21	24	55	49	120	80	43	214	

※複数回答のため、合計数と総数は一致しません。

属性		地区											
		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
居住年数	2年未満	46	6	9	14	0	1	1	0	0	4	2	9
	2年以上～ 5年未満	48	18	9	7	0	0	3	1	1	7	0	2
	5年以上～ 10年未満	72	16	10	15	2	2	2	1	6	7	2	9
	10年以上～ 20年未満	164	33	34	34	5	0	5	7	12	5	8	21
	20年以上～ 30年未満	193	30	34	40	4	0	5	7	22	8	3	40
	30年以上	647	102	105	139	8	17	29	26	66	41	26	88
	無回答	36	8	4	3	1	1	2	1	3	4	1	8
	計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177
住居種類	持ち家 (一戸建て)	768	102	115	159	15	14	43	33	64	65	39	119
	持ち家 (マンション・ 共同住宅)	185	64	53	40	0	0	0	1	14	0	0	13
	借家 (一戸建て)	24	4	1	4	2	1	1	2	2	1	0	6
	借家 (マンション・ 共同住宅)	176	29	30	45	2	5	1	6	24	5	0	29
	その他	16	6	2	0	0	0	0	0	3	1	2	2
	無回答	37	8	4	4	1	1	2	1	3	4	1	8
	計	1,206	213	205	252	20	21	47	43	110	76	42	177

(6) 回答者の属性 (割合)

属性		地区											
		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
性別	割合	100.0%	17.7%	17.0%	20.9%	1.7%	1.7%	3.9%	3.6%	9.1%	6.3%	3.5%	14.7%
	男性	40.5%	37.1%	43.9%	44.8%	60.0%	52.4%	38.3%	34.9%	40.0%	38.2%	38.1%	35.0%
	女性	56.5%	59.2%	54.1%	54.0%	35.0%	42.9%	57.4%	62.8%	57.3%	57.9%	59.5%	59.9%
	無回答	3.0%	3.8%	2.0%	1.2%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	2.7%	3.9%	2.4%	5.1%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年代	10代	4.1%	3.3%	2.4%	6.7%	15.0%	0.0%	2.1%	2.3%	6.4%	2.6%	7.1%	1.7%
	20代	7.8%	7.0%	7.3%	7.5%	15.0%	0.0%	2.1%	9.3%	6.4%	9.2%	4.8%	11.9%
	30代	14.5%	16.0%	14.1%	15.9%	15.0%	9.5%	14.9%	16.3%	9.1%	13.2%	9.5%	16.4%
	40代	13.4%	15.5%	15.6%	14.7%	5.0%	14.3%	12.8%	4.7%	13.6%	10.5%	9.5%	11.9%
	50代	14.0%	14.6%	13.7%	15.9%	15.0%	9.5%	10.6%	14.0%	20.0%	11.8%	14.3%	9.6%
	60代	21.9%	19.7%	25.9%	20.6%	15.0%	23.8%	14.9%	30.2%	19.1%	19.7%	31.0%	22.6%
	70代以上	21.4%	20.2%	19.0%	17.5%	15.0%	38.1%	38.3%	20.9%	22.7%	28.9%	21.4%	21.5%
	無回答	2.9%	3.8%	2.0%	1.2%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	2.7%	3.9%	2.4%	4.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
職業	高校生	2.5%	1.9%	2.0%	4.0%	5.0%	0.0%	2.1%	2.3%	4.5%	0.0%	4.8%	1.1%
	専門学校・短大・大学生等	2.6%	3.8%	2.4%	2.8%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	3.9%	4.8%	1.7%
	会社員・公務員・団体職員	27.7%	31.0%	28.3%	31.0%	30.0%	19.0%	21.3%	27.9%	21.8%	22.4%	19.0%	28.8%
	自営業	6.3%	5.2%	8.8%	3.2%	15.0%	4.8%	12.8%	4.7%	7.3%	5.3%	7.1%	6.8%
	家事従事者	12.9%	12.2%	14.6%	16.7%	15.0%	4.8%	21.3%	7.0%	9.1%	10.5%	16.7%	8.5%
	パート・アルバイト	17.6%	16.4%	15.6%	17.5%	15.0%	14.3%	6.4%	20.9%	21.8%	22.4%	11.9%	20.9%
	無職	25.2%	23.5%	24.9%	21.4%	10.0%	52.4%	29.8%	32.6%	27.3%	28.9%	28.6%	24.9%
	その他	2.0%	2.3%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	2.1%	2.3%	3.6%	1.3%	4.8%	2.8%
	無回答	3.3%	3.8%	2.4%	2.4%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	2.7%	5.3%	2.4%	4.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
世帯構成	ひとり暮らし	9.5%	8.9%	12.7%	6.7%	5.0%	4.8%	10.6%	9.3%	7.3%	9.2%	11.9%	12.4%
	夫婦のみ	24.1%	24.4%	22.9%	23.4%	15.0%	28.6%	21.3%	16.3%	27.3%	27.6%	33.3%	23.7%
	二世帯同居(親と子)	50.9%	52.1%	49.3%	59.5%	50.0%	47.6%	48.9%	53.5%	51.8%	38.2%	40.5%	46.9%
	三世帯同居(祖父母と親と子)	9.5%	8.9%	11.2%	7.1%	25.0%	4.8%	12.8%	14.0%	6.4%	13.2%	9.5%	8.5%
	その他	2.9%	1.9%	2.0%	2.0%	0.0%	9.5%	2.1%	2.3%	4.5%	6.6%	2.4%	4.0%
	無回答	3.1%	3.8%	2.0%	1.2%	5.0%	4.8%	4.3%	4.7%	2.7%	5.3%	2.4%	4.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
子どもの現状(※複数回答)	小学校入学前		11.7%	11.7%	14.3%	5.0%	4.8%	8.5%	9.3%	6.4%	13.2%	4.8%	14.1%
	小学生		9.9%	8.8%	11.1%	10.0%	4.8%	12.8%	7.0%	2.7%	3.9%	7.1%	14.7%
	中学生		6.6%	6.8%	5.6%	5.0%	0.0%	6.4%	0.0%	5.5%	1.3%	2.4%	7.9%
	高校生		6.1%	5.4%	4.8%	0.0%	4.8%	8.5%	2.3%	4.5%	3.9%	0.0%	5.6%
	各種学校・専門学校・短大・大学・大学院生		7.0%	5.9%	7.1%	0.0%	14.3%	4.3%	9.3%	5.5%	5.3%	7.1%	4.5%
	既に学校教育を終了している		40.8%	44.9%	45.2%	40.0%	57.1%	46.8%	58.1%	52.7%	47.4%	45.2%	44.1%
	子どもはいない		27.7%	25.9%	23.8%	40.0%	23.8%	23.4%	23.3%	27.3%	22.4%	31.0%	22.0%
	その他		1.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.3%	0.9%	0.0%	2.4%	1.7%
	無回答		4.2%	3.4%	2.0%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	3.6%	7.9%	2.4%	6.2%
	計												

属性		地区											
		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
居住年数	2年未満	3.8%	2.8%	4.4%	5.6%	0.0%	4.8%	2.1%	0.0%	0.0%	5.3%	4.8%	5.1%
	2年以上～ 5年未満	4.0%	8.5%	4.4%	2.8%	0.0%	0.0%	6.4%	2.3%	0.9%	9.2%	0.0%	1.1%
	5年以上～ 10年未満	6.0%	7.5%	4.9%	6.0%	10.0%	9.5%	4.3%	2.3%	5.5%	9.2%	4.8%	5.1%
	10年以上～ 20年未満	13.6%	15.5%	16.6%	13.5%	25.0%	0.0%	10.6%	16.3%	10.9%	6.6%	19.0%	11.9%
	20年以上～ 30年未満	16.0%	14.1%	16.6%	15.9%	20.0%	0.0%	10.6%	16.3%	20.0%	10.5%	7.1%	22.6%
	30年以上	53.6%	47.9%	51.2%	55.2%	40.0%	81.0%	61.7%	60.5%	60.0%	53.9%	61.9%	49.7%
	無回答	3.0%	3.8%	2.0%	1.2%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	2.7%	5.3%	2.4%	4.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
住居種類	持ち家 (一戸建て)	63.7%	47.9%	56.1%	63.1%	75.0%	66.7%	91.5%	76.7%	58.2%	85.5%	92.9%	67.2%
	持ち家 (マンション・ 共同住宅)	15.3%	30.0%	25.9%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	12.7%	0.0%	0.0%	7.3%
	借家 (一戸建て)	2.0%	1.9%	0.5%	1.6%	10.0%	4.8%	2.1%	4.7%	1.8%	1.3%	0.0%	3.4%
	借家 (マンション・ 共同住宅)	14.6%	13.6%	14.6%	17.9%	10.0%	23.8%	2.1%	14.0%	21.8%	6.6%	0.0%	16.4%
	その他	1.3%	2.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	1.3%	4.8%	1.1%
	無回答	3.1%	3.8%	2.0%	1.6%	5.0%	4.8%	4.3%	2.3%	2.7%	5.3%	2.4%	4.5%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<参考>地区別地図



地区名	町丁名
海岸	久領堤、黒部丘、幸町、董平、千石河岸、袖ヶ浜、代官町、高浜台、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜、花水台、札場町、松風町、桃浜町、八重咲町、夕陽ヶ丘、龍城ヶ丘
平塚	明石町、天沼、榎木町、老松町、上平塚、桜ヶ丘、須賀、諏訪町、浅間町、宝町、立野町、達上ヶ丘、堤町、豊原町、中里、中堂、長瀬、錦町、馬入、馬入本町、平塚1～5丁目、富士見町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町、八千代町
大野	追分、大原、御殿1～4丁目、四之宮1～7丁目、新町、中原1～3丁目、中原下宿、西真土1～4丁目、西八幡1～4丁目、東真土1～4丁目、東中原1～2丁目、東八幡1～5丁目、南原1～4丁目
豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
城島	大島、城所、小鍋島、下島
岡崎	岡崎、ふじみ野1～2丁目
金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
神田	大神、田村1～9丁目、横内、吉際
金目	片岡、北金目、北金目1～4丁目、真田、真田1～4丁目、千須谷、広川、南金目
土沢	上吉沢、下吉沢、土屋、めぐみが丘1～2丁目
旭	出縄、公所、河内、高根、高村、徳延、根坂間、日向岡1～2丁目、纏、万田、山下

4. 結果利用上の注意

(1) 結果は百分率(%)で表示し、小数第二位を四捨五入して算出しました。従って、端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が100%にならない場合があります。

(2) 統計表中の符号の用途は次のとおりです。

「0.0」・・・単位未満

「-」・・・・・・皆無又は該当数字なし

(3) 対象者は各年代ともに人口構成比に合わせて抽出し調査を実施しましたが、回収結果としては、30歳代と60歳代は実際の人口割合よりも高い回答率となりました。このため、回収されたデータと母集団(本市年代別人口)の構成比をほぼ同一にするため、ウェイトバック集計も行いました。

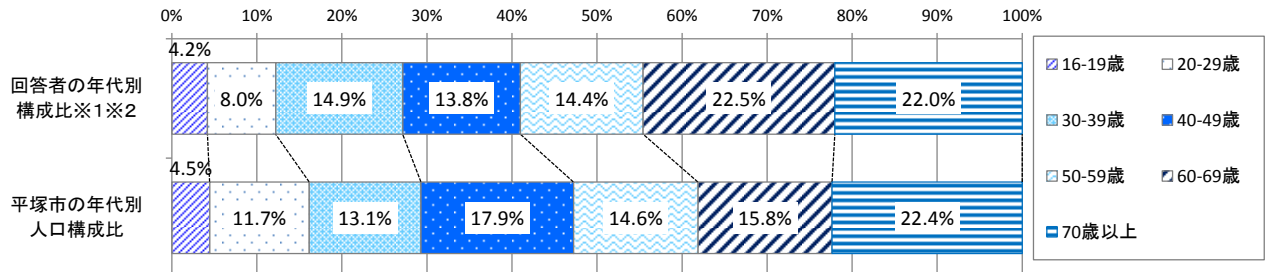
◆平塚市の年代別人口構成比及び回答者の年代別構成比

年齢	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
回答者の年代別構成比※1※2	4.2%	8.0%	14.9%	13.8%	14.4%	22.5%	22.0%	100.0%
平塚市の年代別人口構成比	4.5%	11.7%	13.1%	17.9%	14.6%	15.8%	22.4%	100.0%
ウェイト値※3	1.06	1.46	0.88	1.30	1.01	0.70	1.02	—

※1 平塚市の年代別人口構成比は、平成30(2018)年1月1日現在のもの

※2 年齢不明の回答者がいるため、回答者の年代別構成比は年齢不明者を除く割合となっており、6ページの回答者の年代別構成比の数値とは異なる。

※3 ウェイト値 = 平塚市の各年代別人口 ÷ 各年代の回収数 × (回収数合計 ÷ 人口合計)



例) 問1で『住み続ける』との回答を、本市の年代別人口構成比で補正する場合

	実数	実数の割合
1住み続ける	641	53.2%

年代別人口構成比による補正前

$$641 \text{ 人} \div 1,206 \text{ 人} \times 100 = 53.2\%$$

年代別人口構成比による補正後

$$605 \text{ 人} \div 1,171 \text{ 人} \times 100 = 51.7\%$$

↑

	回答数	×	ウェイト値	=	補正後の回答数
16-19歳	9	×	1.06	=	10
20-29歳	26	×	1.46	=	38
30-39歳	80	×	0.88	=	70
40-49歳	78	×	1.30	=	101
50-59歳	84	×	1.01	=	85
60-69歳	162	×	0.70	=	113
70歳以上	185	×	1.02	=	188
年代不詳	17			=	—
総計	641			=	605

※年齢不明の回答者がいるため、年代別人口比補正後の集計上の回収数と、3ページの「標本数及び回収結果」の有効回収数は異なる。

5. 過去の調査概要

平成25年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成25年11月5日(火)～11月14日(木)
- (4) 有効回収率 44.2%(1,320件)

平成26年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成26年10月17日(金)～10月31日(金)
- (4) 有効回収率 35.4%(1,059件)

平成28年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成28年10月7日(金)～10月26日(水)
- (4) 有効回収率 42.6%(1,276件)

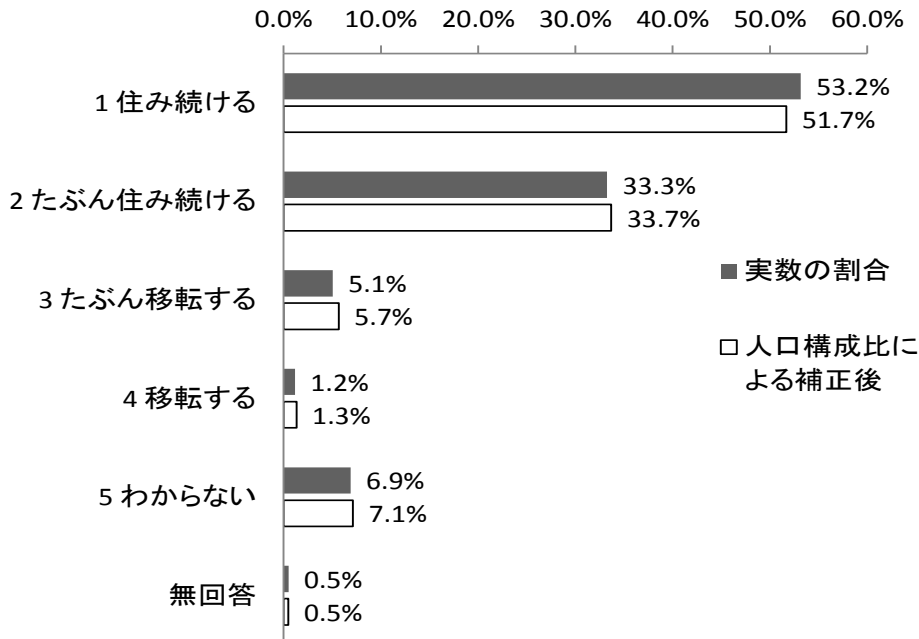
第2章 結果の概要

【1】あなたの今後における平塚市への居留意向などについて

(問1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。(〇は1つ)

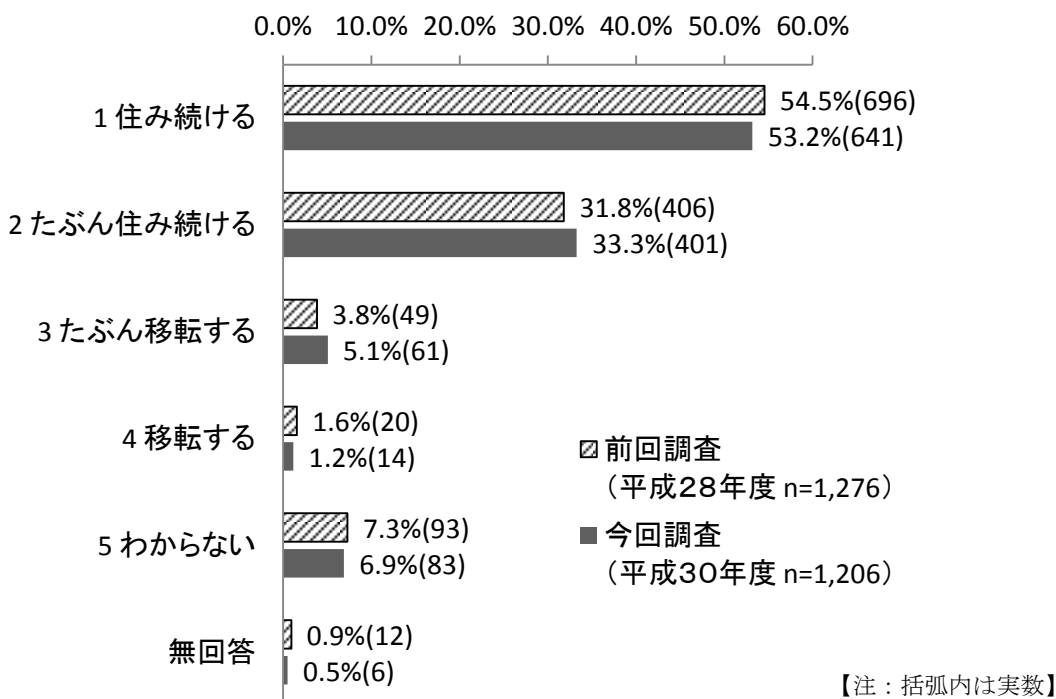
【全体の傾向】

平塚市への居留意向については、「1 住み続ける」が53.2%と最も多く、「2 たぶん住み続ける」の33.3%を合わせると86.5%となり、大半を占めている。また、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた市外への『移転意向』は6.3%となっている。



【前回調査との比較】

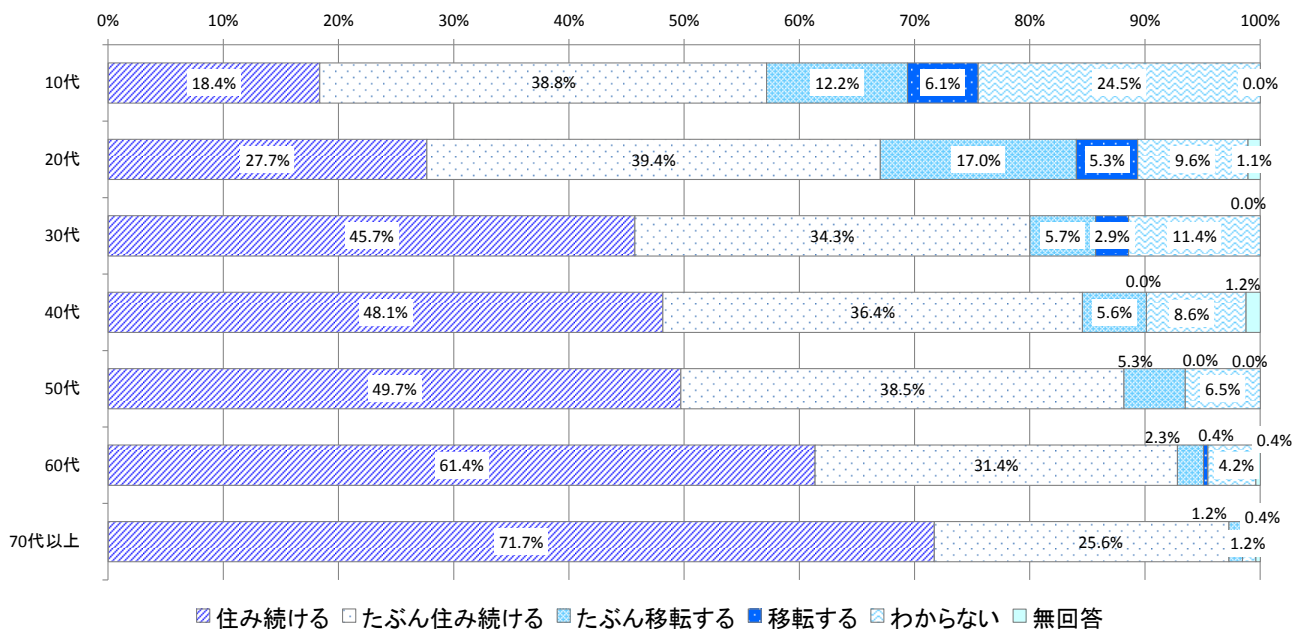
「1 住み続ける」が1.3ポイント減少したが、「2 たぶん住み続ける」が1.5ポイント増加した。前回調査と比較して全体的な傾向に変化は見られない。



【年代別の傾向】

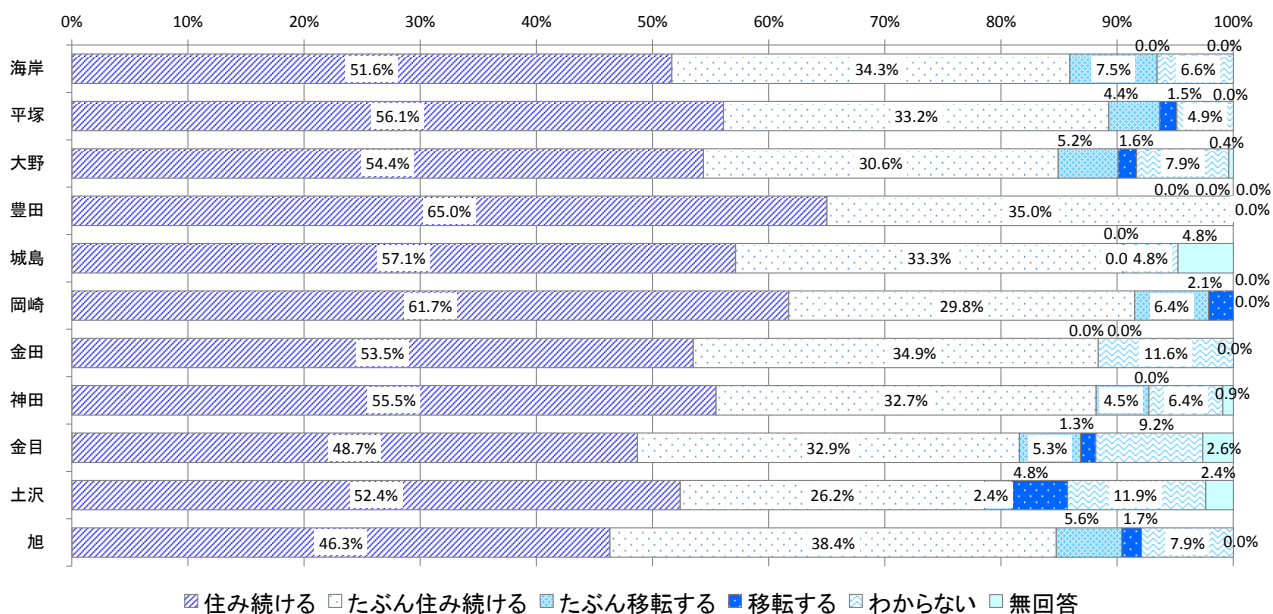
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』は、10代では57.2%、20代では67.1%となっているが、年代が上がるにしたがって増加する傾向にある。

一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は20代が最も高く22.3%となっている。次いで、10代が18.3%と続いている。



【地区別の傾向】

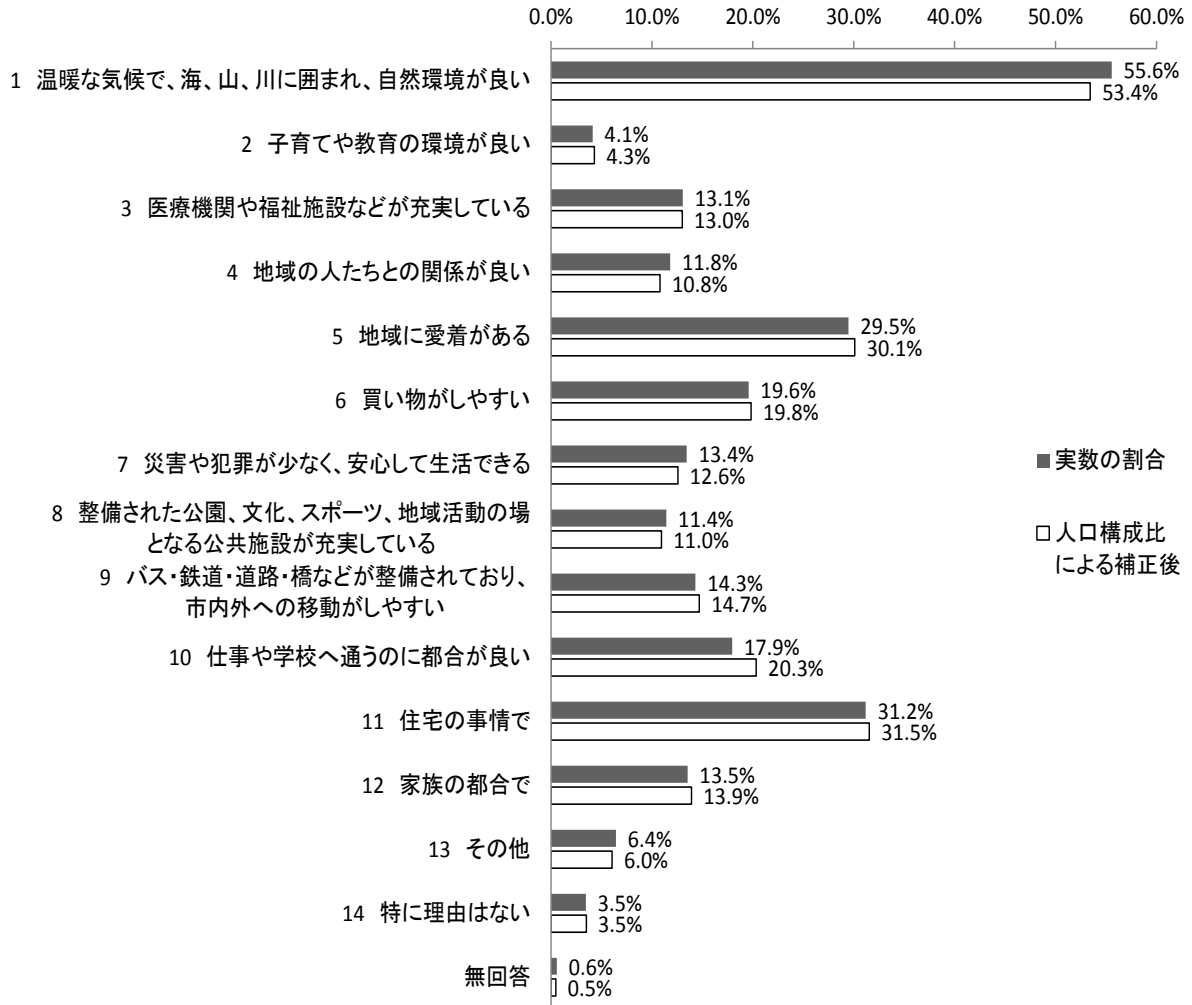
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』が最も高いのは豊田地区で、100%となっている。一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は岡崎地区が8.5%で、最も高くなっている。



(問2) (問1) で「1」または「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

平塚市に住み続けようと思う主な理由は「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が55.6%で、最も高くなっている。次いで、「11 住宅の事情で」が31.2%、「5 地域に愛着がある」が29.5%と続いている。

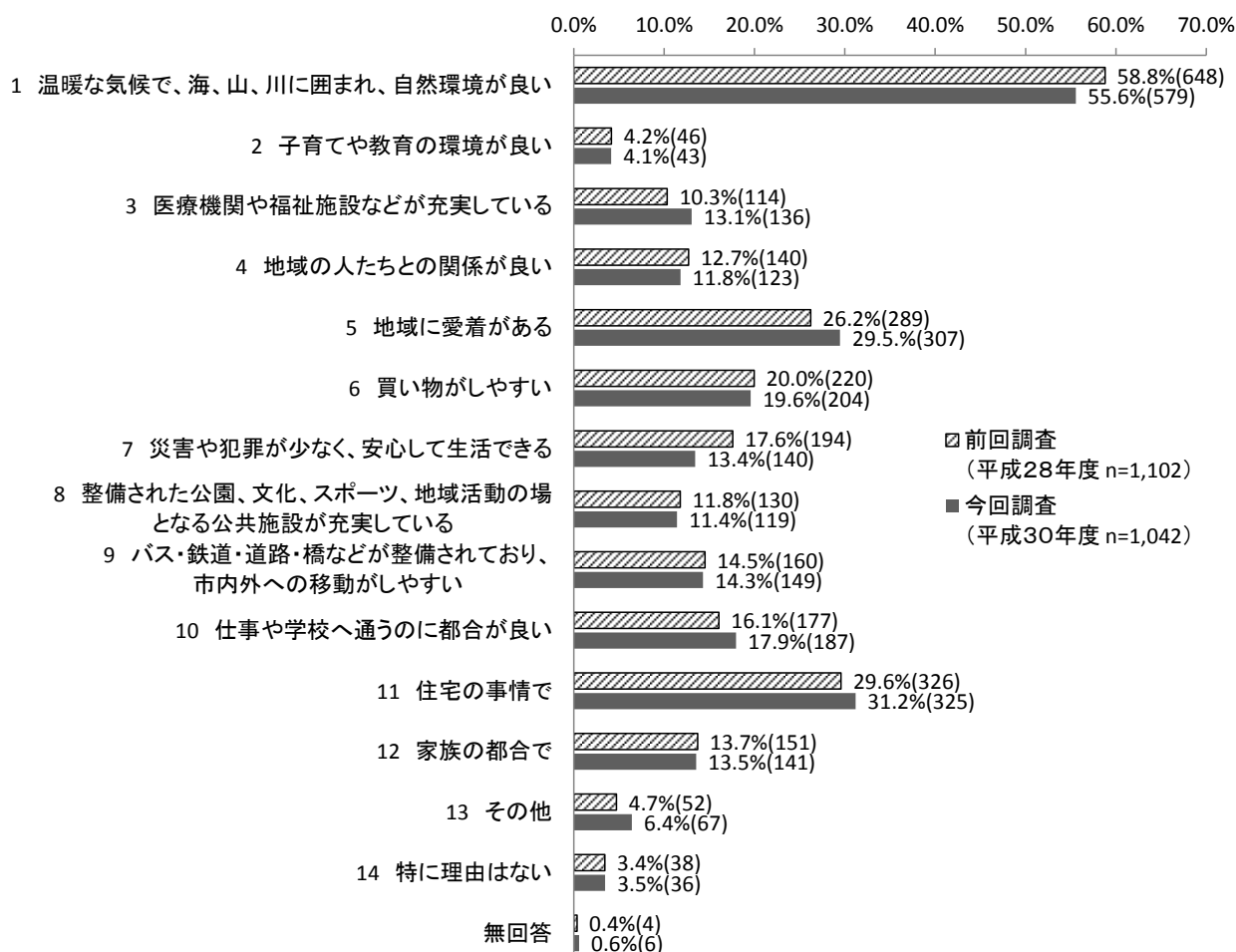


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と同様、「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなったが、比較すると3.2ポイント減少している。

前回調査から最も変化があったのは、4.2ポイント減となった「7 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる」であった。また、「5 地域に愛着がある」が3.3ポイント、「3 医療機関や福祉施設などが充実している」が2.8ポイント増加となった。全体的な傾向に変化は見られない。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

30代と50代以上では「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高く、特に50代以上では、5割を超えている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	地域に愛着がある 39.3%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 35.7%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い/バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい		家族の都合で 21.4%
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良い 55.6%	地域に愛着がある 49.2%	買い物がしやすい 30.2%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 28.6%	家族の都合で 23.8%
30代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 37.1%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 31.4%	住宅の事情で 30.7%	地域に愛着がある 30.0%	家族の都合で 22.9%
40代	住宅の事情で 42.3%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 40.9%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 32.8%	地域に愛着がある 32.1%	家族の都合で 18.2%
50代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 57.0%	住宅の事情で 40.9%	地域に愛着がある 28.2%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 19.5%	買い物がしやすい/バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 18.8%
60代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 70.2%	住宅の事情で 31.8%	地域に愛着がある 26.5%	買い物がしやすい 18.4%	地域の人たちとの関係が良い 17.1%
70代以上	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 68.5%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 28.3%	医療機関や福祉施設などが充実している 26.7%	住宅の事情で 26.3%	地域に愛着がある 24.3%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

10地区で「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなり、8つの地区で5割を超えている。また、6つの地区で「11 住宅の事情で」が2位になっており、金田地区では5割を超え、1位となっている。

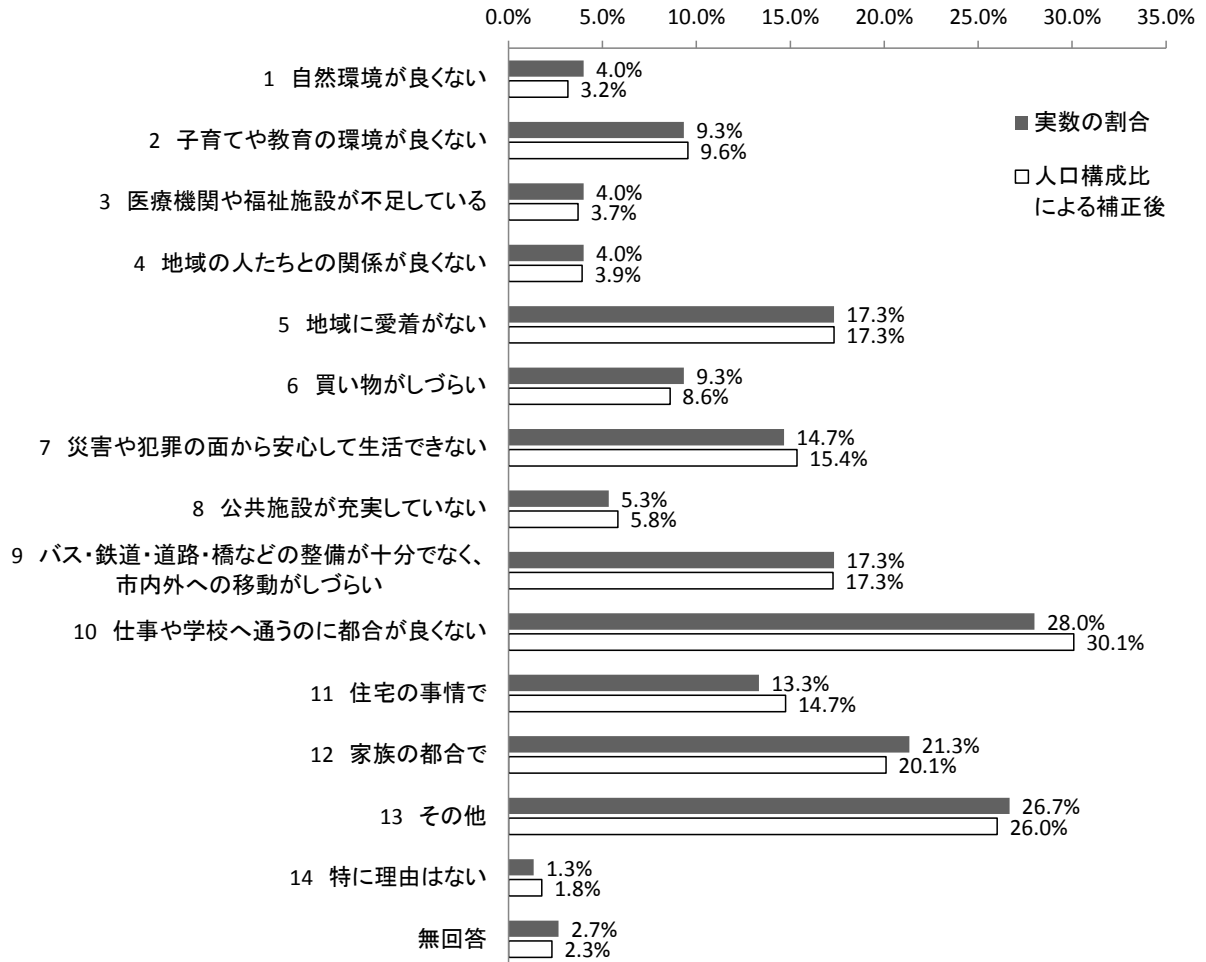
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 66.7%	地域に愛着がある 29.5%	住宅の事情で 21.3%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 20.2%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 19.7%
平塚	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 54.6%	地域に愛着がある 29.5%	住宅の事情で 28.4%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい/仕事や学校へ通うのに都合が良い	22.4%
大野	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 51.4%	住宅の事情で 34.6%	地域に愛着がある 30.8%	買い物がしやすい 24.3%	整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している 19.6%
豊田	地域に愛着がある 60.0%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 55.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる/仕事や学校へ通うのに都合が良い/住宅の事情で/家族の都合で		20.0%
城島	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 63.2%	地域に愛着がある 47.4%	医療機関や福祉施設などが充実している 36.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 31.6%	地域の人たちとの関係が良い 15.8%
岡崎	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 51.2%	住宅の事情で 27.9%	地域に愛着がある 25.6%	地域の人たちとの関係が良い/家族の都合で	23.3%
金田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い/住宅の事情で 52.6%		地域に愛着がある 34.2%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 21.1%	家族の都合で 18.4%
神田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 43.3%	住宅の事情で 38.1%	地域に愛着がある 29.9%	買い物がしやすい 27.8%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 20.6%
金目	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 48.4%	住宅の事情で 35.5%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 21.0%	地域の人たちとの関係が良い/地域に愛着がある	14.5%
土沢	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 63.6%	住宅の事情で 33.3%	地域に愛着がある 27.3%	地域の人たちとの関係が良い 18.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 15.2%
旭	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 59.3%	住宅の事情で 34.0%	地域に愛着がある/買い物がしやすい		仕事や学校へ通うのに都合が良い 20.7%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

（問3）（問1）で「3」または「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。（〇は3つまで）

【全体の傾向】

問1で市外への移転意向を持つと答えた6.3%の方に聞いたところ、その理由としては「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が28.0%と最も高くなった。次いで、「13 その他」が26.7%、「12 家族の都合で」が21.3%と続いている。

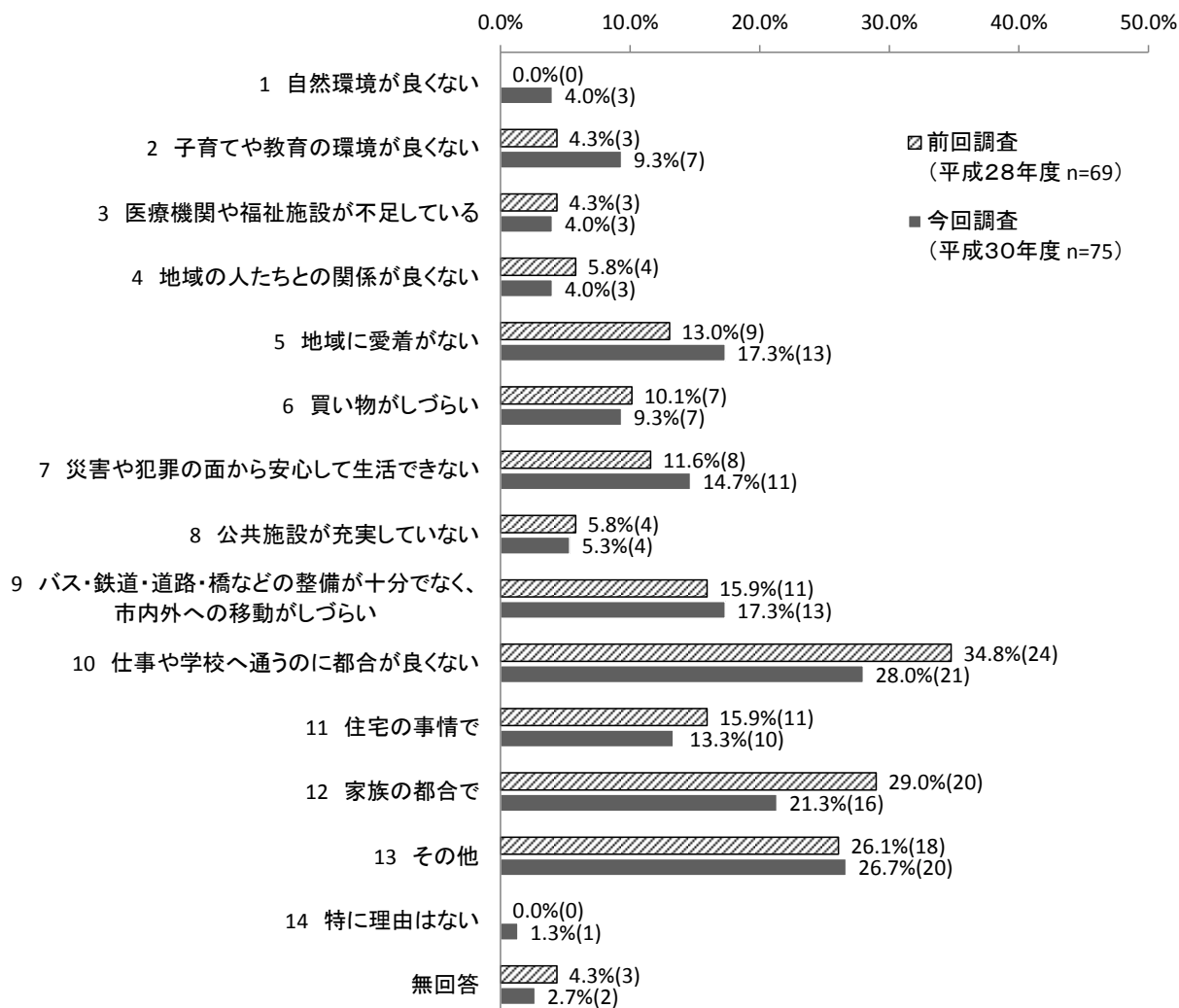


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して大きく変化が見られた項目として、「12 家族の都合で」が7.7ポイント、「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が6.8ポイント減少している。

一方、「2 子育てや教育の環境が良くない」が5.0ポイント、「5 地域に愛着がない」が4.3ポイント、「7 災害や犯罪の面から安心して生活できない」が3.1ポイント増加している。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

10代、20代及び30代では「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 55.6%	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 33.3%	その他 22.2%	地域の人たちとの関係が良くない/住宅の事情で 11.1%	
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 47.6%	地域に愛着がない 23.8%	住宅の事情で 19.0%	子育てや教育の環境が良くない/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる/家族の都合で/その他 14.3%	
30代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない/家族の都合で/その他 26.7%			地域に愛着がない/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 20.0%	
40代	家族の都合で/その他 44.4%		災害や犯罪の面から安心して生活できない 33.3%	子育てや教育の環境が良くない/地域に愛着がない 22.2%	
50代	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 55.6%	住宅の事情で 33.3%	医療機関や福祉施設が不足している/家族の都合で 22.2%		自然環境が良くない/地域に愛着がない/買い物しづらい/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる/公共施設が充実していない/その他/無回答・無効票 11.1%
60代	その他 42.9%	買い物しづらい/家族の都合で 28.6%		自然環境が良くない/地域の人たちとの関係が良くない/地域に愛着がない/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 14.3%	
70代以上	その他 100.0%	医療機関や福祉施設が不足している/買い物しづらい/公共施設が充実していない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 33.3%			

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」と「13 その他」が、11地区中4つの地区で最も高くなっている。

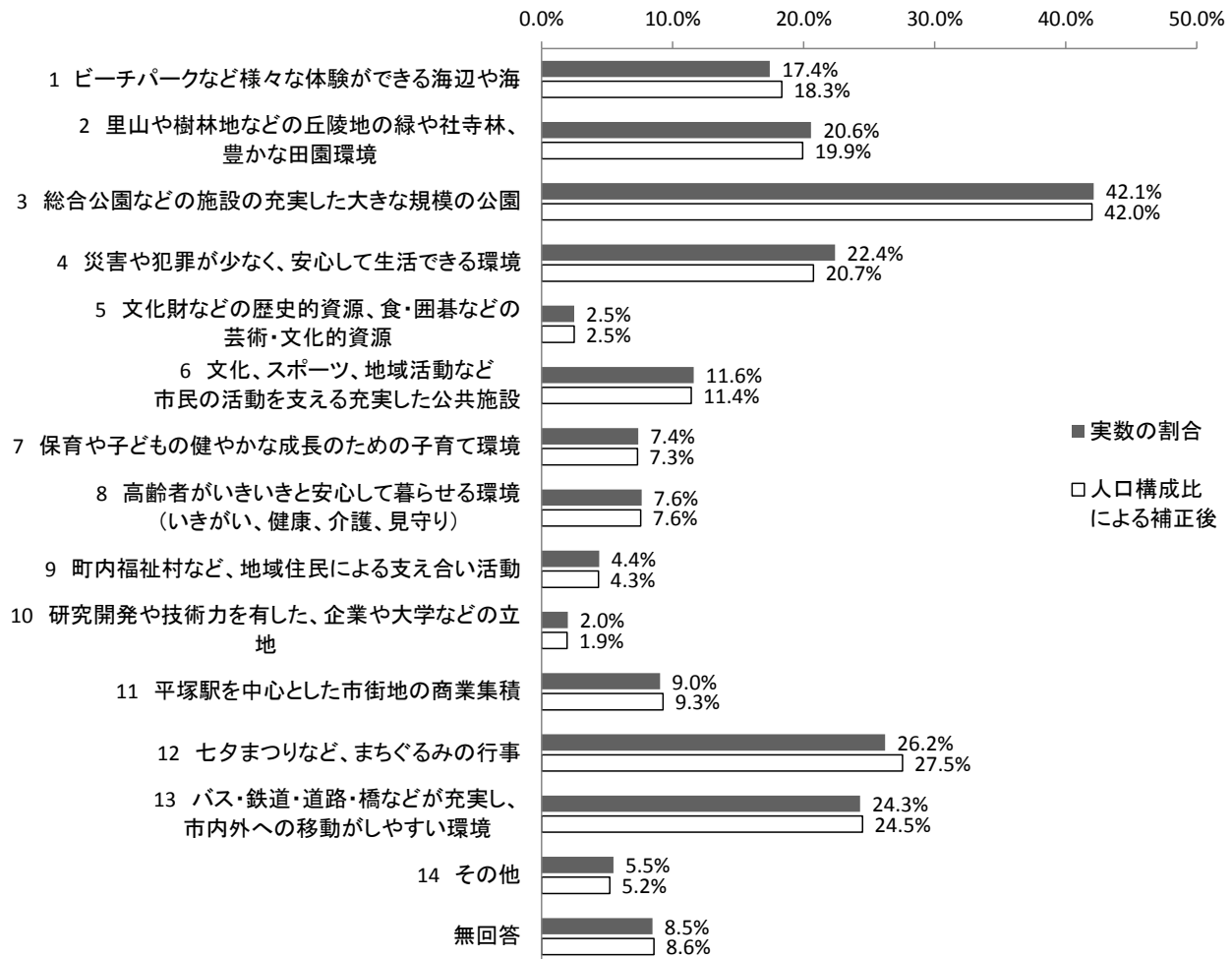
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 37.5%	その他 25.0%	地域に愛着がない/住宅の事情で 18.8%		子育てや教育の環境が良くない/家族の都合で 12.5%
平塚	災害や犯罪の面から安心して生活できない 41.7%	仕事や学校へ通うのに都合が良くない/家族の都合で 33.3%		子育てや教育の環境が良くない 25.0%	地域に愛着がない/買い物しづらい/住宅の事情で/その他 8.3%
大野	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/仕事や学校へ通うのに都合が良くない 35.3%		その他 29.4%	災害や犯罪の面から安心して生活できない 23.5%	地域に愛着がない/住宅の事情で/家族の都合で 11.8%
豊田					
城島					
岡崎	買い物しづらい 50.0%	自然環境が良くない/医療機関や福祉施設が不足している/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/仕事や学校へ通うのに都合が良くない/家族の都合で/その他/無回答・無効票 25.0%			
金田					
神田	住宅の事情で 60.0%	医療機関や福祉施設が不足している/地域の人たちとの関係が良くない/買い物しづらい/災害や犯罪の面から安心して生活できない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/家族の都合で/その他 20.0%			
金目	地域に愛着がない 60.0%	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/仕事や学校へ通うのに都合が良くない/住宅の事情で/その他 20.0%			
土沢	その他 66.7%	地域に愛着がない/仕事や学校へ通うのに都合が良くない/家族の都合で 33.3%			
旭	家族の都合で/その他 38.5%		地域に愛着がない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 23.1%	公共施設が充実していない/仕事や学校へ通うのに都合が良くない 15.4%	

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

(問4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」が42.1%と最も高くなっている。次いで、「12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事」が26.2%、「13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」が24.3%と続いている。

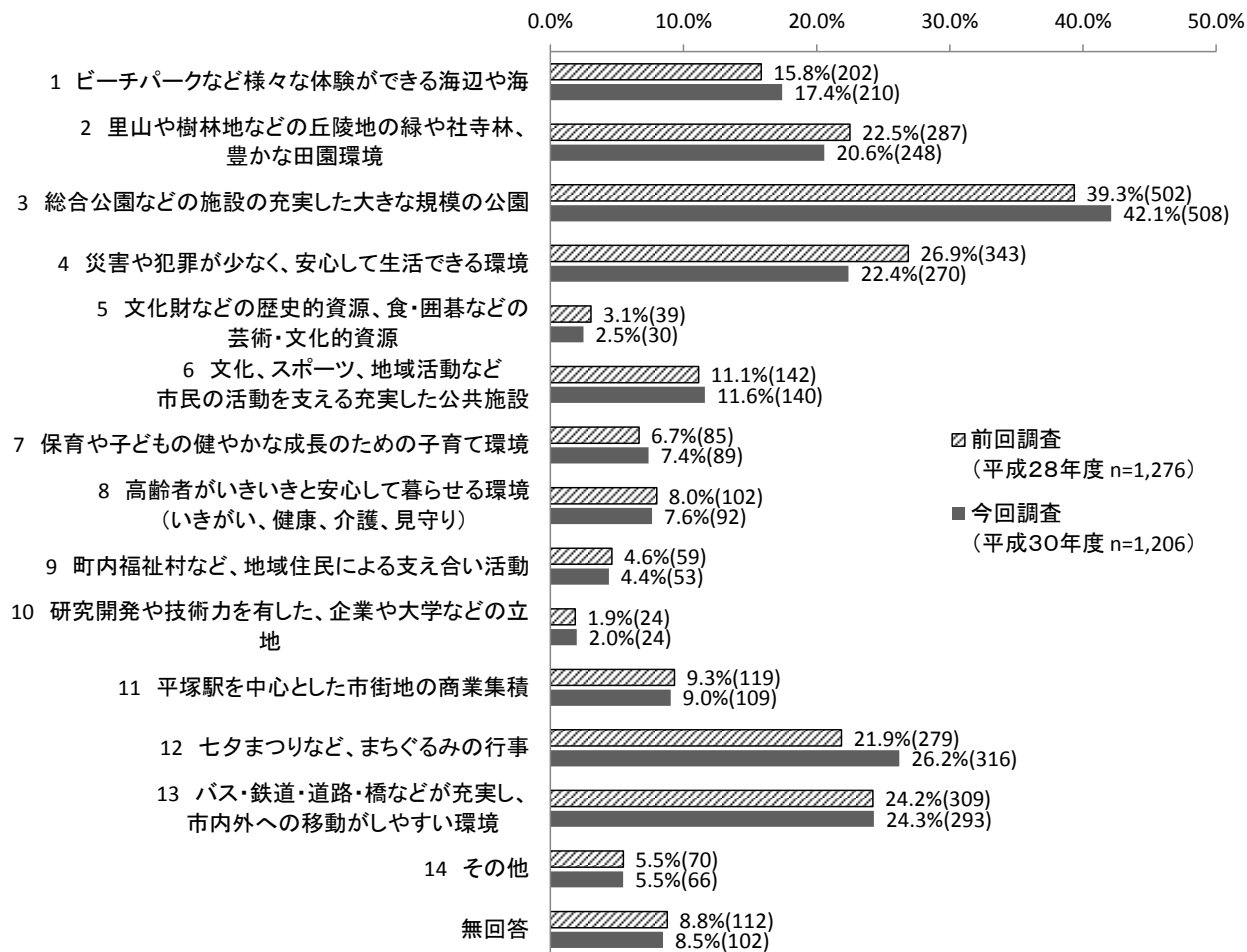


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

今回の調査で最も高くなった「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」は前回調査においても最も高くなっている。次いで、「12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事」が4.3ポイント増加し、26.2%となっている。

前回調査で2番目に高かった「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」は4.5ポイント減少し、22.4%となっている。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」はどの年代においても1位または2位となっており、年代を問わず平塚市の魅力と感じられている。

「12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事」は10代から40代で上位に、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」は60代以上で上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 59.2%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 42.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 20.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海/文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設 18.4%	
20代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 42.6%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 35.1%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 26.6%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 25.5%	平塚駅を中心とした市街地の商業集積 13.8%
30代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 48.6%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 35.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 21.7%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 18.3%	保育や子どもの健やかな成長のための子育て環境 16.0%
40代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 45.7%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 32.7%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 25.3%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 24.1%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 22.2%
50代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 48.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 27.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 25.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 24.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 22.5%
60代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 39.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 32.6%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 28.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 26.9%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 17.8%
70代以上	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 40.3%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 36.4%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 24.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 22.5%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境(いきが、健康、介護、見守り) 16.3%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「3 総合公園など施設の充実した大きな規模の公園」は海岸地区と土沢地区を除く9地区で1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 34.7%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 30.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 28.2%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 26.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 23.0%
平塚	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 45.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 32.2%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 22.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境/文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設 18.5%	
大野	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 57.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 27.4%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 25.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 21.8%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 14.7%
豊田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 60.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 30.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境/七夕まつりなど、まちぐるみの行事/バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 25.0%		
城島	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 71.4%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 38.1%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 33.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 23.8%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境(いきがい、健康、介護、見守り) 14.3%
岡崎	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 48.9%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 29.8%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 19.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境/バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 17.0%	
金田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 48.8%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 37.2%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 30.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 18.6%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 16.3%
神田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 44.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 33.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 29.1%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 20.9%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 19.1%
金目	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 30.3%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 28.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境/七夕まつりなど、まちぐるみの行事 23.7%		無回答 15.8%
土沢	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 52.4%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 31.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 23.8%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 16.7%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海/保育や子どもの健やかな成長のための子育て環境 14.3%
旭	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 35.6%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 26.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 25.4%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 21.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 20.3%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

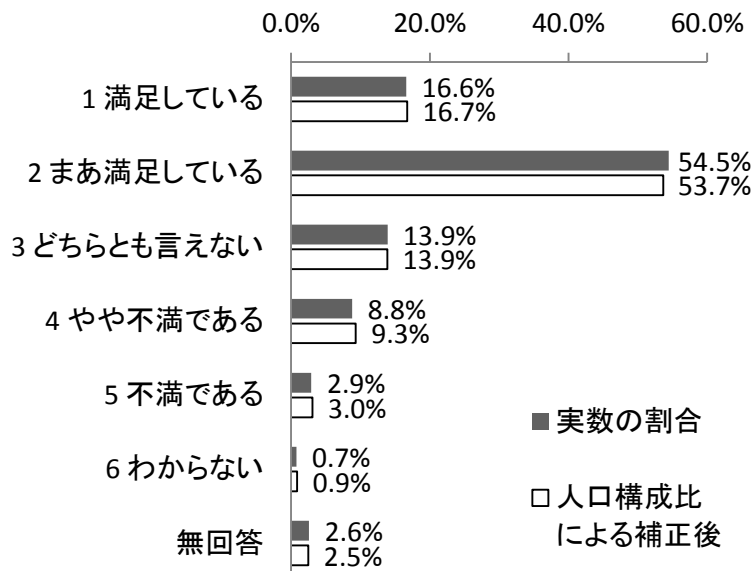
【2】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

(問5) あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

【全体の傾向】

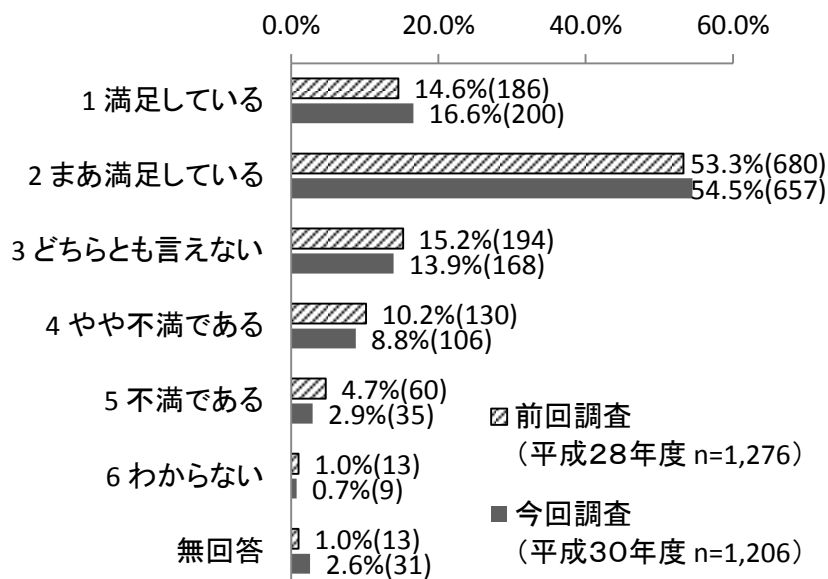
「2 まあ満足している」が54.5%で最も高く、「1 満足している」の16.6%と合わせると7割以上の人が満足していることになる。

一方、「4 やや不満である」と「5 不満である」と回答した人は、合わせて11.7%であった。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「1 満足している」と「2 まあ満足している」の合計では、3.2ポイント増加し、「4 やや不満である」と「5 不満である」の合計は、3.2ポイント減少した。

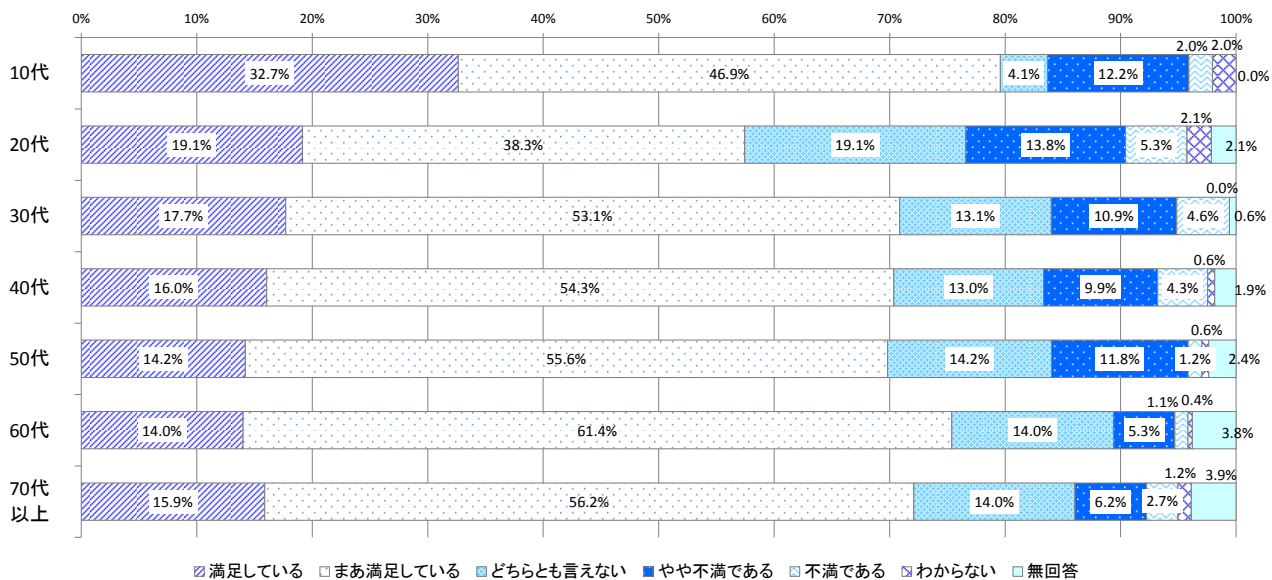


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、10代が79.6%と最も高く、20代が57.4%と最も低くなっている。

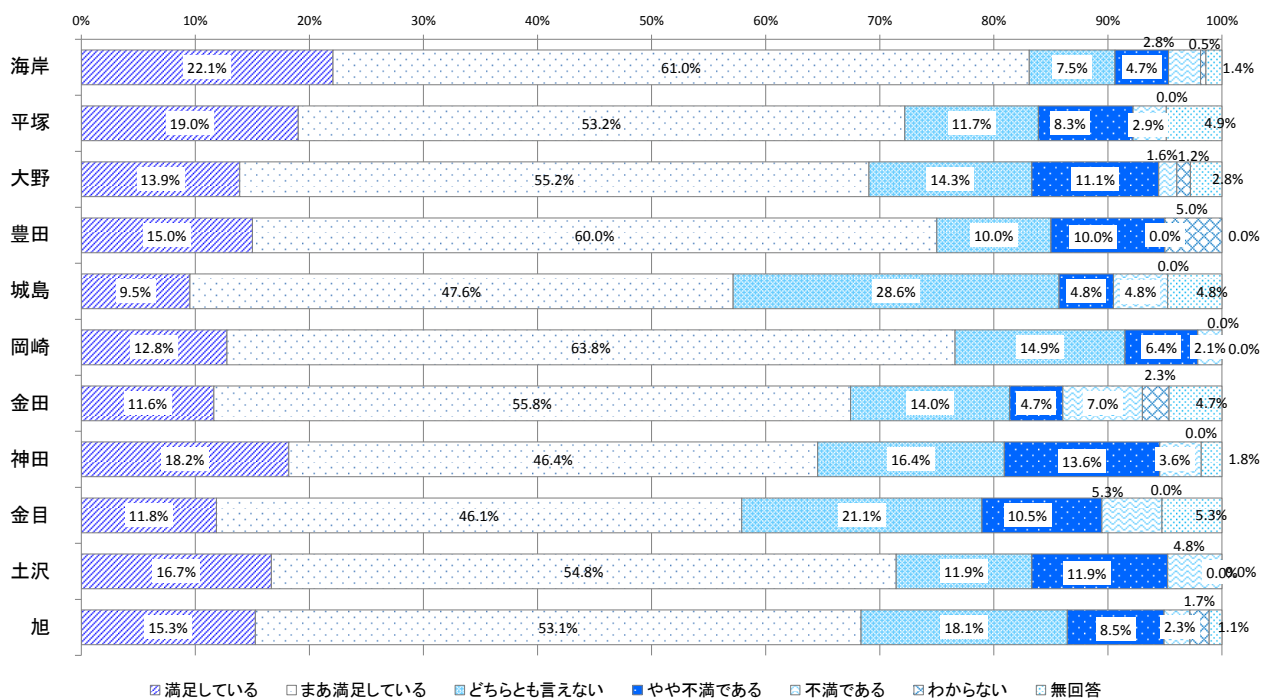
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合も、20代が19.1%と全年代を通して最も高くなっている。



【地区別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、海岸地区が最も高く、8割を超えている。

また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、神田地区が最も高く、17.2%となっている。

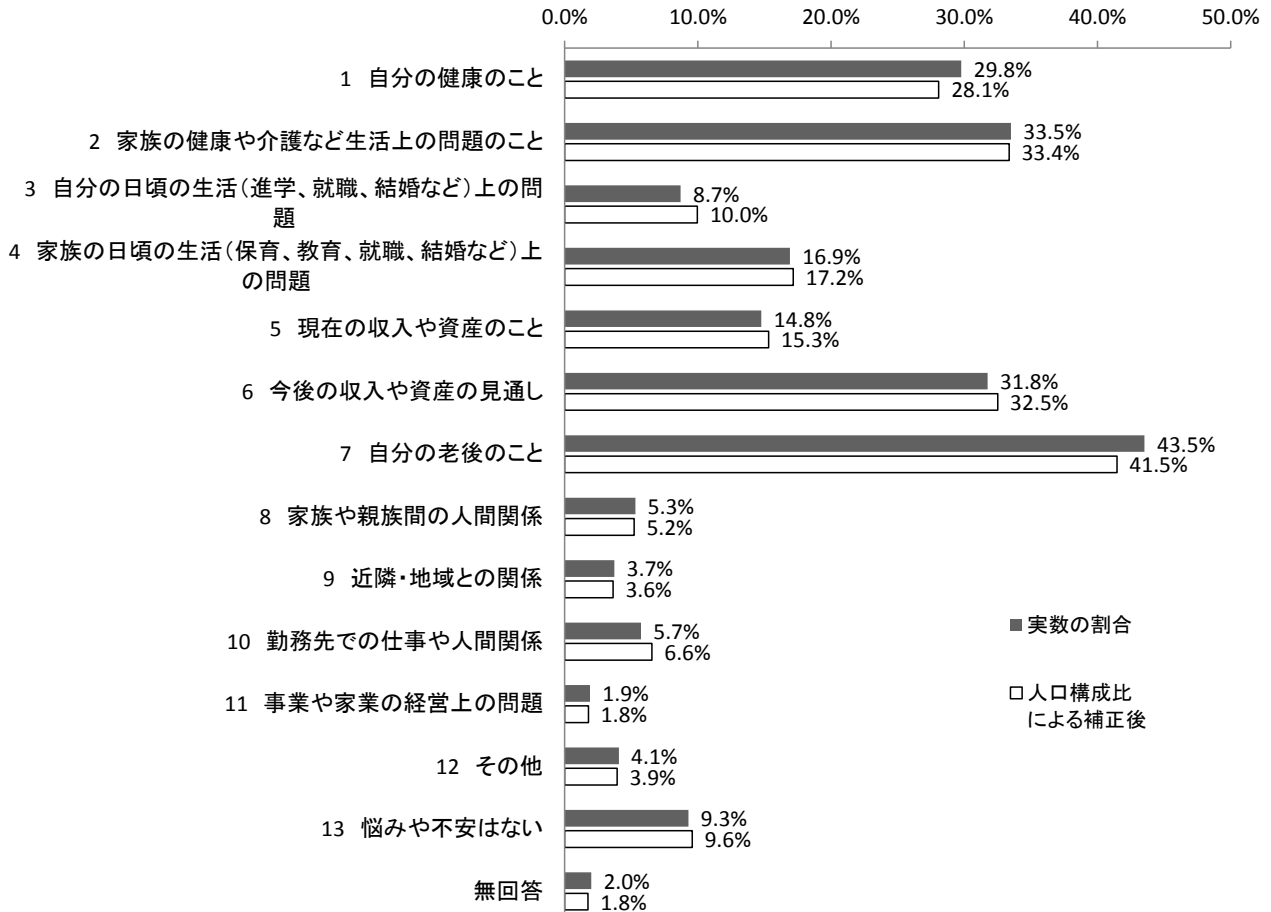


(問6) あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとがありますか。

(〇は3つまで)

【全体の傾向】

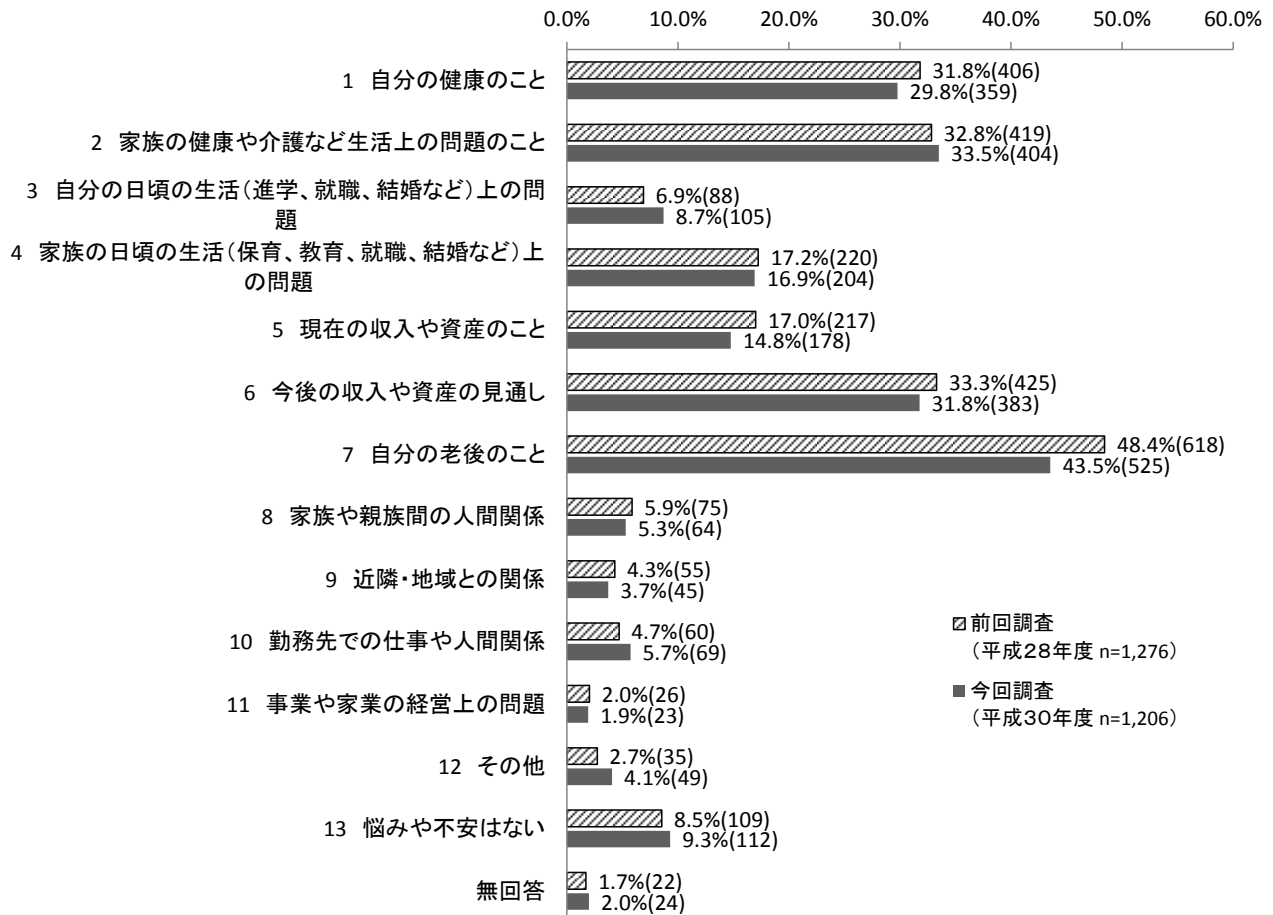
「7 自分の老後のこと」が43.5%と最も高く、次いで「2 家族の健康や介護など生活上の問題のこと」が33.5%、「6 今後の収入や資産の見通し」が31.8%と続いている。



【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

「7 自分の老後のこと」は前回調査よりも4.9ポイント減少したが、全体的な傾向としては前回調査と同様の傾向となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

20代、30代及び40代では、「6 今後の収入や資産の見通し」が最も高く、50代以上では「7 自分の老後のこと」が最も高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 53.1%	悩みや不安はない 28.6%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 16.3%	自分の健康のこと 12.2%	今後の収入や資産の見通し/勤務先での仕事や人間関係 10.2%
20代	今後の収入や資産の見通し 38.3%	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 35.1%	現在の収入や資産のこと 28.7%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 21.3%	勤務先での仕事や人間関係 18.1%
30代	今後の収入や資産の見通し 41.7%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 31.4%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 28.6%	自分の老後のこと 26.3%	現在の収入や資産のこと 22.9%
40代	家族の健康や介護など生活上の問題のこと/今後の収入や資産の見通し 39.5%	自分の老後のこと 35.8%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 31.5%	自分の健康のこと 18.5%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 13.6%
50代	自分の老後のこと 56.2%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 43.8%	今後の収入や資産の見通し 39.6%	自分の健康のこと 27.2%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 12.9%
60代	自分の老後のこと 56.4%	自分の健康のこと 39.0%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 36.7%	今後の収入や資産の見通し 31.4%	現在の収入や資産のこと 10.5%
70代以上	自分の老後のこと 55.8%	自分の健康のこと 47.7%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 31.8%	今後の収入や資産の見通し 19.0%	現在の収入や資産のこと 10.5%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全11地区のうち10地区で「7 自分の老後のこと」が最も高くなっている。それ以外の豊田地区では、「6 今後の収入や資産の見通し」が最も高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	自分の老後のこと 44.1%	今後の収入や資産の見通し 35.7%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 31.9%	自分の健康のこと 28.6%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 18.3%
平塚	自分の老後のこと 42.4%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 33.2%	今後の収入や資産の見通し 31.2%	自分の健康のこと 28.8%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 17.1%
大野	自分の老後のこと 39.7%	今後の収入や資産の見通し 30.2%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 29.8%	自分の健康のこと 29.4%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 23.0%
豊田	今後の収入や資産の見通し 45.0%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと/家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題/自分の老後のこと 30.0%	自分の健康のこと 30.0%	今後の収入や資産の見通し 15.0%	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題/現在の収入や資産のこと 15.0%
城島	自分の老後のこと 71.4%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 47.6%	自分の健康のこと 38.1%	今後の収入や資産の見通し 23.8%	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 9.5%
岡崎	自分の老後のこと 48.9%	今後の収入や資産の見通し 27.7%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 23.4%	自分の健康のこと 19.1%	現在の収入や資産のこと 17.0%
金田	自分の老後のこと 41.9%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 39.5%	自分の健康のこと 37.2%	今後の収入や資産の見通し 34.9%	現在の収入や資産のこと 20.9%
神田	自分の老後のこと 43.6%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 40.9%	自分の健康のこと/今後の収入や資産の見通し 30.0%	今後の収入や資産の見通し 20.0%	現在の収入や資産のこと 20.0%
金目	自分の老後のこと 40.8%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 39.5%	自分の健康のこと 32.9%	今後の収入や資産の見通し 26.3%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題/現在の収入や資産のこと 10.5%
土沢	自分の老後のこと 50.0%	自分の健康のこと 38.1%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 31.0%	今後の収入や資産の見通し 28.6%	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題/悩みや不安はない 9.5%
旭	自分の老後のこと 46.3%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 34.5%	今後の収入や資産の見通し 33.9%	自分の健康のこと 31.6%	現在の収入や資産のこと 18.6%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

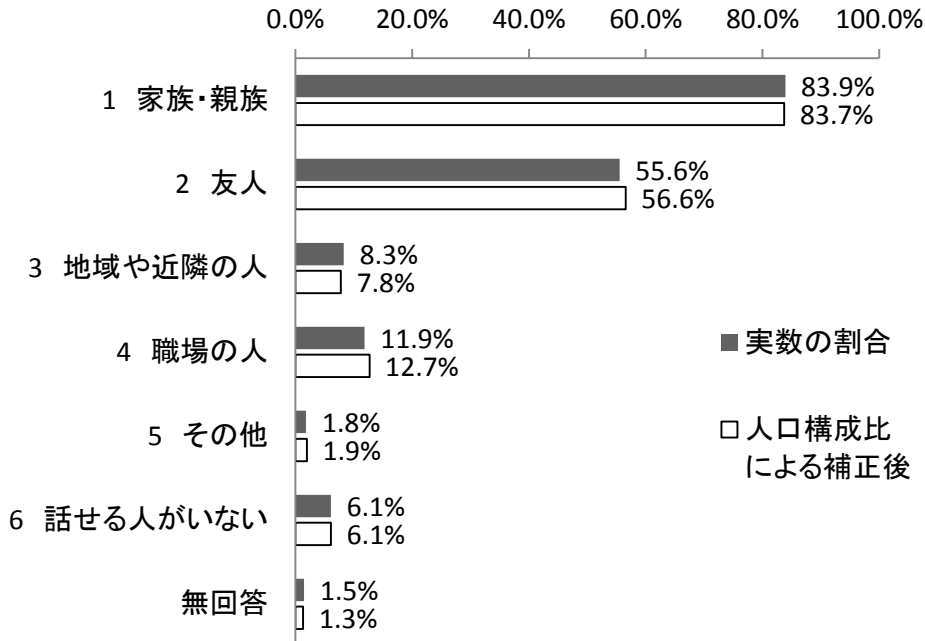
(問7) あなたには、悩みや不安を話せる人はいますか。相手はどのような人ですか。

(〇は3つまで)

【全体の傾向】

悩みや不安を話せる相手としては、「1 家族・親族」が 83.9%と最も高く、次いで「2 友人」が 55.6%となっている。

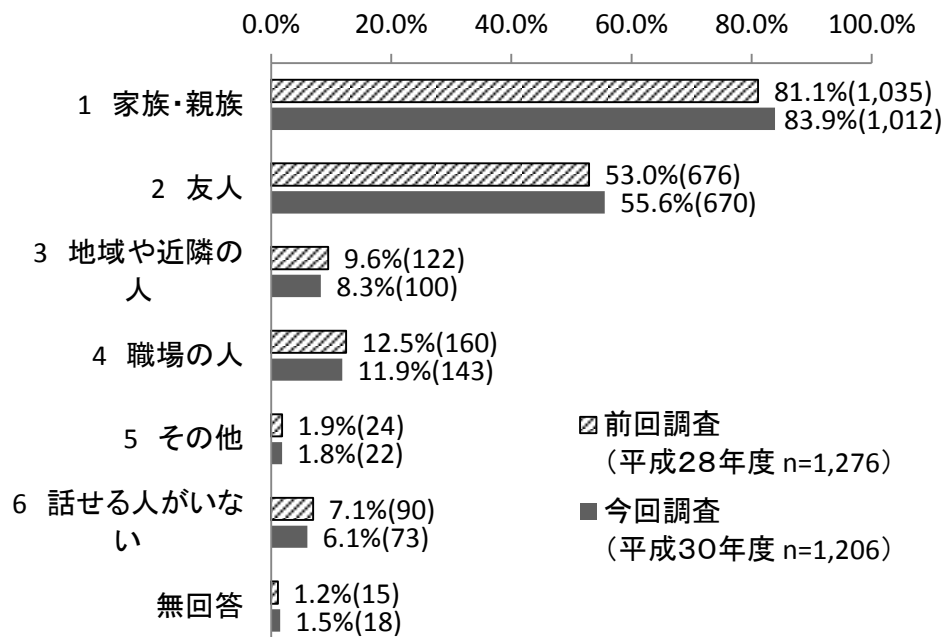
一方、6.1%の人が「6 話せる人がいない」と答えている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 家族・親族」と「2 友人」が2ポイント以上増加し、「6 話せる人がいない」は1ポイント減少している。全体的な傾向に変化は見られない。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

全ての年代で1位が「1 家族・親族」、2位が「2 友人」となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	家族・親族 77.6%	友人 75.5%	話せる人がいない 8.2%	職場の人 4.1%	地域や近隣の人 2.0%
20代	家族・親族 81.9%	友人 71.3%	職場の人 17.0%	話せる人がいない 4.3%	その他 3.2%
30代	家族・親族 90.3%	友人 64.0%	職場の人 20.6%	地域や近隣の人 6.3%	話せる人がいない 4.6%
40代	家族・親族 84.6%	友人 61.1%	職場の人 21.6%	地域や近隣の人 9.3%	話せる人がいない 7.4%
50代	家族・親族 83.4%	友人 55.6%	職場の人 18.3%	地域や近隣の人 6.5%	話せる人がいない 5.3%
60代	家族・親族 83.3%	友人 49.6%	地域や近隣の人 9.8%	話せる人がいない 6.1%	職場の人 5.3%
70代 以上	家族・親族 81.8%	友人 42.6%	地域や近隣の人 12.0%	話せる人がいない 7.0%	その他 3.1%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全地区とも1位「1 家族・親族」、2位「2 友人」となっている。

海岸地区、岡崎地区、金目地区、土沢地区では3位が「3 地域や近隣の人」となっており、他地区よりも地域のつながりが強いことが伺える。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	家族・親族 88.3%	友人 53.5%	地域や近隣の人/職場の人 10.3%		話せる人がいない 4.2%
平塚	家族・親族 82.0%	友人 53.2%	職場の人 13.2%	話せる人がいない 7.8%	地域や近隣の人 6.8%
大野	家族・親族 84.1%	友人 56.0%	職場の人 14.3%	地域や近隣の人 7.9%	話せる人がいない 6.0%
豊田	家族・親族 80.0%	友人 50.0%	職場の人 20.0%	地域や近隣の人/その他/話せる人がいない 5.0%	
城島	家族・親族 81.0%	友人 57.1%	話せる人がいない 9.5%	地域や近隣の人/職場の人 4.8%	
岡崎	家族・親族 78.7%	友人 66.0%	地域や近隣の人 19.1%	職場の人/話せる人がいない 6.4%	
金田	家族・親族 79.1%	友人 51.2%	職場の人 18.6%	地域や近隣の人/話せる人がいない 7.0%	
神田	家族・親族 78.2%	友人 53.6%	職場の人 9.1%	地域や近隣の人/話せる人がいない 8.2%	
金目	家族・親族 86.8%	友人 61.8%	地域や近隣の人 11.8%	職場の人 6.6%	無回答 2.6%
土沢	家族・親族 85.7%	友人 57.1%	地域や近隣の人 9.5%	職場の人 7.1%	その他 2.4%
旭	家族・親族 85.9%	友人 57.1%	職場の人 13.6%	話せる人がいない 7.9%	地域や近隣の人 4.5%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

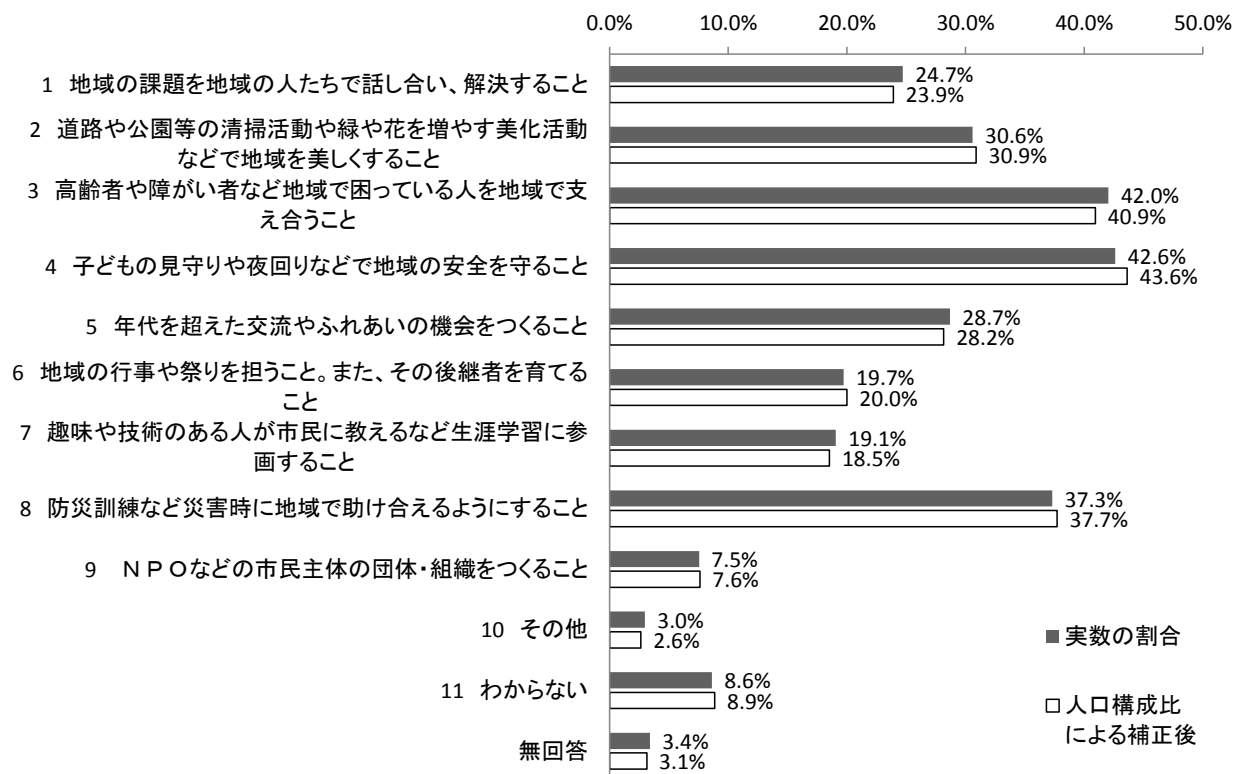
【3】 地域のために、地域（あなた）ができることについて

（問8）住みよい地域にするためには、市民の皆さんの関わりが必要です。住みよい地域にするために地域の皆さん（あなた）が力を合わせて取り組むと良いと思うことは何ですか。

（○はいくつでも）

【全体の傾向】

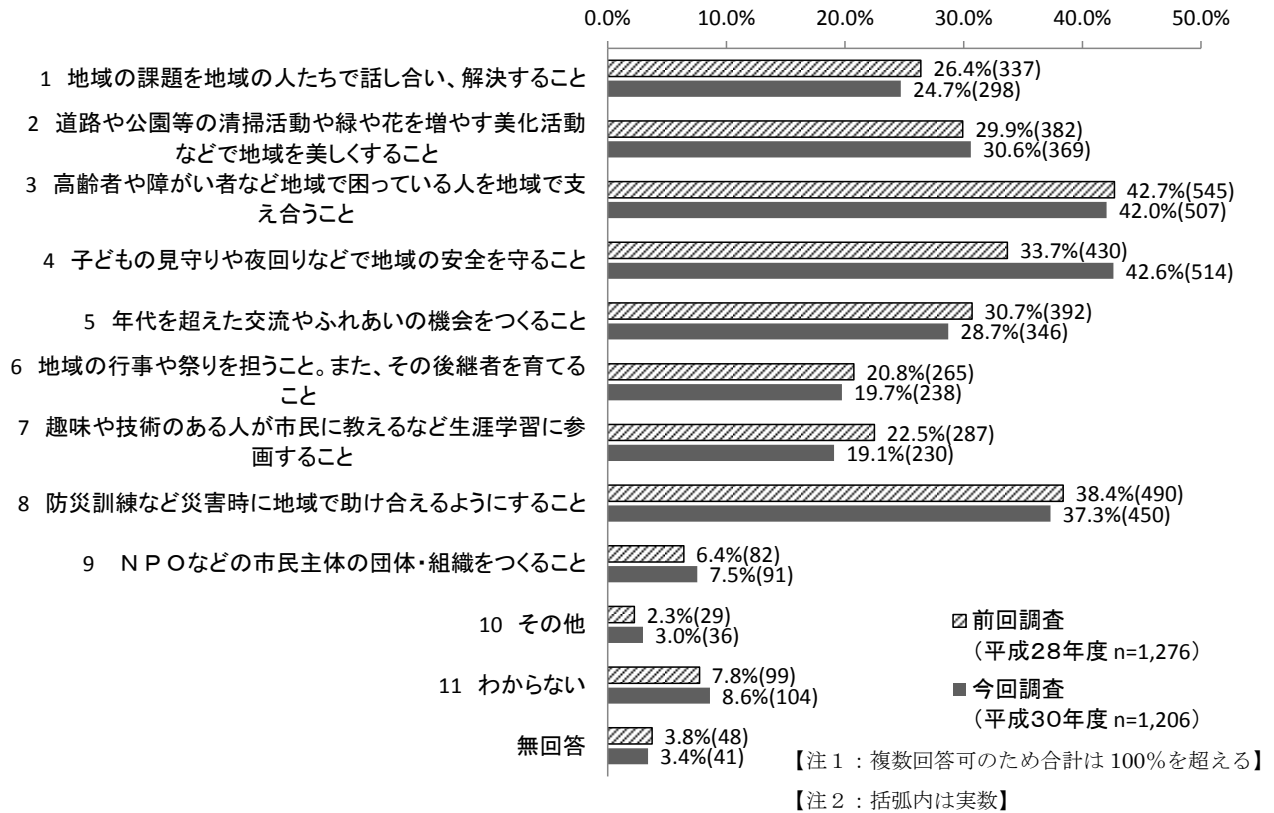
「4 子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること」が42.6%と最も高く、次いで、「3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」が42.0%、「8 防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」が37.3%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、最もポイントが増加した項目は「4 子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること」で8.9ポイントの増加となった。一方、最もポイントが減少した項目は「7 趣味や技術のある人が市民に教えるなど生涯学習に参画すること」で3.4ポイントの減少となった。



【年代別の傾向】

10代から40代では「4 子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること」が最上位となっており、特に20代から40代では5割を超えている。また、50代以上では「3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」が最上位となっている。

年代	1位	2位	3位	4位	5位
10代	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 38.8%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 32.7%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 28.6%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 26.5%	地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 24.5%
20代	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 53.2%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 41.5%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 35.1%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること/地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 25.5%	
30代	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 56.6%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 34.3%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 33.7%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 32.0%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること/地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 22.9%
40代	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 56.8%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 37.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 35.2%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 32.7%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 27.2%
50代	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 45.0%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 39.1%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 35.5%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 33.7%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 29.0%
60代	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 53.8%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 40.5%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 37.5%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 33.7%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 29.5%
70代以上	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 48.8%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 36.8%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 32.9%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 32.2%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 31.0%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「4 子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること」が全 11 地区のうち 7 地区で最も高くなっている。また、海岸地区、平塚地区、城島地区及び旭地区では、「7 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」が最も高くなっている。

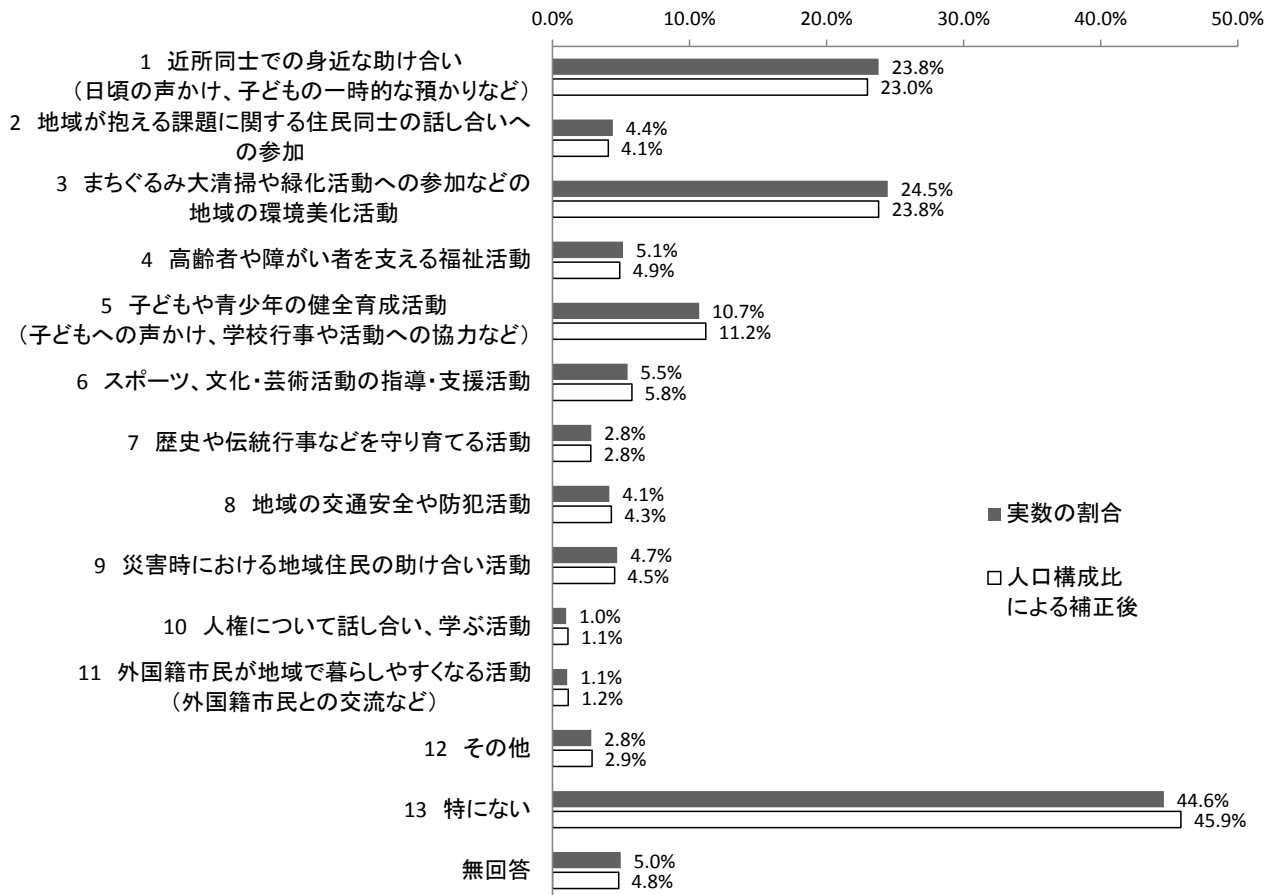
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 45.1%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 41.3%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 34.7%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 28.6%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 28.6%
平塚	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 43.9%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 42.0%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 41.5%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 33.7%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 28.8%
大野	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 41.7%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.9%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 32.9%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 30.6%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 29.0%
豊田	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 55.0%	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 40.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 30.0%	地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 25.0%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 20.0%
城島	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 57.1%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 52.4%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること/子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 42.9%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 38.1%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 38.1%
岡崎	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 51.1%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 48.9%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 38.3%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 36.2%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 31.9%
金田	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 39.5%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 32.6%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 30.2%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること/地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 20.9%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 20.9%
神田	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 44.5%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 41.8%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 32.7%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 24.5%	地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること 23.6%
金目	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 44.7%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 42.1%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 32.9%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 31.6%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること/年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 27.6%
土沢	子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 50.0%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 42.9%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること/高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.5%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 33.3%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 33.3%
旭	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと/子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること 41.2%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 37.3%	年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること 35.0%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 27.1%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること 27.1%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

(問9) 地域のために、あなたが現在行っていることはありますか。 (〇はいくつでも)

【全体の傾向】

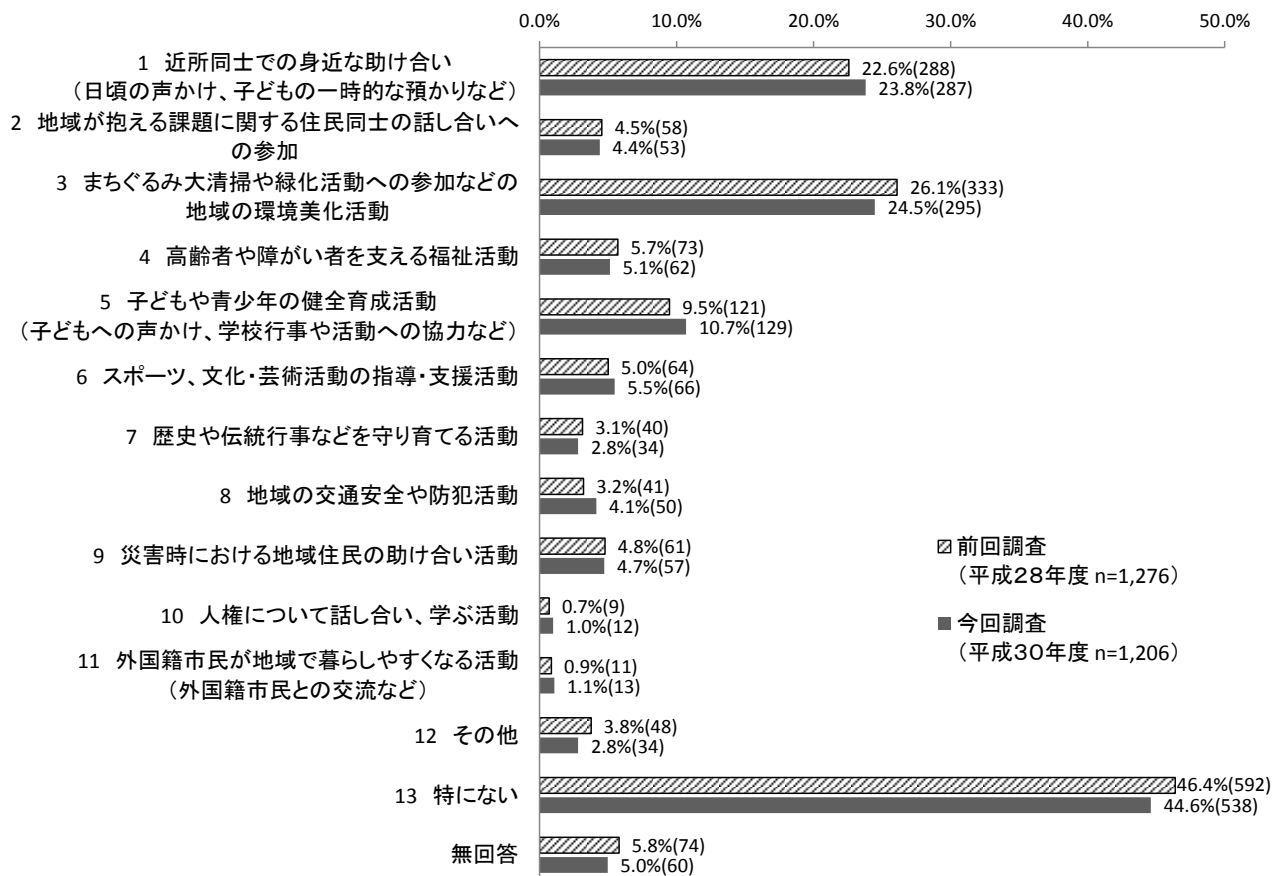
地域のために、現在行っている活動を質問したところ、「13 特にない」が44.6%と最も高かった。次いで、「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が24.5%、「1 近所同士での身近な助け合い」が23.8%と続いている。



【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

今回の調査で最も高くなった「13 特にない」は前回調査においても最も高く、他の項目も前回調査と同様の傾向となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

70代以上では「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が最も高くなっている。一方、それ以外の年代では「13 特にない」がいずれも1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	特にない 65.3%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 22.4%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動/スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動/歴史や伝統行事などを守り育てる活動/地域の交通安全や防犯活動 6.1%		
20代	特にない 73.4%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 8.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動/子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動/人権について話し合い、学ぶ活動/ 外国籍市民が地域で暮らしやすくなる活動(外国籍市民との交流など) 3.2%		
30代	特にない 45.7%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 29.7%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 18.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 12.0%	地域の交通安全や防犯活動 4.6%
40代	特にない 43.2%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 26.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 25.3%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 23.5%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 9.9%
50代	特にない 46.7%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 27.2%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 23.7%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 9.5%	高齢者や障がい者を支える福祉活動/スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.7%
60代	特にない 40.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 33.3%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 22.3%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 6.1%	地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加 5.7%
70代以上	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 37.2%	特にない 32.9%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 24.0%	無回答 9.7%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 8.1%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区中 8 つの地区で「13 特にない」が、城島地区、岡崎地区及び土沢地区の 3 地区で「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が最も高くなっている。

「13 特にない」は全体では 44.6%であるが、城島地区では 19.0%、土沢地区では 16.7%と低くなっている。

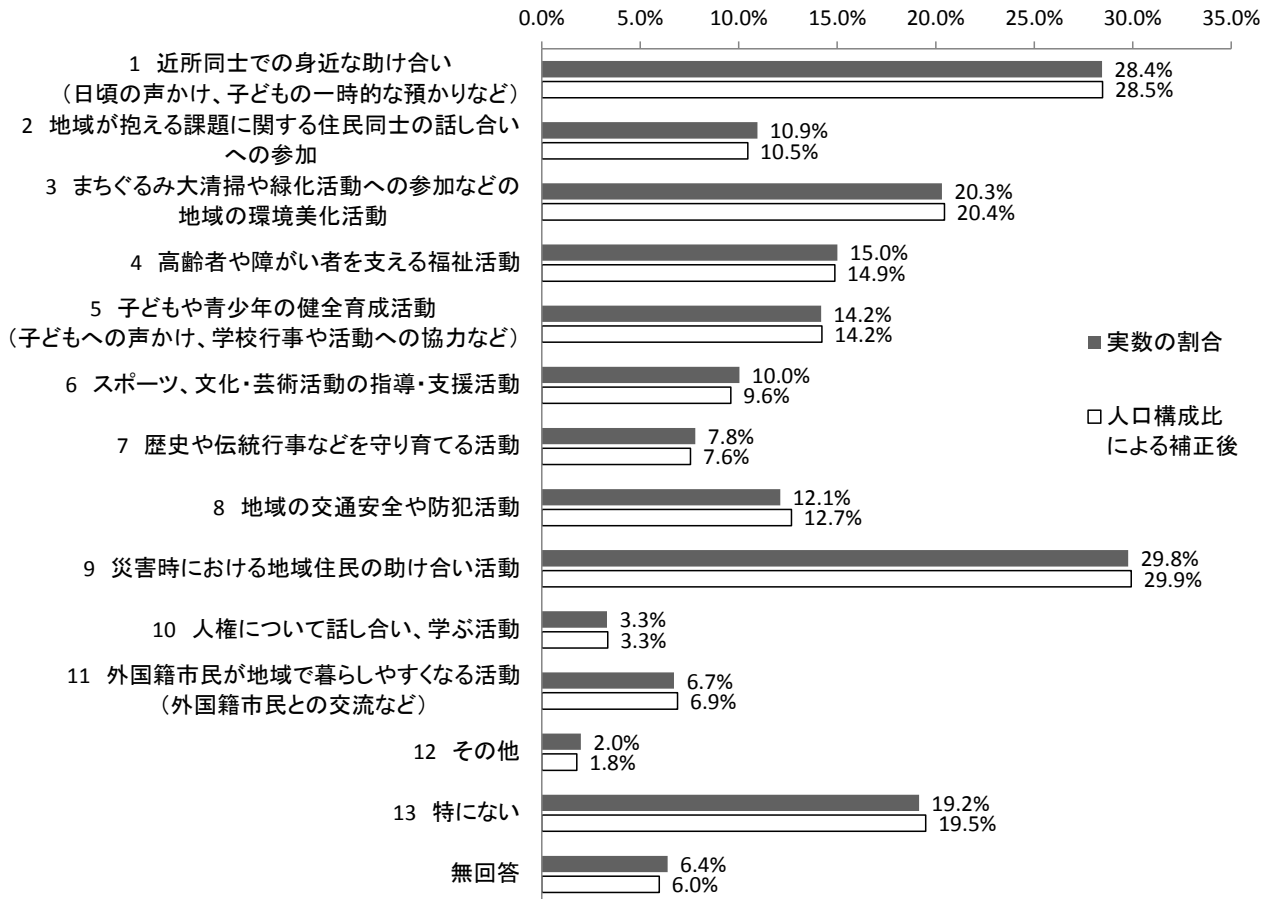
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	特にない 37.6%	近所同士での身近な助け合い (日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 23.9%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 23.5%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 15.0%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.5%
平塚	特にない 51.7%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 21.5%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 19.5%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 10.7%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動/災害時における地域住民の助け合い活動 7.8%
大野	特にない 53.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 21.8%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 20.6%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 10.7%	高齢者や障がい者を支える福祉活動/地域の交通安全や防犯活動/無回答 4.4%
豊田	特にない 60.0%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 20.0%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)/地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加/高齢者や障がい者を支える福祉活動 10.0%		
城島	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 47.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 38.1%	地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加 23.8%	特にない 19.0%	歴史や伝統行事などを守り育てる活動 14.3%
岡崎	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 36.2%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 31.9%	特にない 29.8%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 17.0%	高齢者や障がい者を支える福祉活動/災害時における地域住民の助け合い活動/無回答 8.5%
金田	特にない 58.1%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 20.9%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/歴史や伝統行事などを守り育てる活動 9.3%		地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加/まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 7.0%
神田	特にない 42.7%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 25.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 20.0%	無回答 10.0%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.3%
金目	特にない 43.4%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 30.3%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 26.3%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 6.6%	地域の交通安全や防犯活動/無回答 5.3%
土沢	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 47.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 28.6%	特にない 16.7%	地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加/子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/歴史や伝統行事などを守り育てる活動/災害時における地域住民の助け合い活動 9.5%	
旭	特にない 42.4%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 28.2%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 26.6%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 10.2%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 8.5%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

(問10) 住みよい地域にするために、あなたができること(またはしてみたいこと)はありますか。なお、(問9)で答えた既に行っていることは除きます。(〇はいくつでも)

【全体の傾向】

あなたができること(またはしてみたいこと)を質問したところ、「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が29.8%と最も高くなった。次いで、「1 近所同士での身近な助け合い」が28.4%と続いている。

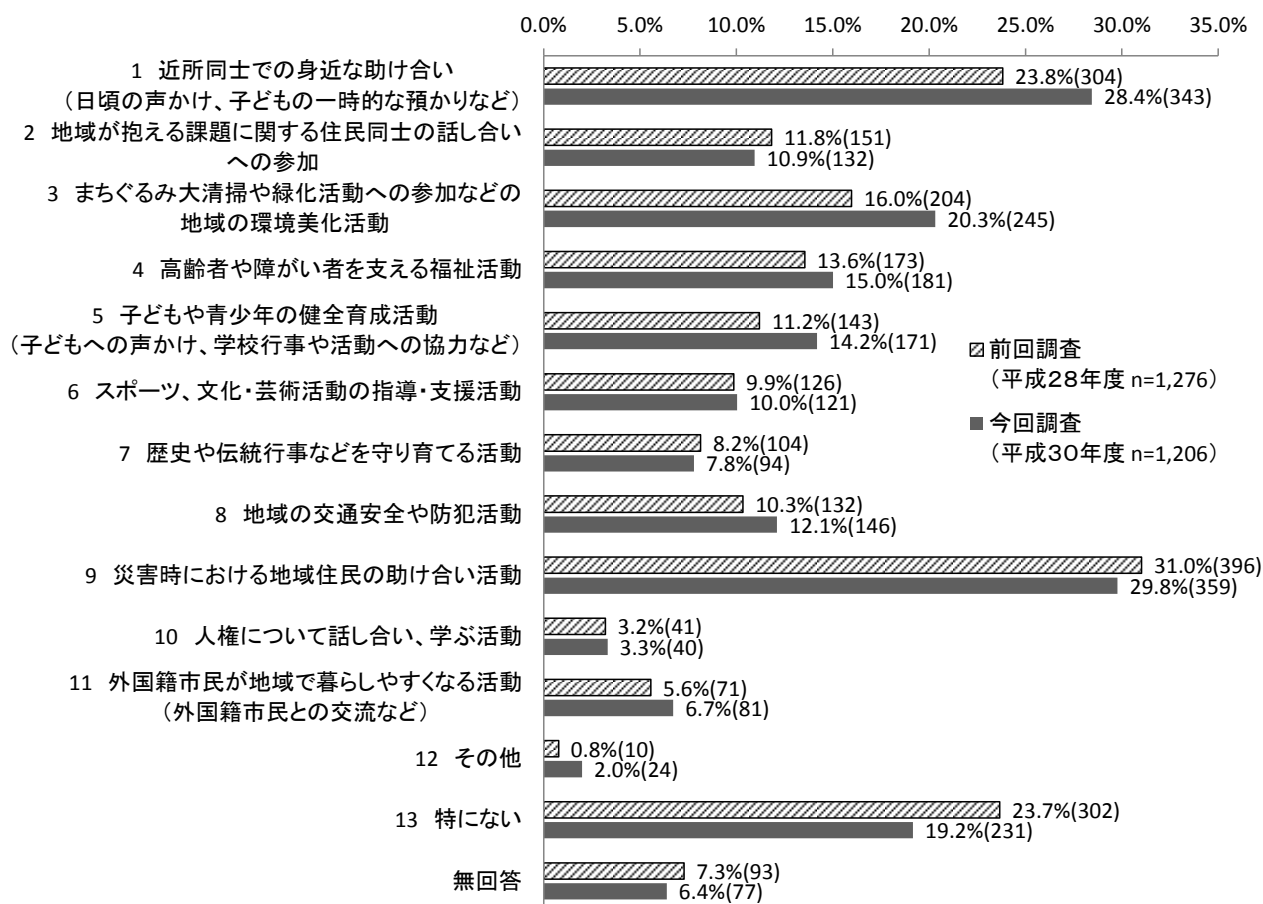


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

「1 近所同士での身近な助け合い」や「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が前回調査からポイントが4ポイント以上増加し、「5 子どもや青少年の健全育成活動」が3ポイント、「8 地域の交通安全や防犯活動」が1.8ポイント増加している。

一方、「13 特にない」は4.5ポイント減少し、「9 災害時における地域住民の助け合い活動」は1.2ポイント減少している。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

20代、50代及び70代以上では「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が最も高かった。また、10代、30代、40代及び60代では「1 近所同士での身近な助け合い」が最も高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)/まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動		災害時における地域住民の助け合い活動	歴史や伝統行事などを守り育てる活動/特にない	
		28.6%	24.5%		16.3%
20代	災害時における地域住民の助け合い活動	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	特にない
	31.9%	27.7%	22.3%	21.3%	17.0%
30代	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	災害時における地域住民の助け合い活動	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)	地域の交通安全や防犯活動
	31.4%	30.9%	25.1%	22.9%	18.9%
40代	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	災害時における地域住民の助け合い活動	特にない	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	地域の交通安全や防犯活動
	30.2%	29.0%	21.0%	20.4%	17.3%
50代	災害時における地域住民の助け合い活動	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	特にない	高齢者や障がい者を支える福祉活動	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動
	35.5%	26.6%	18.9%	18.3%	17.2%
60代	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	災害時における地域住民の助け合い活動	高齢者や障がい者を支える福祉活動	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	特にない
	32.6%	30.7%	19.7%	19.3%	17.0%
70代以上	災害時における地域住民の助け合い活動	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)/特にない		まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	無回答
	26.0%		24.0%	18.6%	14.3%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区のうち 8 地区で「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が最も高くなった。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	災害時における地域住民の助け合い活動 32.9%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 29.6%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 22.5%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 16.0%	特にない 15.0%
平塚	災害時における地域住民の助け合い活動 29.3%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 25.9%	特にない 22.0%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 18.0%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 17.1%
大野	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 31.7%	災害時における地域住民の助け合い活動 25.8%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 22.6%	特にない 20.2%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 15.9%
豊田	災害時における地域住民の助け合い活動 40.0%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)/歴史や伝統行事などを守り育てる活動 25.0%	特にない 15.0%	地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加/高齢者や障がい者を支える福祉活動/子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/外国籍市民が地域で暮らしやすくなる活動(外国籍市民との交流など)/無回答 10.0%	
城島	災害時における地域住民の助け合い活動 38.1%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 28.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 23.8%	高齢者や障がい者を支える福祉活動/歴史や伝統行事などを守り育てる活動/特にない/無回答 14.3%	
岡崎	災害時における地域住民の助け合い活動 34.0%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 31.9%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 21.3%	地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加 19.1%	特にない 17.0%
金田	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 32.6%	災害時における地域住民の助け合い活動/特にない 25.6%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 18.6%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 16.3%	
神田	災害時における地域住民の助け合い活動 26.4%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 25.5%	特にない 20.9%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/地域の交通安全や防犯活動 16.4%	
金目	災害時における地域住民の助け合い活動 31.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 26.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 19.7%	特にない 18.4%	高齢者や障がい者を支える福祉活動/子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)/地域の交通安全や防犯活動 15.8%
土沢	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 33.3%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 28.6%	災害時における地域住民の助け合い活動 23.8%	歴史や伝統行事などを守り育てる活動 19.0%	特にない 16.7%
旭	災害時における地域住民の助け合い活動 32.8%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 27.1%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動/特にない 19.2%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など) 16.4%	

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

【4】 まちづくりの状況について

(問11) 平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」についてお答えください。

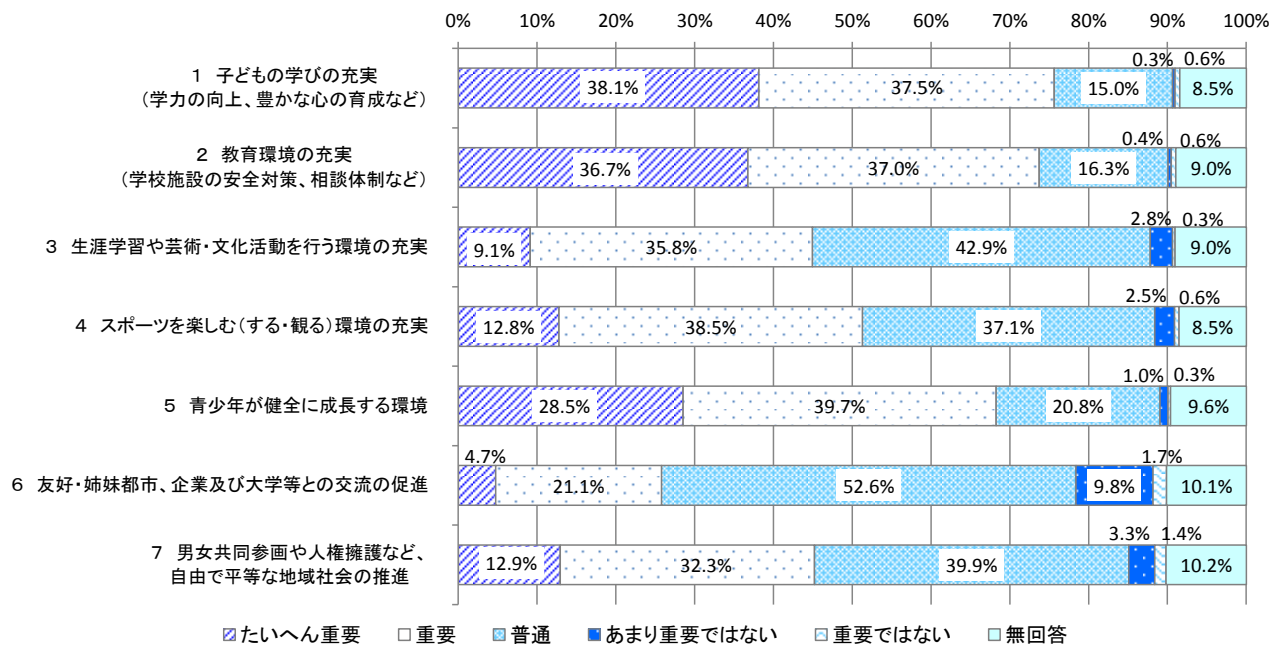
《分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり》

分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「重要度」

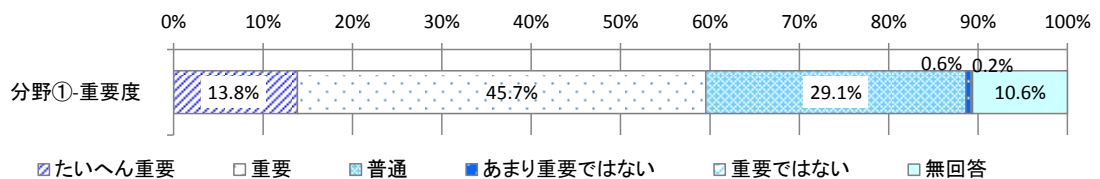
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『1 子どもの学びの充実』が75.6%、『2 教育環境の充実』が73.7%と高くなっている。

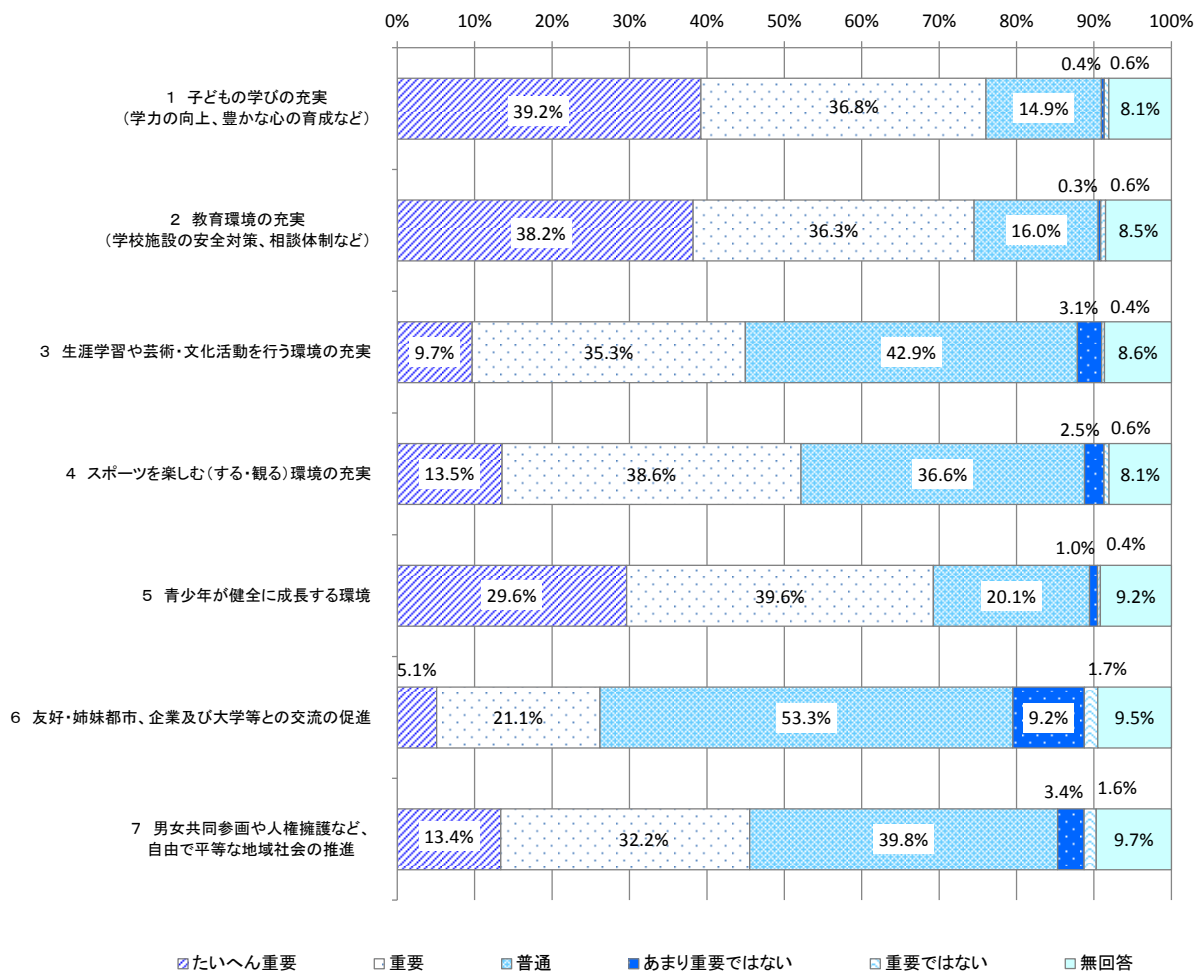
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進』が11.5%と高くなっている。



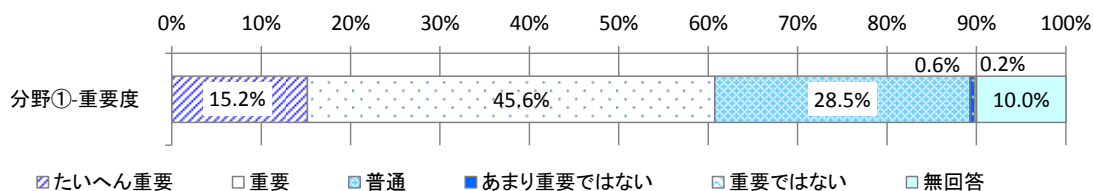
分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「重要度」



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

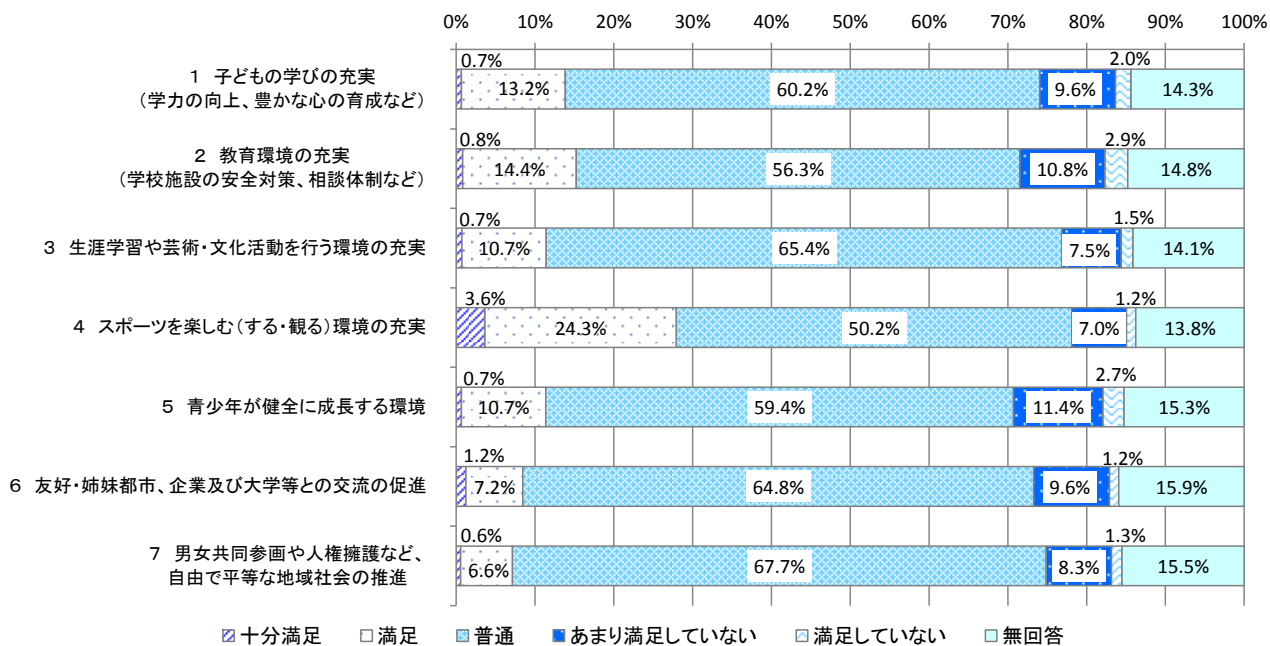


分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「満足度」

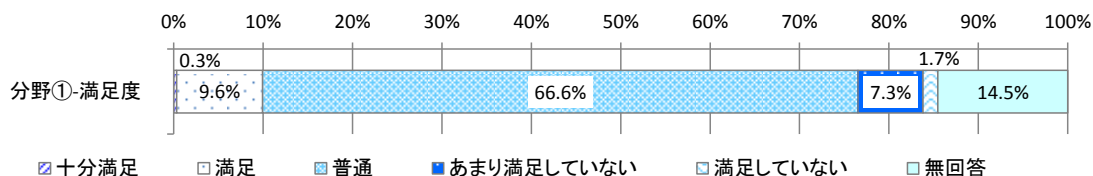
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合では、『4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実』が27.9%、次いで、『2 教育環境の充実』が15.2%と高くなっている。

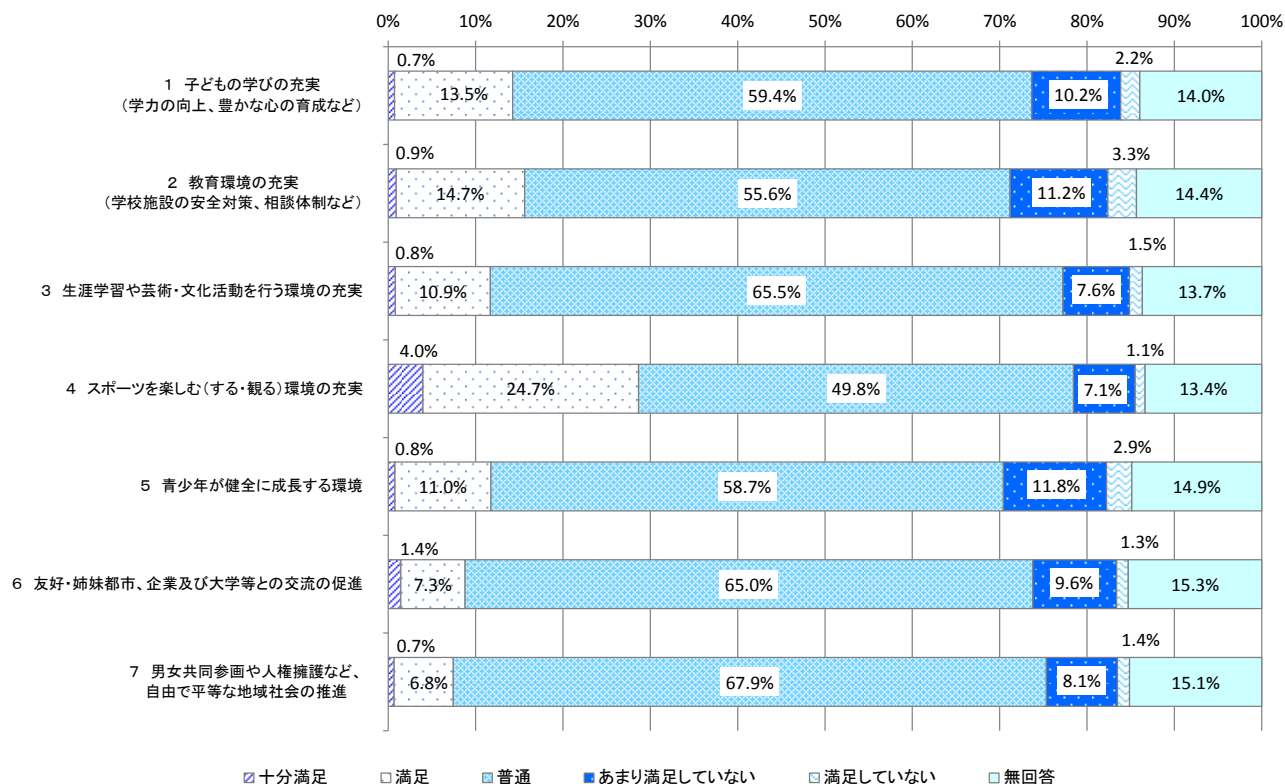
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合では、『5 青少年が健全に成長する環境』が14.1%、『2 教育環境の充実』が13.7%と高くなっている。



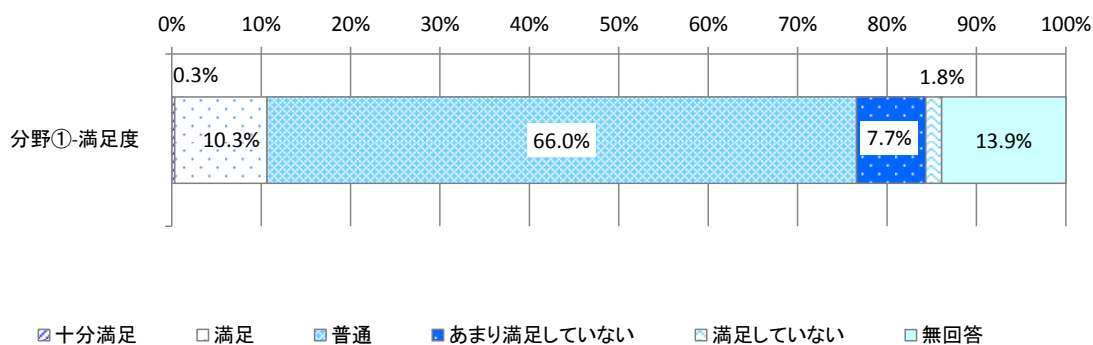
分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「満足度」



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



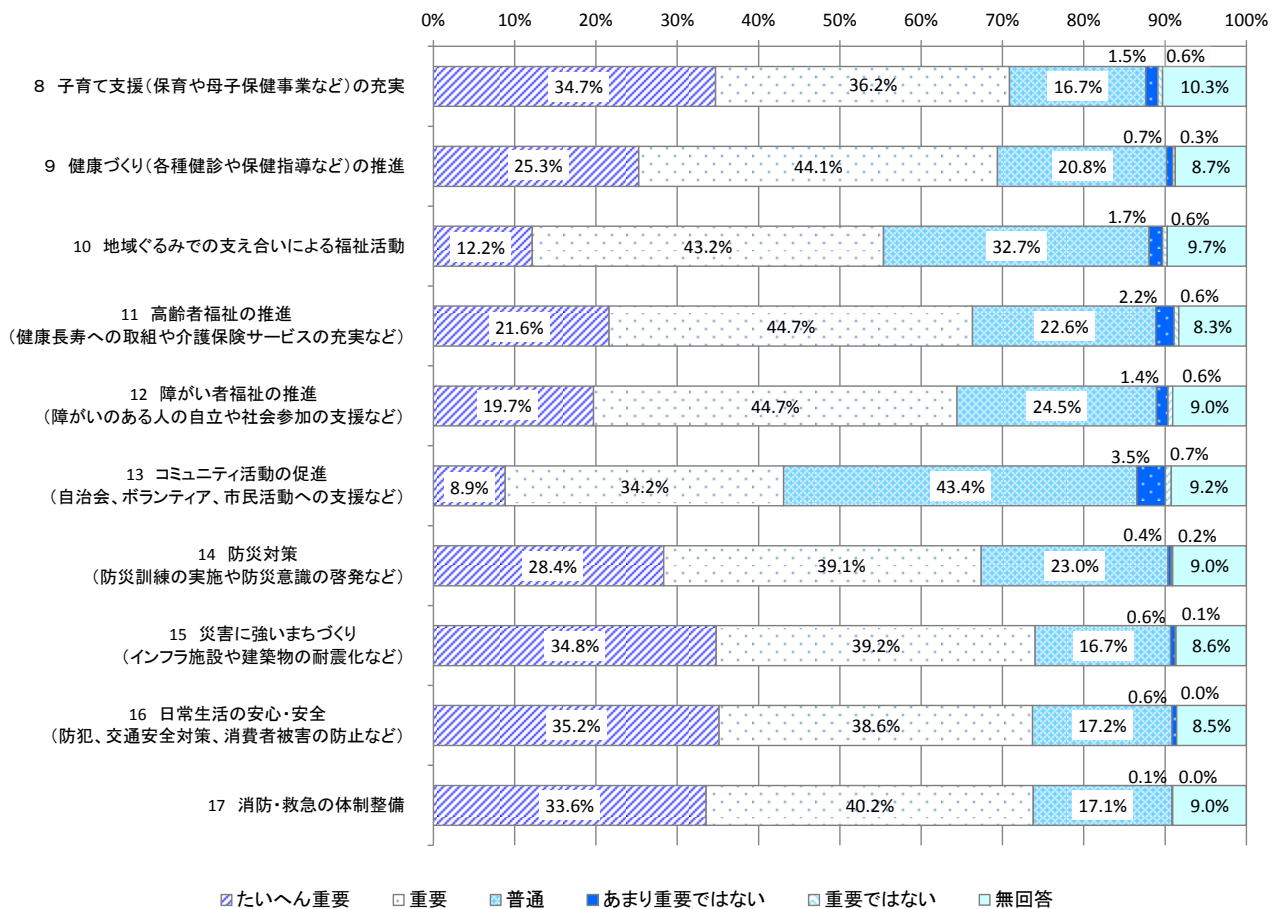
《分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり》

分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「重要度」

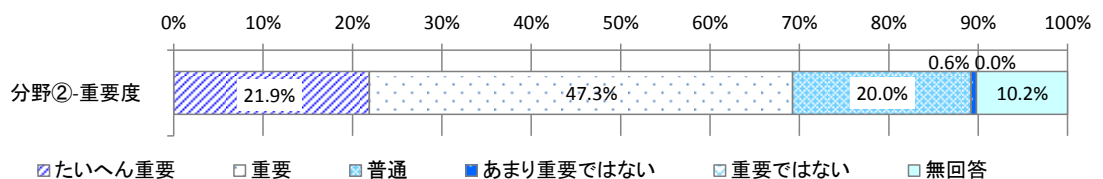
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『15 災害に強いまちづくり』が74.0%、『16 日常生活の安心・安全』及び『17 消防・救急の体制整備』が73.8%と高くなっている。

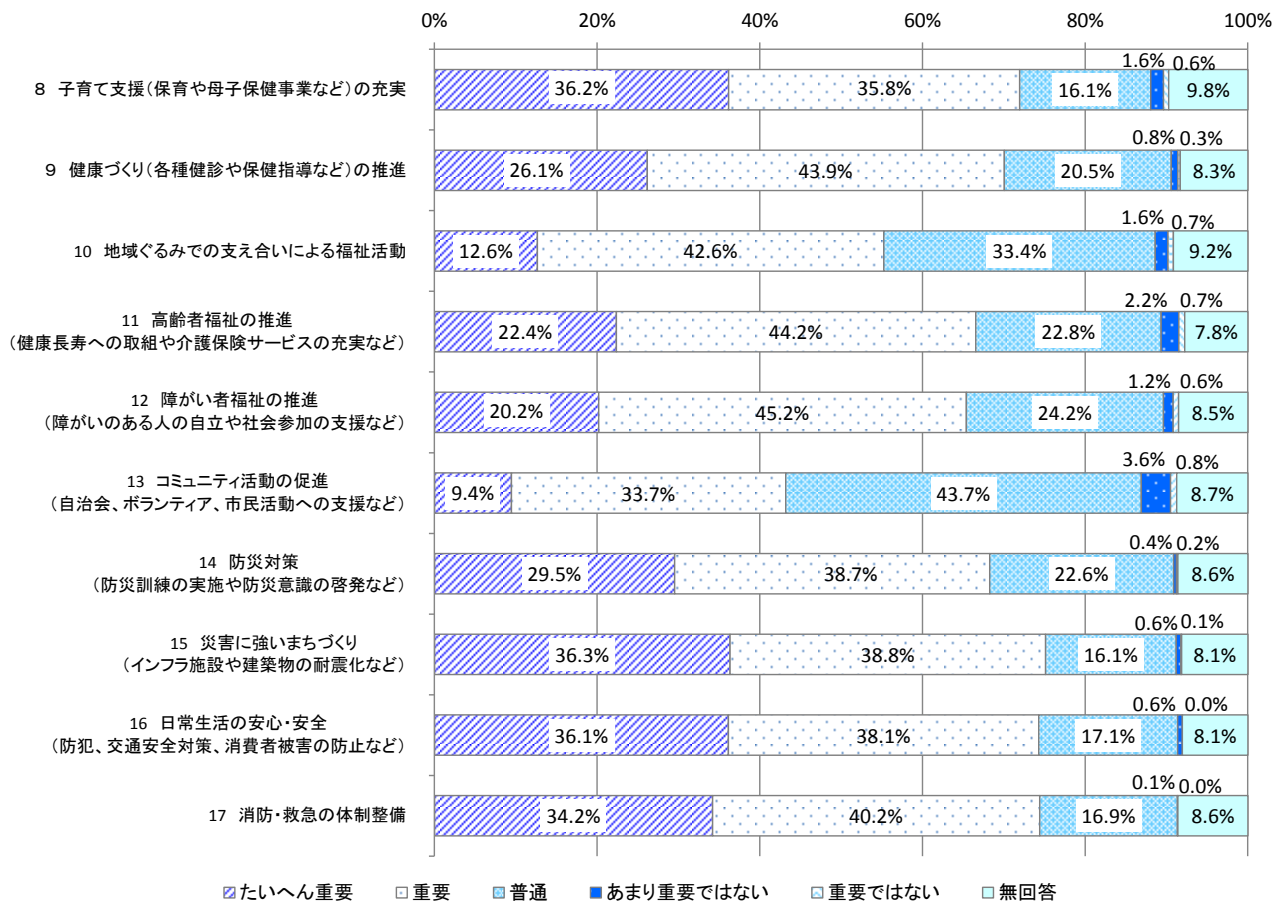
また、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『13 コミュニティ活動の促進』が4.2%で最も高くなっている。



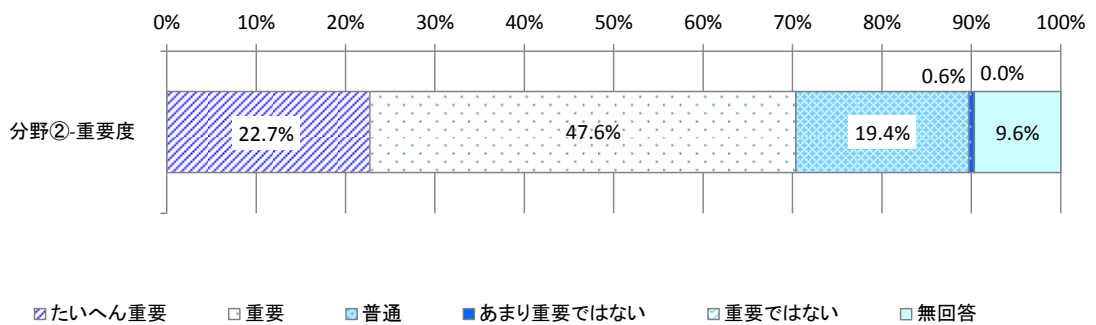
分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「重要度」



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり分野全体の「重要度」(人口比補正後)

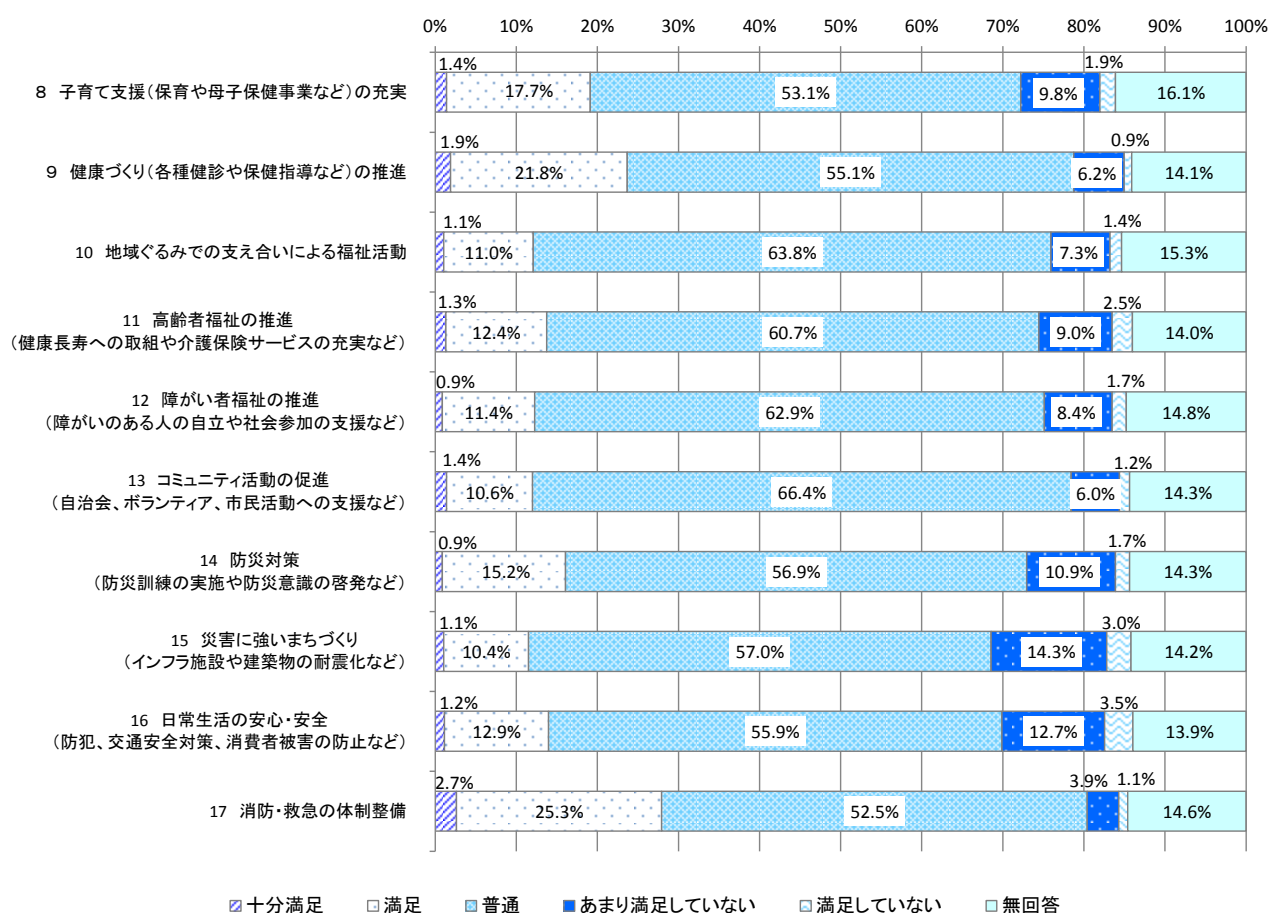


分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「満足度」

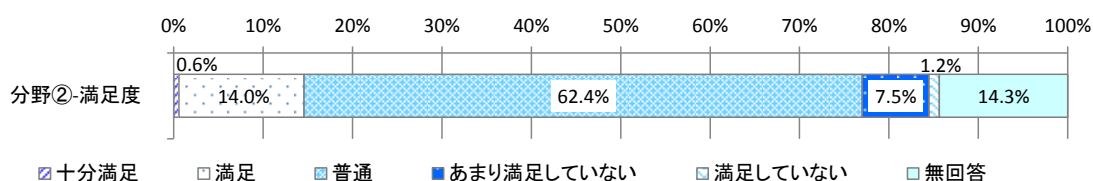
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『17 消防・救急の体制整備』が28.0%と最も高く、次いで『9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』が23.7%、『8 子育て支援（保育や母子保健事業など）の充実』が19.1%となっている。

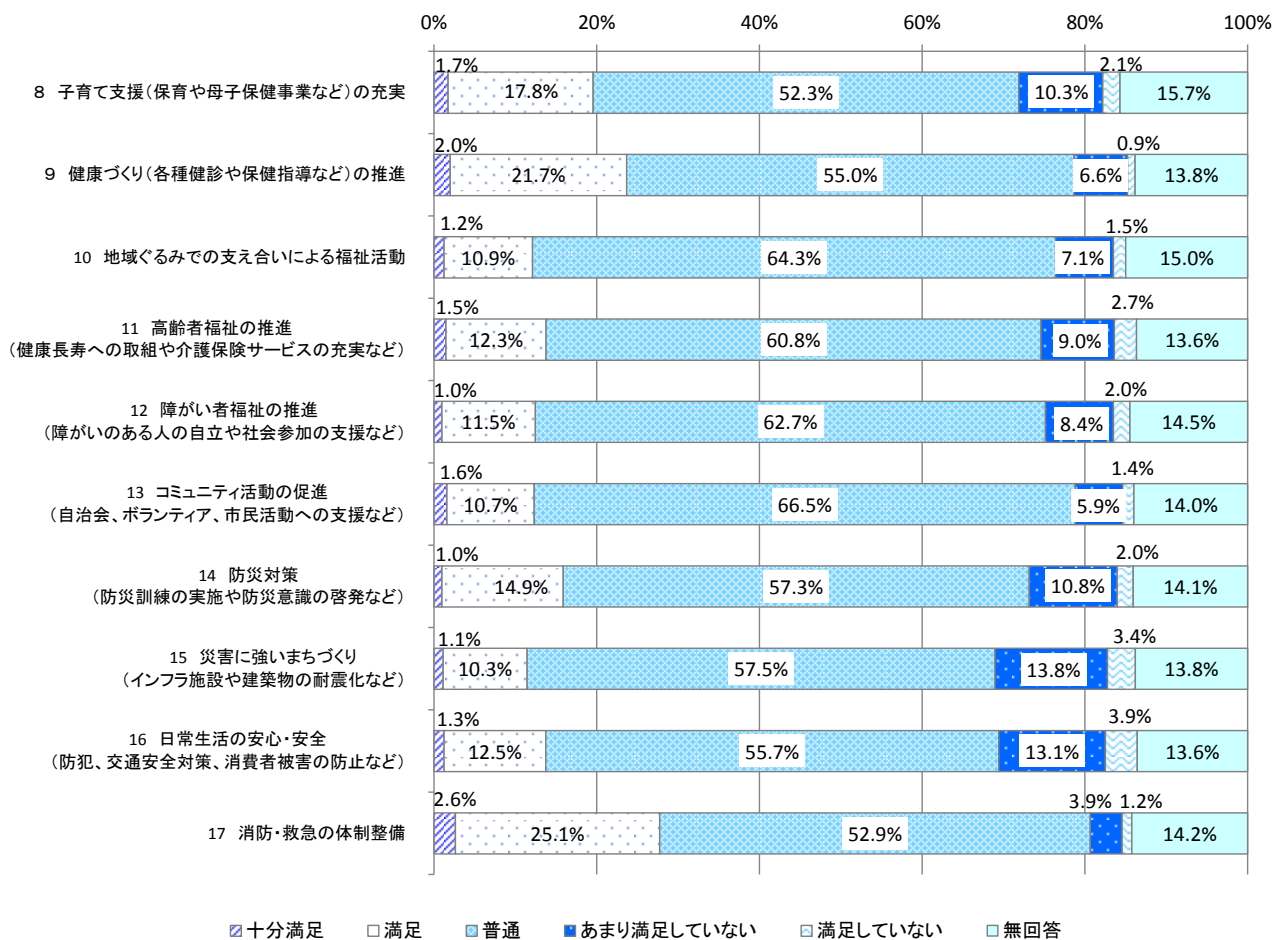
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『15 災害に強いまちづくり』が17.3%、『16 日常生活の安心・安全』が16.2%、『14 防災対策』が12.6%となっている。なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



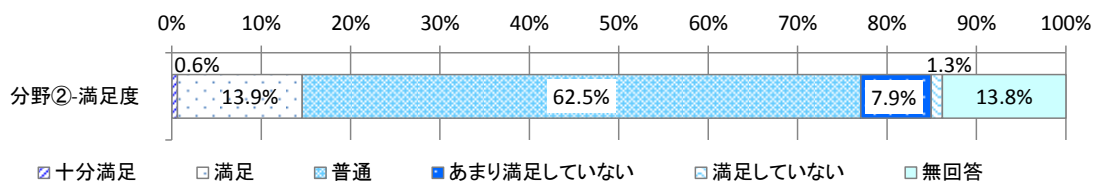
分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「満足度」



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)

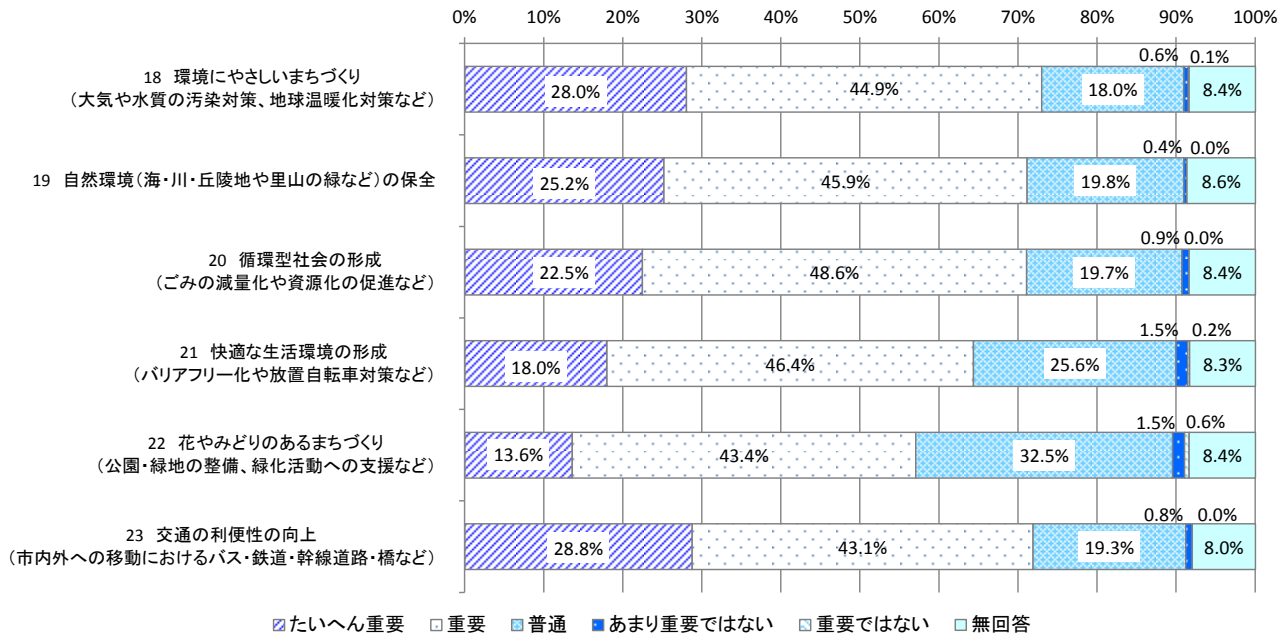


《分野③ 自然と人が共生するまちづくり》

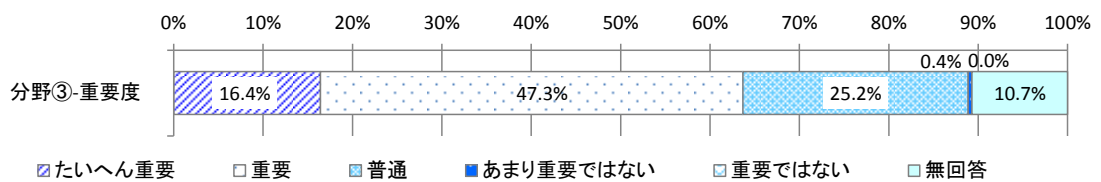
分野③ 自然と人が共生するまちづくり「重要度」

【全体の傾向】

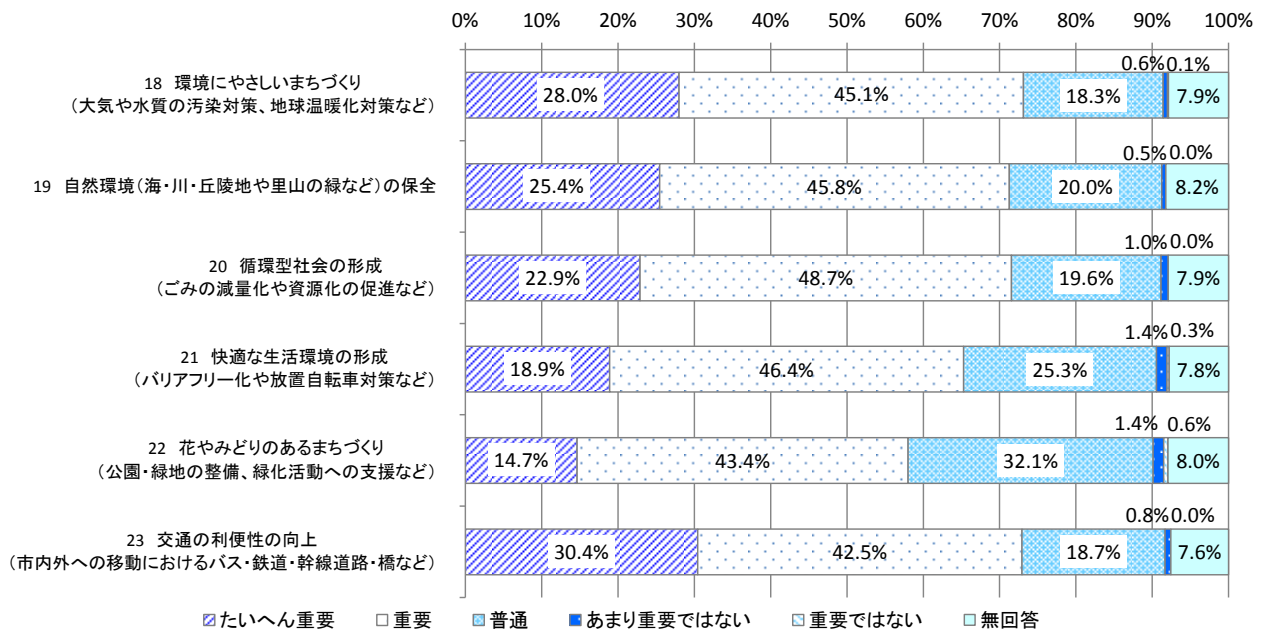
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『18 環境にやさしいまちづくり』が72.9%、『23 交通の利便性の向上』が71.9%の順で高くなっている。



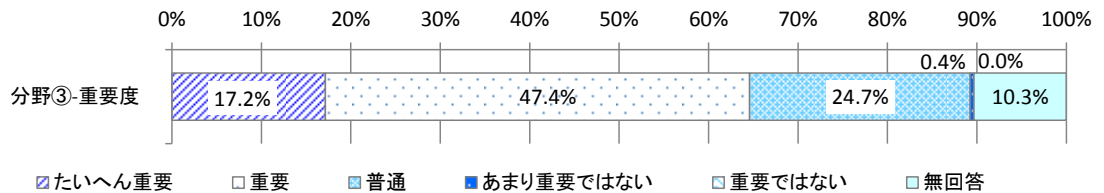
分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「重要度」



分野③ 自然と人が共生するまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

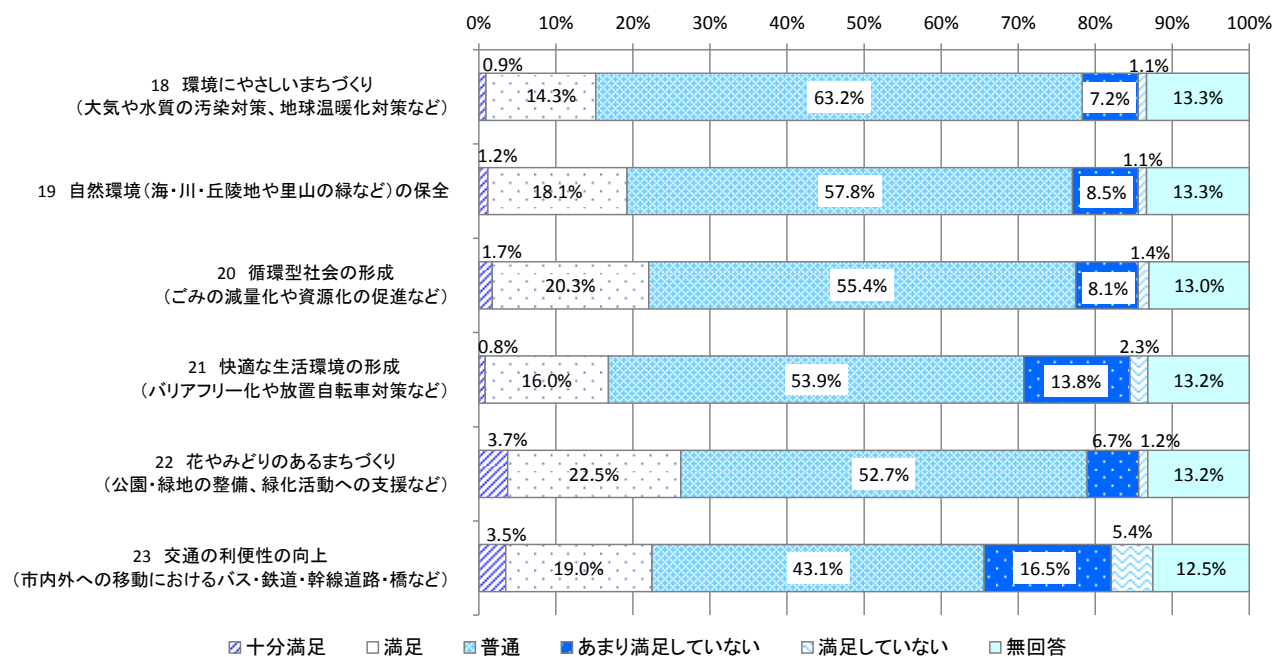


分野③ 自然と人が共生するまちづくり「満足度」

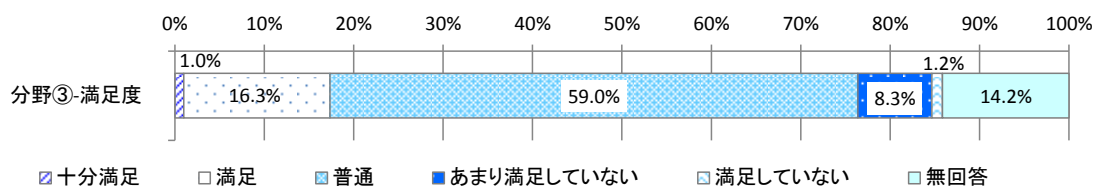
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『22 花やみどりのあるまちづくり』が26.2%と最も高くなっている。

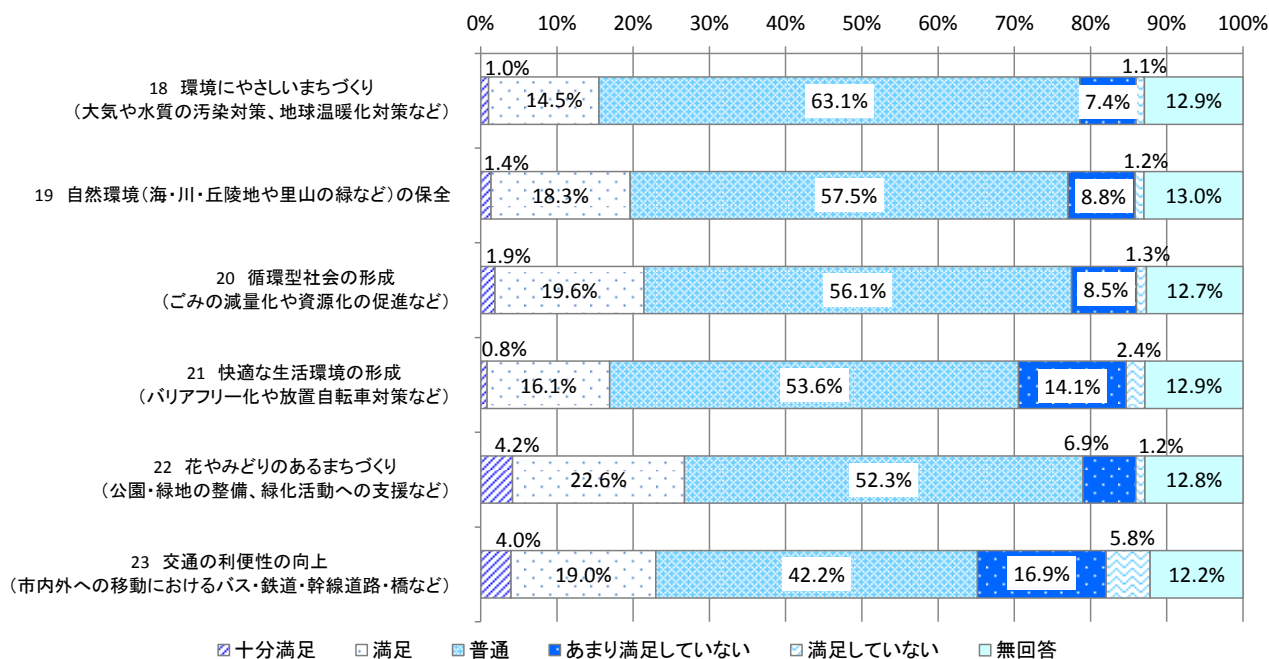
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『23 交通の利便性の向上』で21.9%、『21 快適な生活環境の形成』が16.1%となっている。



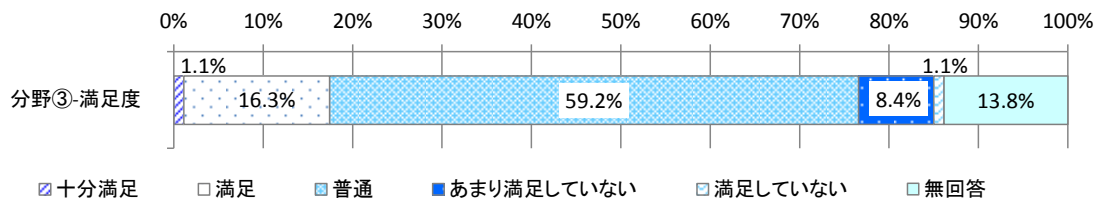
分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「満足度」



分野③ 自然と人が共生するまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野③ 自然と人が共生するまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)

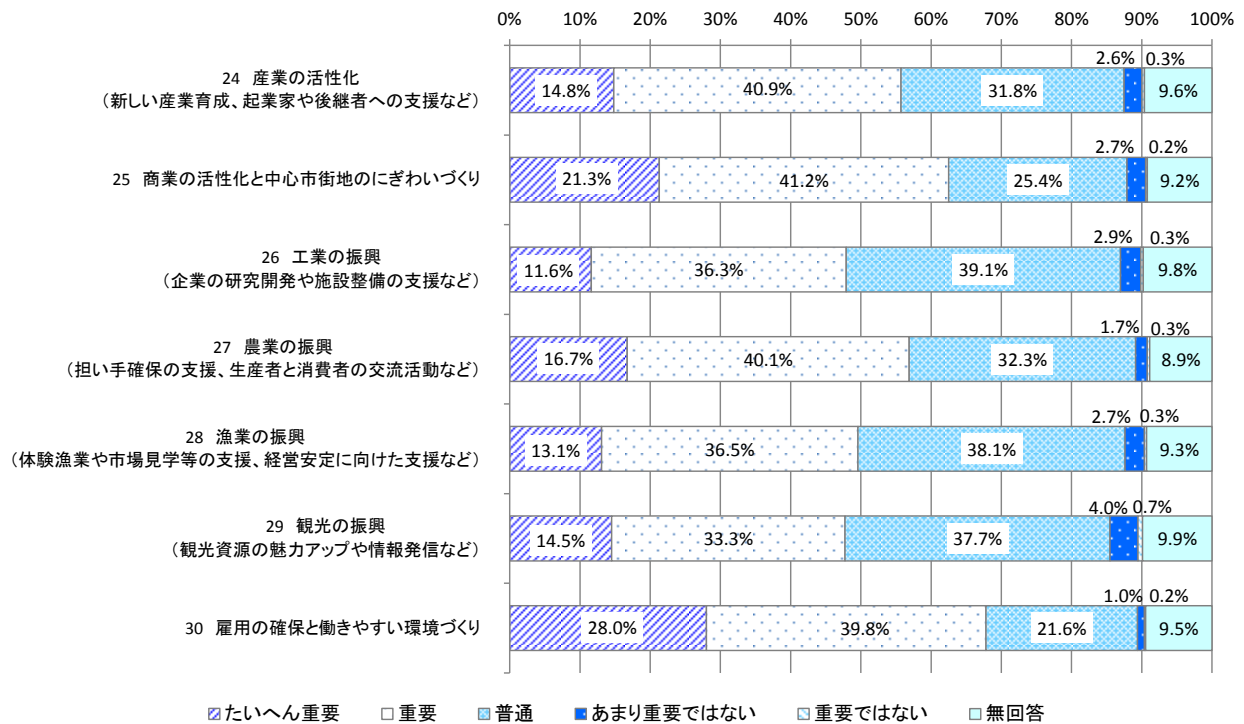


《分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり》

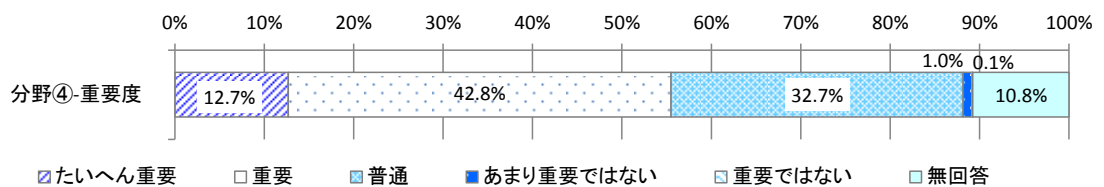
分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「重要度」

【全体の傾向】

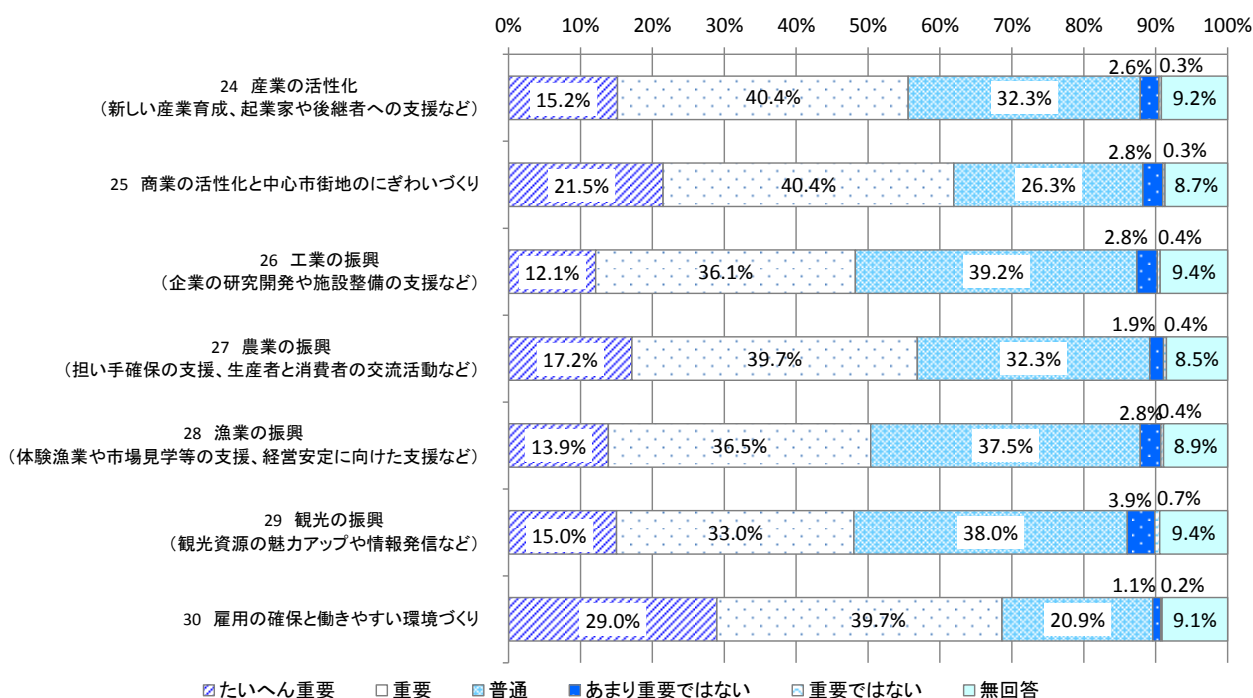
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』が67.8%で最も高く、次いで『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』が62.5%となっている。



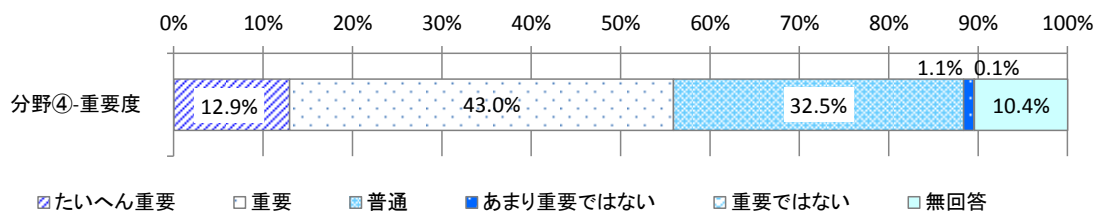
分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「重要度」



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「重要度」(人口比補正後)



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

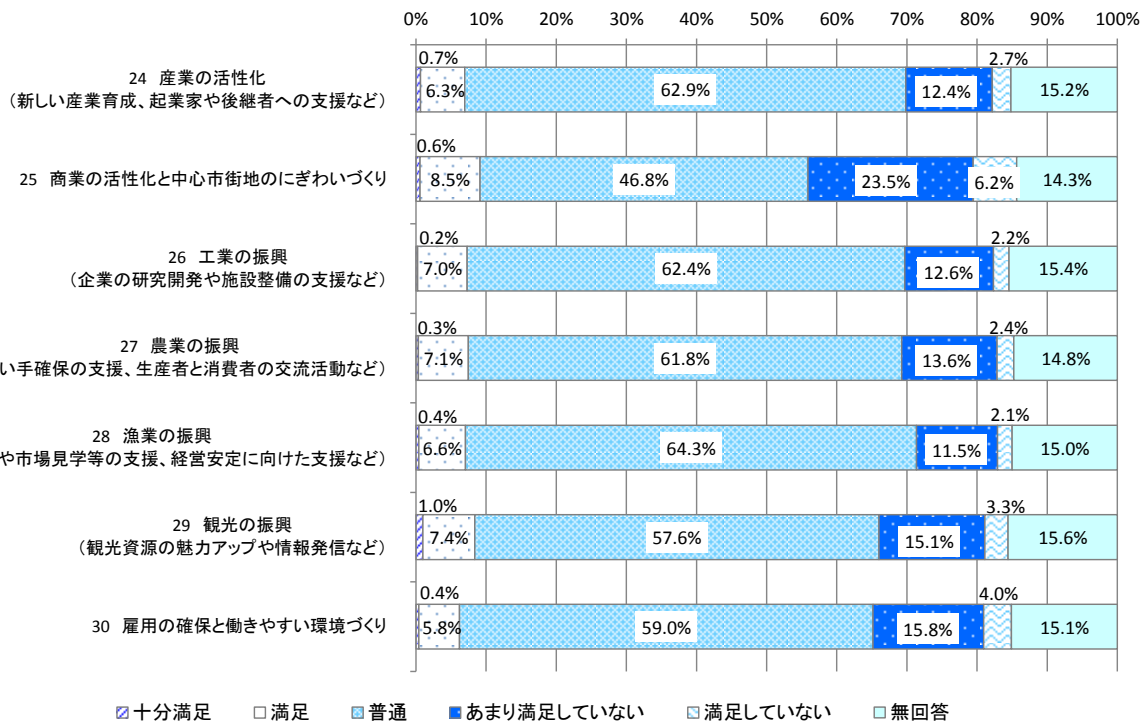


分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「満足度」

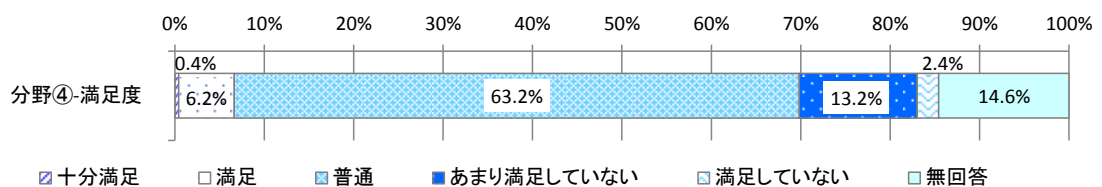
【全体の傾向】

この分野については全体的に満足度が低く、「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、最も高いもので『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』の 9.1%となっている。

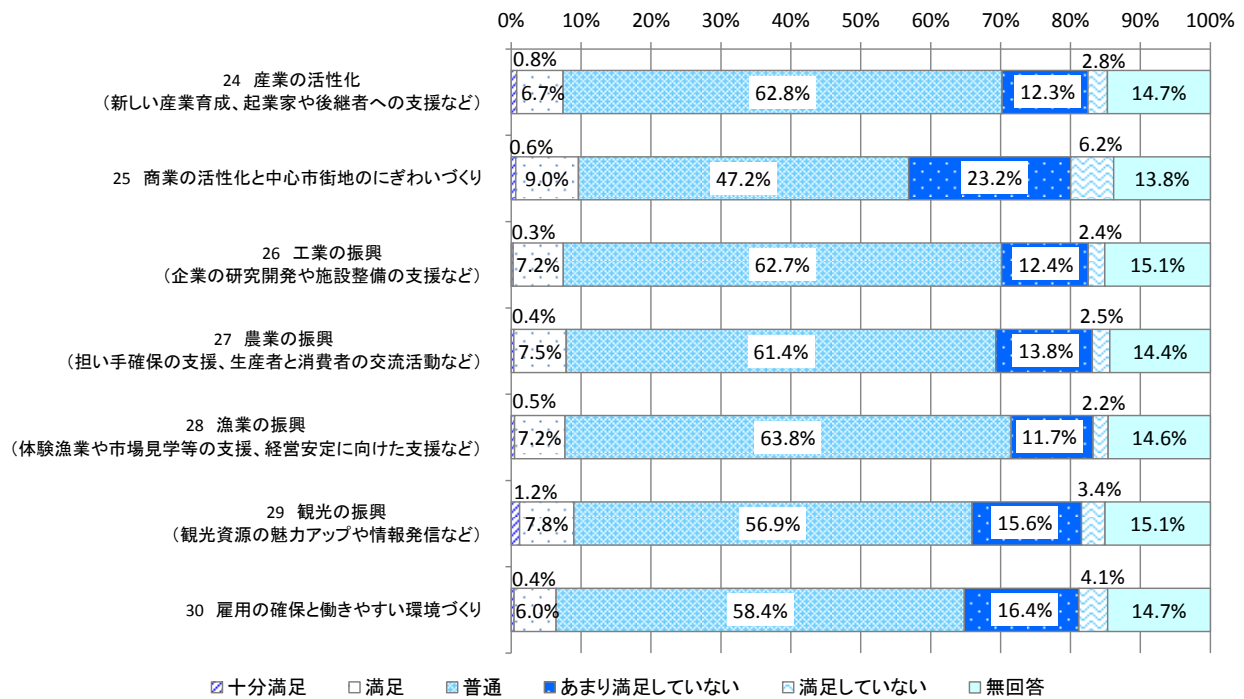
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合でも、『25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり』が 29.7%で最も高く、次いで『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』が 19.8%となっている。



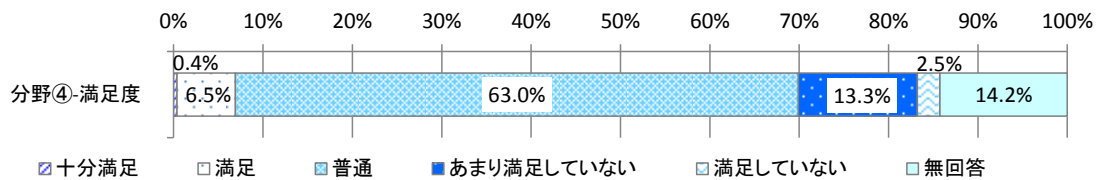
分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「満足度」



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり「満足度」(人口比補正後)



分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



【重要度と満足度の相関】

【4】のまちづくりの状況について、項目間の比較をするため、次の式で各項目の評価点を算出し、散布図を作成した。

指数計算式

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「十分満足 (たいへん重要)」} \times 2 \text{点}) + (\text{「満足 (重要)」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) + (\text{「あまり満足していない (あまり重要ではない)」} \times -1 \text{点}) + (\text{「満足していない (重要ではない)」} \times -2 \text{点})}{\text{回答数} - \text{無回答数}}$$

上記の計算式で算出した評価点を、横軸に「重要度」、縦軸に「満足度」としてグラフ化した。(図1) 散布図内の番号は各項目の番号を表している。

分野	項目	評価点	
		重要度	満足度
① (■)	1 子どもの学びの充実(学力の向上、豊かな心の育成など)	1.23	0.01
	2 教育環境の充実(学校施設の安全対策、相談体制など)	1.20	-0.01
	3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	0.56	0.02
	4 スポーツを楽しむ(する・観る)環境の充実	0.66	0.26
	5 青少年が健全に成長する環境	1.05	-0.05
	6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	0.19	-0.02
	7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	0.58	-0.04
② (◆)	8 子育て支援(保育や母子保健事業など)の充実	1.15	0.08
	9 健康づくり(各種健診や保健指導など)の推進	1.02	0.20
	10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	0.72	0.04
	11 高齢者福祉の推進(健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など)	0.92	0.01
	12 障がい者福祉の推進(障がいのある人の自立や社会参加の支援など)	0.90	0.02
	13 コミュニティ活動の促進(自治会、ボランティア、市民活動への支援など)	0.52	0.06
	14 防災対策(防災訓練の実施や防災意識の啓発など)	1.04	0.03
	15 災害に強いまちづくり(インフラ施設や建築物の耐震化など)	1.18	-0.09
	16 日常生活の安心・安全(防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など)	1.18	-0.05
17 消防・救急の体制整備	1.18	0.29	
③ (▲)	18 環境にやさしいまちづくり(大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など)	1.09	0.08
	19 自然環境(海・川・丘陵地や里山の緑など)の保全	1.05	0.11
	20 循環型社会の形成(ごみの減量化や資源化の促進など)	1.01	0.15
	21 快適な生活環境の形成(バリアフリー化や放置自転車対策など)	0.88	-0.01
	22 花やみどりのあるまちづくり(公園・緑地の整備、緑化活動への支援など)	0.74	0.24
	23 交通の利便性の向上(市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など)	1.08	-0.02
④ (●)	24 産業の活性化(新しい産業育成、起業家や後継者への支援など)	0.74	-0.12
	25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	0.89	-0.31
	26 工業の振興(企業の研究開発や施設整備の支援など)	0.62	-0.11
	27 農業の振興(担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など)	0.78	-0.12
	28 漁業の振興(体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など)	0.65	-0.10
	29 観光の振興(観光資源の魅力アップや情報発信など)	0.63	-0.15
	30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	1.04	-0.20

【全体の傾向】

【4】まちづくりの状況における全30項目を比較した結果、重要度が高く、満足度も高いものは『17 消防・救急の体制整備』や『9 健康づくり（各種健診や保健指導など）の充実』など10項目となった。

重要度は高いが、満足度が低い項目は『15 災害に強いまちづくり』や『30 雇用の確保と働きやすい環境づくり』など8項目あった。

また、重要度は低いが、満足度が高い項目は『4 スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実』や『22 花やみどりのあるまちづくり』など5項目となった。

さらに、重要度が低く、満足度も低い項目は『7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進』や『29 観光の振興』など7項目だった。

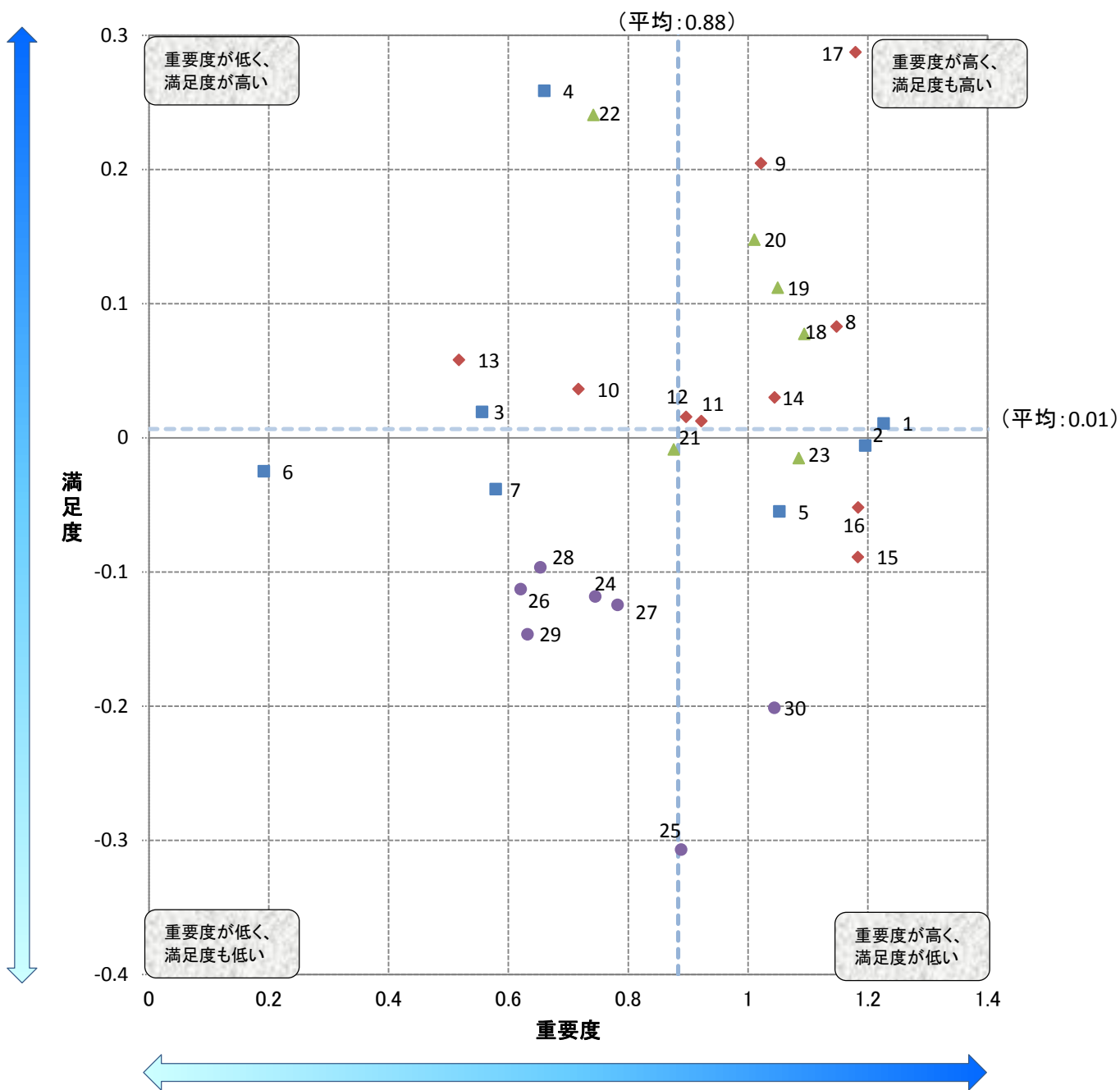


図1 重要度と満足度の相関関係

【分野ごとの傾向】

下図は、前ページに掲載した散布図を、各分野ごとにグループ化したものである。

この図を見ると、「分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり」(●)は他の分野に比べ満足度が低くなっている。

また、「分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり」(■)や「分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり」(◆)については、重要度と満足度ともに項目によって大きく異なる結果となった。

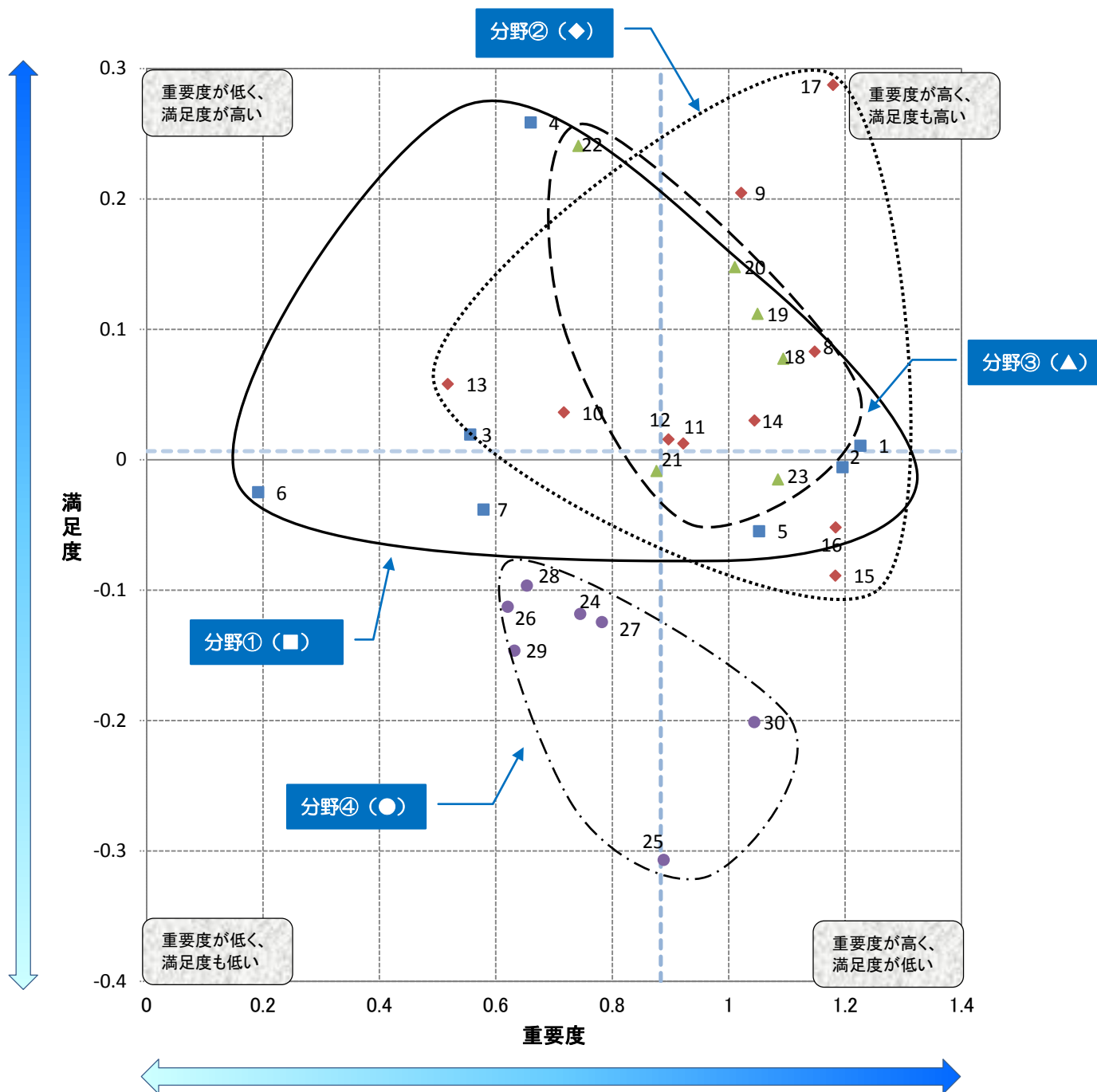


図1 重要度と満足度の相関関係

【人口比補正による重要度と満足度の順位の変化】

【4】のまちづくりの状況について、重要度と満足度の順位を平塚市の人口比による補正前と補正後と比較した。なお、順位付けは相関を比較するために算出した評価点を用いている。

◆人口比補正による重要度の変化

項目	順位		補正前ー補正後
	人口補正前	人口補正後	
1 子どもの学びの充実(学力の向上、豊かな心の育成など)	1	1	0
2 教育環境の充実(学校施設の安全対策、相談体制など)	2	2	0
16 日常生活の安心・安全(防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など)	3	4	-1
15 災害に強いまちづくり(インフラ施設や建築物の耐震化など)	4	3	1
17 消防・救急の体制整備	5	5	0
8 子育て支援(保育や母子保健事業など)の充実	6	6	0
18 環境にやさしいまちづくり(大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など)	7	8	-1
23 交通の利便性の向上(市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など)	8	7	1
5 青少年が健全に成長する環境	9	9	0
19 自然環境(海・川・丘陵地や里山の緑など)の保全	10	12	-2
14 防災対策(防災訓練の実施や防災意識の啓発など)	11	10	1
30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	12	11	1
9 健康づくり(各種健診や保健指導など)の推進	13	13	0
20 循環型社会の形成(ごみの減量化や資源化の促進など)	14	14	0
11 高齢者福祉の推進(健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など)	15	15	0
12 障がい者福祉の推進(障がいのある人の自立や社会参加の支援など)	16	16	0
25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	17	18	-1
21 快適な生活環境の形成(バリアフリー化や放置自転車対策など)	18	17	1
27 農業の振興(担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など)	19	19	0
24 産業の活性化(新しい産業育成、起業家や後継者への支援など)	20	21	-1
22 花やみどりのあるまちづくり(公園・緑地の整備、緑化活動への支援など)	21	20	1
10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	22	22	0
4 スポーツを楽しむ(する・観る)環境の充実	23	23	0
28 漁業の振興(体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など)	24	24	0
29 観光の振興(観光資源の魅力アップや情報発信など)	25	25	0
26 工業の振興(企業の研究開発や施設整備の支援など)	26	26	0
7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	27	27	0
3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	28	28	0
13 コミュニティ活動の促進(自治会、ボランティア、市民活動への支援など)	29	29	0
6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	30	30	0

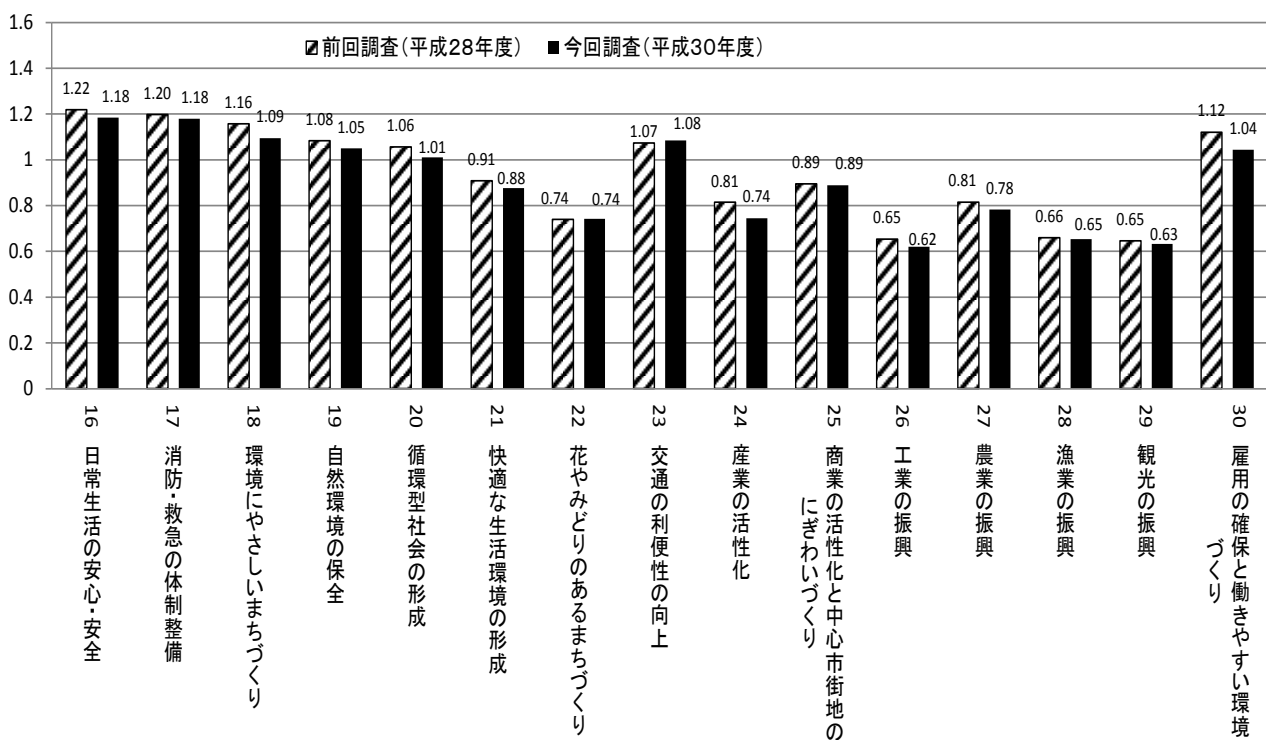
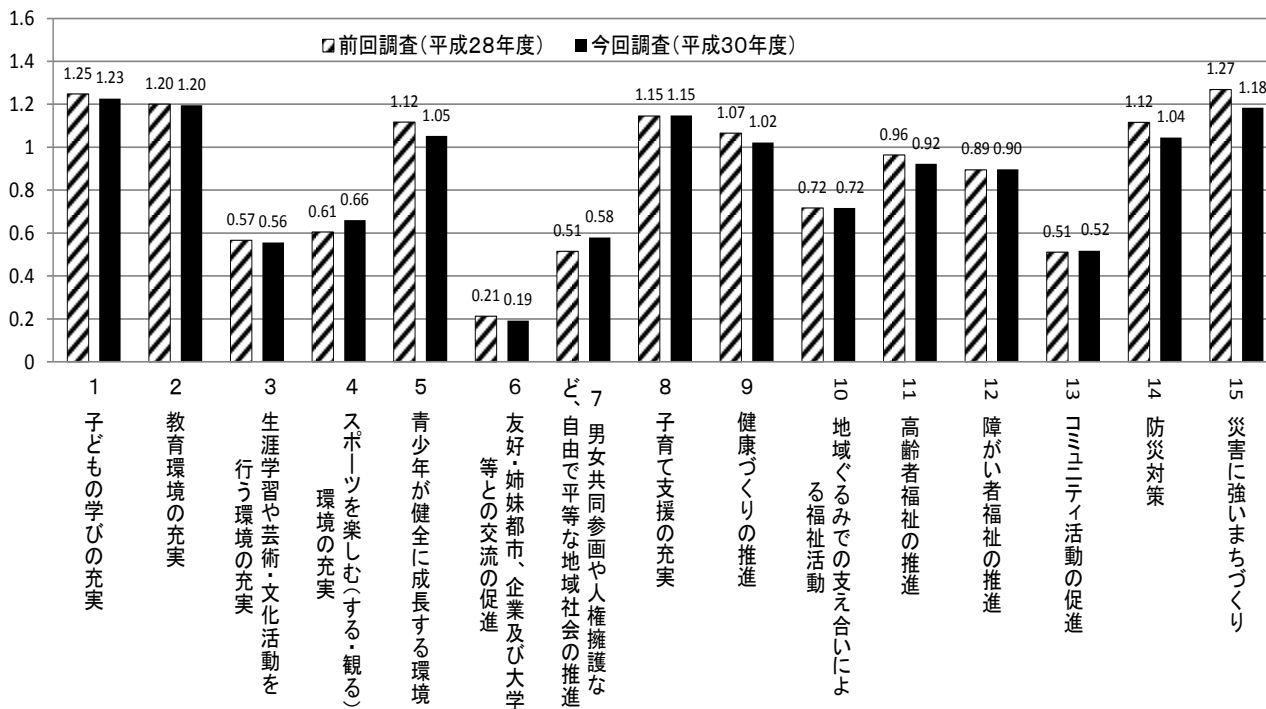
◆人口比補正による満足度の変化

項目	順位		補正前-補正後
	人口補正前	人口補正後	
17 消防・救急の体制整備	1	1	0
4 スポーツを楽しむ(する・観る)環境の充実	2	2	0
22 花やみどりのあるまちづくり(公園・緑地の整備、緑化活動への支援など)	3	3	0
9 健康づくり(各種健診や保健指導など)の推進	4	4	0
20 循環型社会の形成(ごみの減量化や資源化の促進など)	5	5	0
19 自然環境(海・川・丘陵地や里山の緑など)の保全	6	6	0
8 子育て支援(保育や母子保健事業など)の充実	7	8	-1
18 環境にやさしいまちづくり(大気や水質の汚染対策、地球温暖化対策など)	8	7	1
13 コミュニティ活動の促進(自治会、ボランティア、市民活動への支援など)	9	9	0
10 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	10	10	0
14 防災対策(防災訓練の実施や防災意識の啓発など)	11	11	0
3 生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	12	12	0
12 障がい者福祉の推進(障がいのある人の自立や社会参加の支援など)	13	13	0
11 高齢者福祉の推進(健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など)	14	14	0
1 子どもの学びの充実(学力の向上、豊かな心の育成など)	15	15	0
2 教育環境の充実(学校施設の安全対策、相談体制など)	16	16	0
21 快適な生活環境の形成(バリアフリー化や放置自転車対策など)	17	17	0
23 交通の利便性の向上(市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路・橋など)	18	18	0
6 友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	19	19	0
7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	20	20	0
16 日常生活の安心・安全(防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など)	21	22	-1
5 青少年が健全に成長する環境	22	21	1
15 災害に強いまちづくり(インフラ施設や建築物の耐震化など)	23	24	-1
28 漁業の振興(体験漁業や市場見学等の支援、経営安定に向けた支援など)	24	23	1
26 工業の振興(企業の研究開発や施設整備の支援など)	25	25	0
24 産業の活性化(新しい産業育成、起業家や後継者への支援など)	26	26	0
27 農業の振興(担い手確保の支援、生産者と消費者の交流活動など)	27	27	0
29 観光の振興(観光資源の魅力アップや情報発信など)	28	28	0
30 雇用の確保と働きやすい環境づくり	29	29	0
25 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり	30	30	0

【重要度と満足度の前回調査との比較】

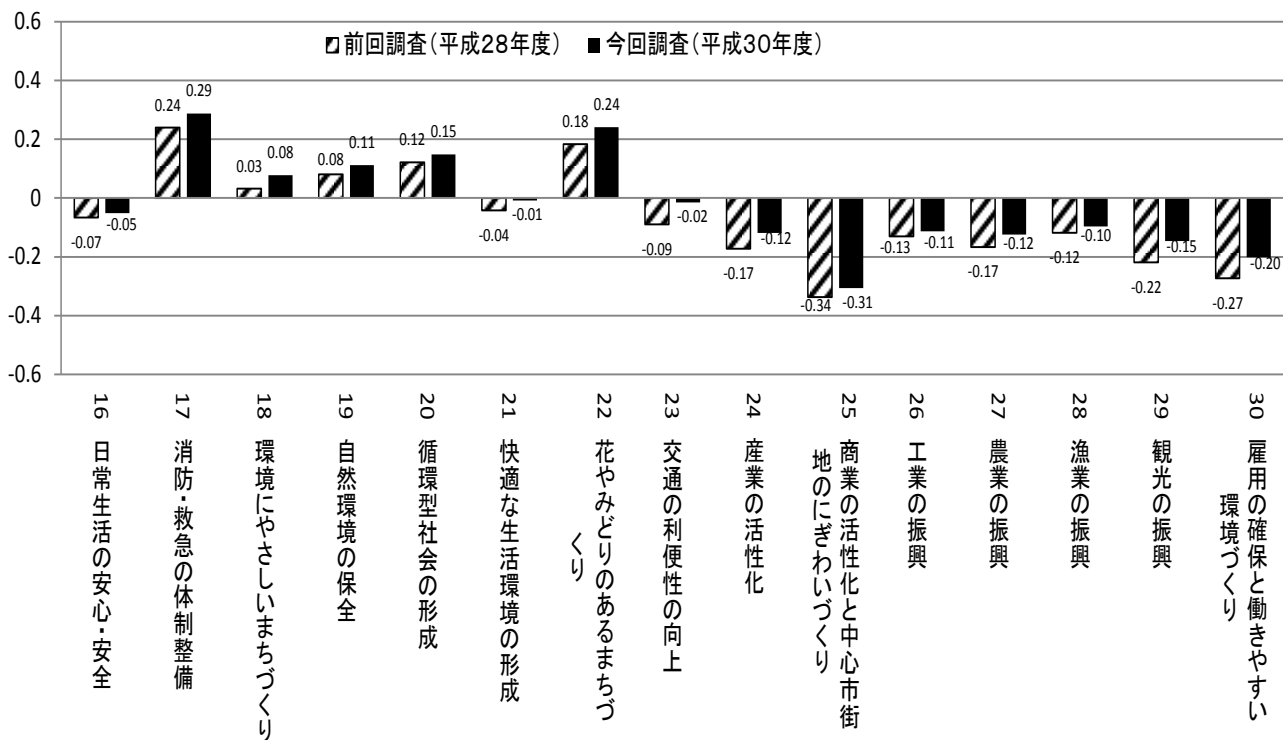
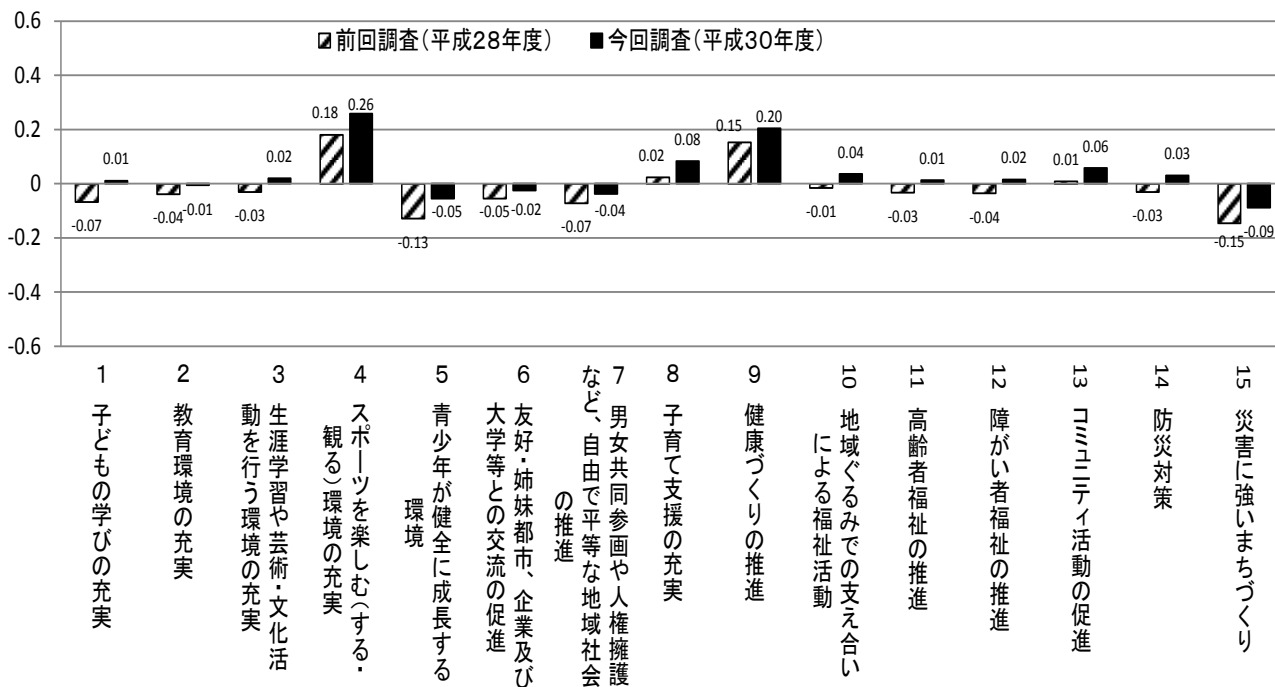
【重要度の傾向】

前回調査から最も重要度が高くなった項目は、『7 男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進』で0.07ポイント上昇した。一方、重要度が最も低下した項目は、『15 災害に強いまちづくり』で0.09ポイント減少した。



【満足度の傾向】

前回調査から最も満足度が高くなった項目は、『1 子どもの学びの充実』、『4 スポーツを楽しむ(する・観る)環境の充実』、『5 青少年が健全に成長する環境』で0.08ポイント上昇した。また、全ての項目で前回調査より満足度が高くなっている。



【5】今後の平塚市のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

(自由意見の内訳)

単位：人

意見の記入があった方の 年代別人数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
	353	13	26	69	49	57	64	57	18

単位：件

意見の内容	年代別件数								
	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
総合計画について	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査について	7	2	0	2	0	3	0	0	0
まちの方向性	23	0	3	5	3	2	6	1	3
特性（気候、地形など）	4	0	0	0	0	1	1	2	0
まちの魅力	11	0	1	2	1	2	4	1	0
市民生活が優先	3	0	0	0	0	0	2	1	0
生活しやすさ	6	1	1	1	0	0	2	1	0
教育	16	3	2	7	3	0	0	0	1
道徳	2	0	0	1	0	0	0	0	1
人の交流	3	0	0	1	0	1	0	1	0
平和・人権	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外国籍市民	3	0	0	0	0	1	1	1	0
文化	1	0	0	0	0	0	0	1	0
スポーツ	2	0	0	1	0	1	0	0	0
マリン・ビーチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男女共同参画	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コミュニティ	8	0	1	3	1	0	1	2	0
地域福祉	4	0	1	0	1	0	1	1	0
福祉相談窓口	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て	42	1	4	18	13	0	3	1	2
青少年	2	0	0	0	1	0	0	1	0
高齢者	9	0	0	0	1	2	5	1	0
障がい者	1	0	0	1	0	0	0	0	0
低所得者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保険	2	0	0	0	0	1	0	1	0
医療	3	1	0	0	0	0	1	1	0
健康	4	0	0	0	2	0	1	1	0
生活環境	8	0	1	1	0	3	3	0	0

意見の内容 \ 年代別件数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
自然環境	6	1	1	0	1	2	1	0	0
市営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道路	18	0	1	3	1	6	2	3	2
排水路・下水道	2	0	0	0	0	2	0	0	0
自転車のまち	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ごみ対策	15	1	2	3	1	1	3	1	3
環境対策	11	0	0	1	1	2	5	2	0
公園・花畑	19	1	2	5	4	0	3	2	2
里山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模商業施設関係	4	0	1	1	0	1	0	1	0
産業振興	5	0	1	2	1	1	0	0	0
雇用	4	0	0	1	0	0	3	0	0
工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業	1	0	0	0	0	0	0	1	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商業	2	0	0	0	0	1	0	0	1
観光	5	0	0	0	2	0	0	2	1
特産品	1	0	0	0	0	1	0	0	0
消費者行政	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害対策	10	1	1	2	1	1	1	2	1
防犯	11	0	1	0	5	1	3	1	0
交通安全	11	0	0	5	2	0	3	1	0
まちの活性化・活力	6	0	1	0	0	1	1	2	1
中心市街地活性化	35	0	1	4	2	9	10	8	1
駅周辺整備	5	0	1	2	0	2	0	0	0
駅周辺の治安維持	7	1	1	2	1	1	1	0	0
駐輪場	7	0	2	1	0	3	0	1	0
駐車場	5	0	1	1	1	1	1	0	0
交通対策	58	3	4	7	7	12	7	14	4
七夕	16	1	3	5	1	2	2	1	1
市民病院整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庁舎建設	2	0	0	0	0	0	0	2	0
公共施設	35	0	2	6	7	9	4	6	1
競輪場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ツインシティ	2	0	0	1	0	1	0	0	0
情報提供	3	0	0	0	0	0	0	3	0

意見の内容 \ 年代別件数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	年代 不詳
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
協働	1	0	0	0	0	1	0	0	0
効率・効果的な行政運営	5	0	0	1	3	0	1	0	0
地区間の格差是正	2	0	0	0	1	0	1	0	0
広域・合併	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員等に対して	3	0	0	1	0	0	1	1	0
その他機関に対して	2	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	24	0	0	3	4	5	5	7	0
計	507	17	40	101	72	83	89	79	26

< 結果の要約 >

「今後の平塚市のまちづくりについて」伺ったところ、353人から507件の意見があった。(記入率29.3%)

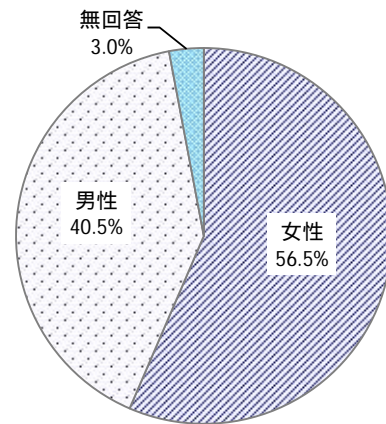
「交通対策」についての意見が最も多く、次いで、「子育て」、「中心市街地活性化」、「公共施設」についての意見が多かった。

前回調査においても「交通対策」、「子育て」、「中心市街地活性化」については上位となっており、引き続きこの分野に対する取組が求められていることが分かる。

【6】 あなたご自身やご家族のことについて

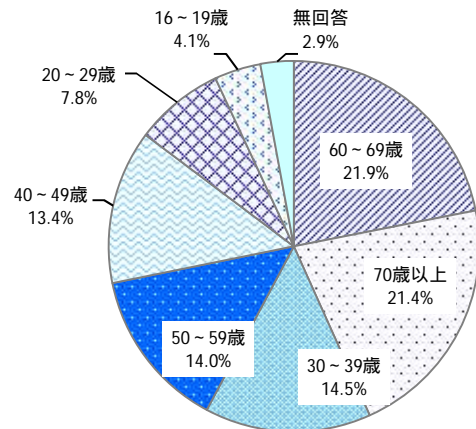
(ア) あなたの性別をお答えください。

1 男性	40.5%
2 女性	56.5%
無回答	3.0%



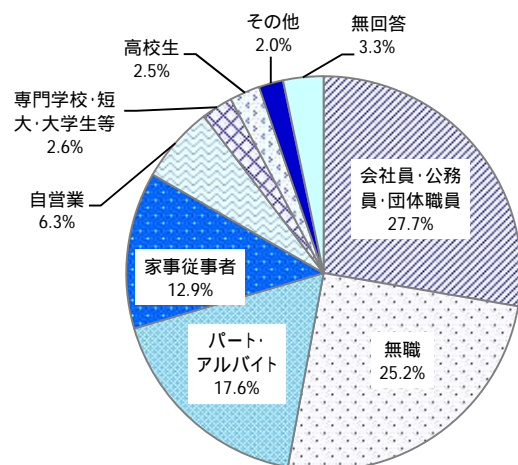
(イ) あなたの年齢をお答えください。

1 16～19歳	4.1%
2 20～29歳	7.8%
3 30～39歳	14.5%
4 40～49歳	13.4%
5 50～59歳	14.0%
6 60～69歳	21.9%
7 70歳以上	21.4%
無回答	2.9%



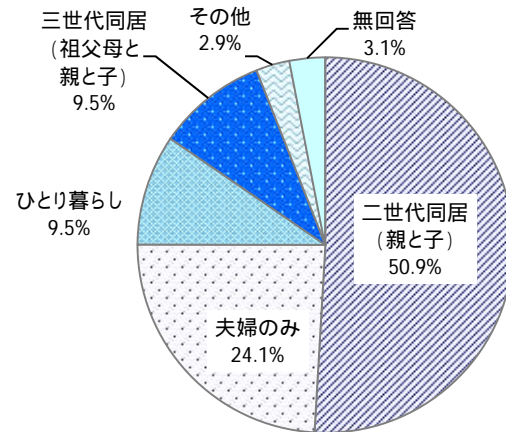
(ウ) あなたのお仕事をお答えください。

1 高校生	2.5%
2 専門学校・短大・ 大学生等(予備校含む)	2.6%
3 会社員・公務員・団体職員	27.7%
4 自営業	6.3%
5 家事従事者	12.9%
6 パート・アルバイト	17.6%
7 無職	25.2%
8 その他	2.0%
無回答	3.3%



(工) あなたの世帯構成をお答えください。

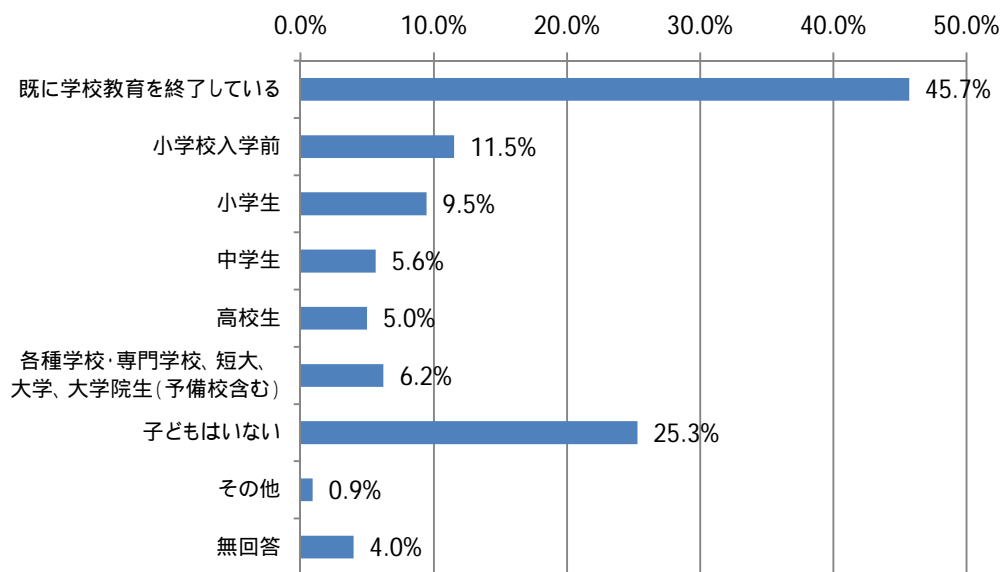
1 ひとり暮らし	9.5%
2 夫婦のみ	24.1%
3 二世帯同居(親と子)	50.9%
4 三世帯同居(祖父母と親と子)	9.5%
5 その他	2.9%
無回答	3.1%



(オ) あなたにお子さんはいますか。

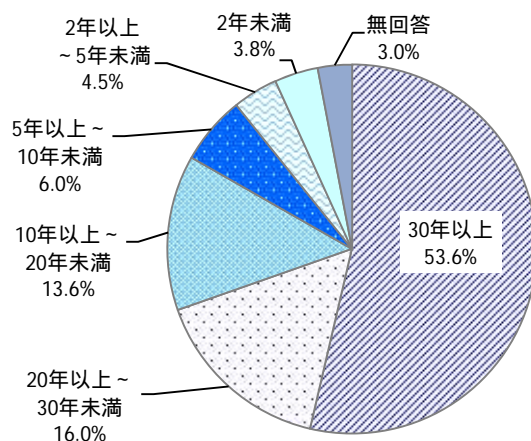
(同居・別居に関わらず、あなたのお子さんについて、当てはまるものすべてに をつけてください)

1 小学校入学前	11.5%
2 小学生	9.5%
3 中学生	5.6%
4 高校生	5.0%
5 各種学校・専門学校、短大、大学、大学院生(予備校含む)	6.2%
6 既に学校教育を終了している	45.7%
7 子どもはいない	25.3%
8 その他	0.9%
無回答	4.0%



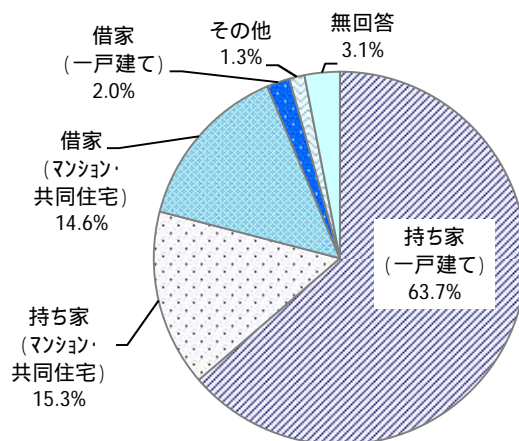
(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。

1 2年未満	3.8%
2 2年以上～5年未満	4.5%
3 5年以上～10年未満	6.0%
4 10年以上～20年未満	13.6%
5 20年以上～30年未満	16.0%
6 30年以上	53.6%
無回答	3.0%



(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。

1 持ち家(一戸建て)	63.7%
2 持ち家(マンション・共同住宅)	15.3%
3 借家(一戸建て)	2.0%
4 借家(マンション・共同住宅)	14.6%
5 その他	1.3%
無回答	3.1%



第3章 結果の考察

1. 結果の考察

今回の調査は、平塚市民の居留意向、生活の満足感、まちづくりに対する重要度や満足度に対する意識を調査し、今後、まちづくりを進めていくための基礎資料を得るとともに、平成28年度からスタートした「平塚市総合計画～ひらつかネクスト～」に基づいて実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じ、どう評価しているかを把握することを目的として実施しました。このアンケートの結果により、次のことが明らかになりました。

■【1】 今後における平塚市への居留意向などについて（問1）～（問4）

【居留意向は8割以上。住み続けたい理由は依然「温暖な気候や自然環境」が上位】

居留意向について

『今後の平塚市への居留意向』については、86.5%の方が「住み続ける」または「たぶん住み続ける」と回答しました。年代別に見ると、年代が上がるにつれて居留意向が高くなる傾向にあります。

また、住み続けようと思う理由としては「温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が前回調査と同様に5割を超えています。同項目は、調査を開始した平成25年度から引き続き、平塚市への居留意向につながる大きな要素となっています。

移転意向について

一方、「移転する」または「たぶん移転する」と回答した移転意向のある方は6.3%でした。その理由としては「仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も多く、次いで「その他」、その次に「家族の都合で」となっています。これらの理由は、調査を開始した平成25年度から引き続き、移転意向の大きな要因となっています。

年代別に見ると10代、20代で移転意向が高く、どちらも「仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が理由として最上位であることから、進学や就職をきっかけとして市外へ移転することが多いと推測できます。

魅力や誇りにについて

居留意向とは別に、『平塚市の魅力や誇りに感じる』を伺ったところ、「総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」が42.1%と平成28年度調査結果と同様に高く、2位の「七夕まつりなど、まちぐるみの行事」の26.2%に大差をつけています。

■【2】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて（問5）～（問7）

【現在の生活に満足している方は7割以上。ただし、家族の健康や介護に不安を抱く方の割合が増加】

『生活の満足度』については、「満足している」または「まあ満足している」と回答した方が71.1%でした。この割合は10代が最も高く、20代が最も低くなっています。

「やや不満である」または「不満である」と回答した方の割合は、20代が最も高く、次いで30代となっています。20代から40代の困っていることや心配ごととしては「今後の収入や資産の見通し」が最上位であり、経済的な不安感が大きいと考えられます。

平成28年度調査と比較すると、「今後の収入や資産の見通し」や「自分の老後のこと」は減少していますが、「家族の健康や介護など生活上の問題のこと」などは増加に転じています。

また、『悩みや不安を話せる人』について質問したところ、8割以上の方が「家族・親族」、次いで5割以上の方が「友人」と回答しています。年代別では、60代以上の方は「地域や近隣の人」と回答する割合が高くなっています。特に70代以上の方では、12.0%と高く、地域とのつながりが生活の上で重要であることが伺えます。

■【3】 地域のために、地域（あなた）ができることについて （問8）～（問10）

【実際の活動につなげていくことが課題】

住みよい地域にするためには、地域の方の関わりが必要であることから、『地域で取り組むとよいと思うこと』、『実際に地域のために行っていること』、『今後できること（してみたいこと）』について伺いました。

地域で取り組むと良いと思うことは、割合が高い順に「子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること」「高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」、「防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」となっています。

『現在行っていないことで、今後できること（してみたいこと）』については、7割以上の方が何らかの取組ができる（してみたい）としており、また、「特にない」と回答した割合は平成28年度調査に比べ減少しており、地域活動への関心の高さが伺えます。

一方で、『現在行っていること』について、「特にない」と回答した方の割合は、平成28年度調査に比べて減少したものの、最も多くなっています。関心はありますが、実際の活動には結びつきにくい状況が伺えます。

■【4】 まちづくりの状況について （問11）

「平塚市総合計画～ひらつかネクスト～」に基づいて実施している本市のまちづくりに対して、市民がどのように感じ、どう評価しているかを把握するため、次のとおり分野別施策ごとに分類して伺っています。

分野①：豊かな心と文化をはぐくむまちづくり（問11-1～7）
分野②：安心して暮らせる支え合いのまちづくり（問11-8～17）
分野③：自然と人が共生するまちづくり（問11-18～23）
分野④：活力とにぎわいのあるまちづくり（問11-24～30）

○分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

全体的な傾向

【確かな学力の定着や豊かな心を育成する環境づくりが望まれる】

重要度は、項目によって差が大きく、子どもに関する分野で高くなる傾向にあります。子どもに関する分野の重要度は特に20代から40代の子育て世代で高くなっており、4つの分野の全30項目と比較しても重要な分野となっています。これらのことから、未来を担う子どもたちの確かな学力の定着や豊かな心を育成する環境づくりが強く望まれていると考えられます。

満足度は、「スポーツを楽しむ（する・観る）環境の充実」の項目で高く、「青少年が健全に成長する環境」の項目で低くなっています。

前回調査との比較

【青少年の健全な育成を社会全体で支えるための取組が必要】

前回調査と比較すると、重要度が0.1ポイント、満足度が1.8ポイント増加しました。満足度を項目別にみると、「青少年が健全に成長する環境」の項目で前回調査から上昇したものの、依然、低くなっています。

調査年度	分野	重要度(%)	満足度(%)
30年度（今回）	分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	59.5	9.9
28年度（前回）	分野① 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり	59.4	8.1

○分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり

全体的な傾向

【災害に強いまちづくり、日常生活の安心・安全、消防・救急の体制整備が期待される】

重要度は、「災害に強いまちづくり」や「日常生活の安心・安全」や「消防・救急の体制整備」の項目が特に高くなっています。理由としては、海や川があるという本市の地理的な特性や、日常生活や生命に直結する項目であることなどが挙げられます。また、「子育て支援の充実」や「健康づくりの推進」の項目でも重要度が高い傾向となっている一方、自治会等の「コミュニティ活動の推進」や「地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動」の項目では重要度が低くなっています。

満足度は、「消防・救急の体制整備」の項目が全30項目中で最も高くなっているものの、重要度が高かった「災害に強いまちづくり」と「日常生活の安心・安全」の項目では低くなっています。

なお、満足度については、「子育て支援の充実」や「健康づくりの推進」等、分野②の10項目中8項目で平均値以上となっています。

重要度と満足度から、災害に強いまちづくりや日常生活の安心・安全が第一に求められていることが分かりますが、これらの推進には自治会等の地域の力が不可欠であることから、市民の地域活動への意識や行動が高まるよう取り組む必要があります。

前回調査との比較

【災害に強いまちづくり、子育て支援の充実が求められている】

前回調査と比較すると、「子育て支援の充実」、「災害に強いまちづくり」、「日常生活の安心・安全」、「消防・救急の体制整備」の重要度が依然として高くなっています。

女性の社会進出や少子化の進展によって、市民意識が一層高まっている子育て支援の充実に向けて、引き続き取り組んでいく必要があります。

調査年度	分野	重要度(%)	満足度(%)
30年度(今回)	分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり	69.2	14.6
28年度(前回)	分野② 安心して暮らせる支え合いのまちづくり	70.4	11.0

○分野③ 自然と人が共生するまちづくり

全体的な傾向

【自然環境を守っていくことが望まれる】

重要度は、他の分野に比べて相対的に高くなっており、「環境にやさしいまちづくり」や「自然環境の保全」や「交通の利便性の向上」の項目が特に高くなっています。

満足度は、項目によって差が大きく、「花やみどりのあるまちづくり」が特に高く、一方、「快適な生活環境の形成」や「交通の利便性の向上」が低くなっています。

本調査の自由意見においても開発によって自然が失われつつあることを危惧する意見もあり、本市の魅力として自然を守っていくことが望まれています。引き続き、豊かな自然環境を本市の魅力として保てるよう、環境に配慮したまちづくりを進める必要があります。

前回調査との比較

【交通の利便性の向上が望まれる】

この分野において、満足度が平均値を下回る項目は「快適な生活環境の形成」と「交通の利便性

の向上」となっていますが、「交通の利便性の向上」の重要度は相対的に高く、かつ前回調査よりも高くなっています。また、本調査の自由意見においても多くの声が寄せられていることから、さらなる交通の利便性向上が求められていることが伺えます。

調査年度	分野	重要度(%)	満足度(%)
30年度(今回)	分野③ 自然と人が共生するまちづくり	63.7	17.3
28年度(前回)	分野③ 自然と人が共生するまちづくり	63.2	14.5

○分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり

全体的な傾向

【商業の活性化と中心市街地の魅力創出が大きな課題】

重要度は、「商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり」と「雇用の確保と働きやすい環境づくり」の項目が高い一方で、他の項目は全て平均値を下回っています。これは安心・安全や教育等の分野に比べ、日常生活に直接結びつきにくい分野であることが影響していると思われます。

満足度は、「商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくり」の項目が特に低く、また、本調査の自由意見でも駅周辺の商業の衰退を懸念する声も多く寄せられています。引き続き、駅周辺の魅力を高め、にぎわいを感じられるまちづくりが求められているといえます。

前回調査との比較

【産業分野全体の活性化が課題】

前回調査と比較すると、全ての項目で満足度が増加しましたが、全ての項目において依然平均値を下回っており、引き続き産業分野全体のさらなる活性化に向けた取組が必要です。

調査年度	分野	重要度(%)	満足度(%)
30年度(今回)	分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり	55.5	6.6
28年度(前回)	分野④ 活力とにぎわいのあるまちづくり	55.0	5.7

資料編

へいせい ねんど ひらつかししみんいしきちょうさ きょうりょく ねが 「平成30年度 平塚市市民意識調査」へのご協力のお願い

ひらつか いけん き
～平塚のまちづくりにあなたのご意見をお聞かせください～

しみん みなさま へいそ しせい りかい きょうりょく れいもう あ
市民の皆様には、平素から市政にご理解とご協力をいただき、お礼申し上げます。

ひらつかし へいせい ねんど ひらつかししみんいしきちょうさ じっし
このたび、平塚市では「平成30年度 平塚市市民意識調査」を実施することといたしました。

ちょうさ ひらつかし す みなさま にちじょうせいかつ なか かん しせい たい
この調査は、平塚市にお住まいの皆様が日常生活の中でどのようなことを感じ、市政に対して
どのようなご意見、ご要望をお持ちかを調べることで、今後のまちづくりの参考とするためのもの
です。

いそが きょうしゆく ちょうさ しゅし りかい きょうりょく
お忙しいところ恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいま
すようお願い申し上げます。

へいせい ねん がつ ひらつかしちょう おち あい かつ ひろ
平成30年6月 平塚市長 落合 克宏

もく てき
○目的： この調査は、まちづくりを進めていくための基礎資料として活用するとともに、
ひらつかしそごうけいかく だっせいじょうきょう かくにん
平塚市総合計画の達成状況を確認するものです。

ちょうさたいしょう へいせい ねん がつ にちげんざい じゅうみんきほんだいちょう とうろく まん さいいじょう
○調査対象： 平成30年5月1日現在で住民基本台帳に登録されている満16歳以上の
だんじょ にん たいしょう
男女3,000人を対象としています。

ちゅうしゅつほうほう じゅうみんきほんだいちょう むさく い ちゅうしゅつ
○抽出方法： 住民基本台帳から無作為に抽出しています。

ちょうさほうほう ゆうそう ほうしき むきめいかいとうほうしき
○調査方法： 郵送によるアンケート方式（無記名回答方式）です。
ちょうさひょう ひつようじこう きにゅう
調査票に必要事項をご記入ください。

ていしゅつほうほう どうふう ふうとう ちょうさひょう い
○提出方法： 同封させていただきます封筒に調査票を入れて、
へいせい ねん がつ にち きん へいせい ねん がつ にち きん ちちかん
平成30年6月22日（金）までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。
きって は ひつよう
(切手を貼る必要はありません)

ちょうさきかん へいせい ねん がつ にち きん へいせい ねん がつ にち きん ちちかん
○調査期間： 平成30年6月1日（金）～平成30年6月22日（金） 22日間
ちょうさ じっし こうほう がつだい きんようびごう けいさい
(※調査の実施について、広報ひらつか6月第1金曜日号に掲載しています。)

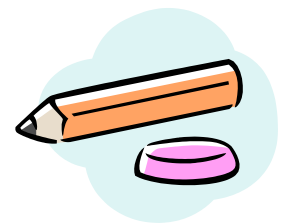
けっかほうこく げじゅんごう ほんし けいさい よてい
○結果報告： 11月下旬頃に、本市ホームページに掲載する予定です。

た
○その他： 調査結果は、調査目的以外に使用することはありません。

<問い合わせ> ひらつかし きかくせいさくぶ きかくせいさくか けいかくすいしんたんどう
平塚市 企画政策部 企画政策課 計画推進担当

T E L : 0463-21-8760 (直通)

E-mail : kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp



ちょうさひょう 調査票


ぜん 8 ページになります。当てはまる番号に○をつけてください。

【1】 あなたの今後における平塚市への居住意向などについて

(問1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いませんか。(○は1つ)

1 住み続ける (市内転居を含む)	} (問2)へ ↓	3 たぶん移転する (市外へ)	} (問3)へ →
2 たぶん住み続ける (市内転居を含む)		4 移転する (市外へ)	
		5 わからない	(問4)へ →

(問2) (問1)で「1」または「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。(○は3つまで)

1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	
2 子育てや教育の環境が良い	
3 医療機関や福祉施設などが充実している	
4 地域の人たちとの関係が良い	
5 地域に愛着がある	
6 買い物しやすい	
7 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる	
8 整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している	
9 バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい	
10 仕事や学校へ通うのに都合が良い	
11 住宅の事情で	
12 家族の都合で	
13 その他 (具体的に	
14 特に理由はない	

(問4)へ

つぎ すす 次ページへお進みください




地区番号

1


※ 地区番号は、調査結果の集計において地区別の傾向を把握するために市内を11地区に分類した番号であり、個人を特定するものではありません。

（問3）（問1）で「3」または「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。

（〇は3つまで）

1	自然環境が良くない	
2	子育てや教育の環境が良くない	
3	医療機関や福祉施設が不足している	
4	地域の人たちとの関係が良くない	
5	地域に愛着がない	
6	買い物がしづらい	
7	災害や犯罪の面から安心して生活できない	
8	公共施設が充実していない	
9	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい	
10	仕事や学校へ通うのに都合が良くない	
11	住宅の事情で	
12	家族の都合で	
13	その他（具体的に	
14	特に理由はない	

（問4）あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのとは、どのようなことですか。（〇は3つまで）

1	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海	
2	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境	
3	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園	
4	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境	
5	文化財などの歴史的資源、食・囲碁などの芸術・文化的資源	
6	文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設	
7	保育や子どもの健やかな成長のための子育て環境	
8	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境（いきがい、健康、介護、見守り）	
9	町内福祉村（※）など、地域住民による支え合い活動	
10	研究開発や技術力を有した、企業や大学などの立地	
11	平塚駅を中心とした市街地の商業集積	
12	七夕まつりなど、まちぐるみの行事	
13	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境	
14	その他（具体的に	

（※）町内福祉村・・・市や各種団体などとの連携のもと、地域住民の自主的、主体的参加を基本とした住民相互の支え合い活動やふれあい交流活動などを行うボランティアを中心とした地域組織。

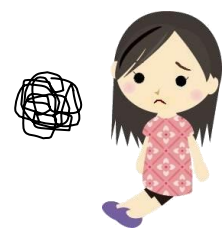
【2】 ^{せいかつ まんぞくかん こま しんぱい} 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

(問5) ^{とい}あなたは、^{げんざい}現在のご^{じぶん}自分の^{せいかつ}生活に^{ていどまんぞく}どの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 ^{まんぞく} 満足している | 4 ^{ふまん} やや不満である |
| 2 ^{まんぞく} まあ満足している | 5 ^{ふまん} 不満である |
| 3 ^い どちらとも言えない | 6 ^い わからない |

(問6) ^{とい}あなたは、^{じぶん かぞく}ご自分やご^{こま}家族の^{しんぱい}ことで、^{こま}困っていること^{しんぱい}や^{しんぱい}心配ごとがありますか。
(○は3つまで)

- | | |
|--|--|
| 1 ^{じぶん けんこう} 自分の健康のこと | |
| 2 ^{かぞく けんこう かいご せいかつじょう もんだい} 家族の健康や介護など生活上の問題のこと | |
| 3 ^{じぶん ひごろ せいかつ しんがく しゅうしょく けっこん じょう もんだい} 自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 | |
| 4 ^{かぞく ひごろ せいかつ ほいく きょういく しゅうしょく けっこん じょう もんだい} 家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 | |
| 5 ^{げんざい しゅうにゅう しさん} 現在の収入や資産のこと | |
| 6 ^{こんご しゅうにゅう しさん みとお} 今後の収入や資産の見通し | |
| 7 ^{じぶん ろうご} 自分の老後のこと | |
| 8 ^{かぞく しんぞくかん にんげんかんけい} 家族や親族間の人間関係 | |
| 9 ^{きんりん ちいき かんけい} 近隣・地域との関係 | |
| 10 ^{きんむさき しごと にんげんかんけい} 勤務先での仕事や人間関係 | |
| 11 ^{じぎょう かぎょう けいえいじょう もんだい} 事業や家業の経営上の問題 | |
| 12 ^{た ぐたいてき} その他(具体的に.....) | |
| 13 ^{なや ふあん} 悩みや不安はない | |



(問7) ^{とい}あなたには、^{なや ふあん はな ひと}悩みや不安を^{あいて}話せる人^{ひと}はいますか。相手はどのような人ですか。
(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 ^{かぞく しんぞく} 家族・親族 | 4 ^{しょくば ひと} 職場の人 |
| 2 ^{ゆうじん} 友人 | 5 ^{た ぐたいてき} その他(具体的に.....) |
| 3 ^{ちいき きんりん ひと} 地域や近隣の人 | 6 ^{はな ひと} 話せる人がいない |

^{つぎ}次のページへ^{すす}お進みください



【3】 地域のために、地域（あなた）ができることについて

(問8) 住みよい地域にするためには、市民の皆さんの関わりが必要です。住みよい地域にするために地域の皆さん(あなた)が力を合わせて取り組むと良いと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること
- 2 道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動などで地域を美しくすること
- 3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと
- 4 子どもの見守りや夜回りなどで地域の安全を守ること
- 5 年代を超えた交流やふれあいの機会をつくること
- 6 地域の行事や祭りを担うこと。また、その後継者を育てること
- 7 趣味や技術のある人が市民に教えるなど生涯学習に参画すること
- 8 防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること
- 9 NPO(※)などの市民主体の団体・組織をつくること
- 10 その他(具体的に.....)
- 11 わからない



(※) NPO・・・環境、福祉、教育など特定のテーマについて市民主体の社会貢献活動を行う民間非営利組織。

(問9) 地域のために、あなたが現在行っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)
- 2 地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加
- 3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動
- 4 高齢者や障がい者を支える福祉活動
- 5 子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)
- 6 スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動
- 7 歴史や伝統行事などを守り育てる活動
- 8 地域の交通安全や防犯活動
- 9 災害時における地域住民の助け合い活動
- 10 人権について話し合い、学ぶ活動
- 11 外国籍市民が地域で暮らしやすくなる活動(外国籍市民との交流など)
- 12 その他(具体的に.....)
- 13 特にない

とい す ちいき
 (問10) 住みよい地域にするために、あなたができること(またはしてみたいこと)はありますか。
 なお、(問9)で答えた既に行っていることは除きます。(〇はいくつでも)

- 1 きんじょどうし みちか たす あ ひごろ こえ こ いちじてき あす
 近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)
- 2 ちいき かか かだい かん じゅうみんどうし はな あ さんか
 地域が抱える課題に関する住民同士の話し合いへの参加
- 3 だいせいそう りょくかかつどう さんか ちいき かんきょうびかかつどう
 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動
- 4 こうれいしゃ しょう しゃ ささ ふくしかつどう
 高齢者や障がい者を支える福祉活動
- 5 こ せいしょうねん けんぜんいくせいかつどう こ こえ がっこうぎょうじ かつどう きょうりょく
 子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)
- 6 ぶんか げいじゆつかつどう しどう しえんかつどう
 スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動
- 7 れきし でんとうぎょうじ まも そだ かつどう
 歴史や伝統行事などを守り育てる活動
- 8 ちいき こうつうあんぜん ほうはんかつどう
 地域の交通安全や防犯活動
- 9 さいがいじ ちいきじゅうみん たす あ かつどう
 災害時における地域住民の助け合い活動
- 10 じんけん はな あ まな かつどう
 人権について話し合い、学ぶ活動
- 11 がいこくせきしミン ちいき く かつどう がいこくせきしミン こうりゅう
 外国籍市民が地域で暮らしやすくなる活動(外国籍市民との交流など)
- 12 た ぐたいてき
 その他(具体的に.....)
- 13 とく
 特にない



【4】 まちづくりの状況について

(問11) 平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」についてお答えください。

各項目の「重要度」、「満足度」について、
該当すると思う数字をそれぞれ1つずつ
選んで、○で囲んでください。

重要度					満足度				
たいへん重要	重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない	十分満足	満足	普通	あまり満足していない	満足していない
5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(例) OOの充実		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【分野①】 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり											
1	子どもの学びの充実 (学力の向上、豊かな心の育成など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	教育環境の充実 (学校施設の安全対策、相談体制など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	生涯学習や芸術・文化活動を行う環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	スポーツを楽しむ(する・観る)環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	青少年が健全に成長する環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	友好・姉妹都市、企業及び大学等との交流の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	男女共同参画や人権擁護など、自由で平等な地域社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
I	1～7をとおして、【分野①】全体について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
【分野②】 安心して暮らせる支え合いのまちづくり											
8	子育て支援(保育や母子保健事業など)の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	健康づくり(各種健診や保健指導など)の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	高齢者福祉の推進 (健康長寿への取り組みや介護保険サービスの充実など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	障がい者福祉の推進 (障がいのある人の自立や社会参加の支援など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	コミュニティ活動の促進 (自治会、ボランティア、市民活動への支援など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	防災対策(防災訓練の実施や防災意識の啓発など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	災害に強いまちづくり (インフラ施設や建築物の耐震化など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	日常生活の安心・安全 (防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	消防・救急の体制整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
II	8～17をとおして、【分野②】全体について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【6】 あなたご自身やご家族のことについて

(ア) あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

(イ) あなたの年齢をお答えください。(〇は1つ)

1 16～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	

(ウ) あなたのお仕事をお答えください。(〇は1つ)

1 高校生	5 家事従事者
2 各種学校・専門学校・短大・ 大学・大学院生（予備校含む）	6 パート・アルバイト
3 会社員・公務員・団体職員	7 無職
4 自営業	8 その他（具体的に.....）

(エ) あなたの世帯構成をお答えください。(〇は1つ)

1 ひとり暮らし	4 三世帯同居（祖父母と親と子）
2 夫婦のみ	5 その他（具体的に.....）
3 二世帯同居（親と子）	

(オ) あなたにお子さんはいますか。

(同居・別居に関わらず、あなたのお子さんについて、当てはまるものすべてに〇をつけてください)

1 小学校入学前	6 既に学校教育を終了している
2 小学生	(現在の就業状況は問わない)
3 中学生	7 子どもはいない
4 高校生	8 その他（具体的に.....）
5 各種学校・専門学校・短大・ 大学・大学院生（予備校含む）	

(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ)

1 2年未満	4 10年以上～20年未満
2 2年以上～5年未満	5 20年以上～30年未満
3 5年以上～10年未満	6 30年以上

(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。(〇は1つ)

1 持ち家（一戸建て）	4 借家（マンション・共同住宅）
2 持ち家（マンション・共同住宅）	5 その他（具体的に.....）
3 借家（一戸建て）	

ご協力ありがとうございました。ご記入もれなどが無いのかお確かめの上、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、6月22日（金）までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。

平成30年度 平塚市市民意識調査結果報告書

編集・発行 平塚市企画政策部企画政策課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話 0463-23-1111 (代表)

0463-21-8760 (ダイヤルイン)

FAX 0463-23-9467

e-mail kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp



手をつなぎたくなる街